

# 議会運営委員会

令和6年7月2日(火)

全員協議会終了後

開議 時 分

閉議 時 分

第4委員会室

## 出席者

[委員] 柳楽委員長、永見副委員長、

肥後委員、村木委員、大谷委員、三浦委員、村武委員、川上委員、芦谷委員

[議長団] 笹田議長、川神副議長

[委員外議員]

[執行部] 山根総務部長、末岡総務課長、森井総務管理係長

[事務局] 下間局長、松井次長、大下庶務係長、久保田書記

## 議題

1 令和6年9月浜田市議会定例会議の会議予定について

資料1

2 浜田市特別職報酬等審議会の答申結果を受けての政務活動費の見直しについて

資料2

3 オンラインで提出された請願・陳情の取扱いについて

資料3

4 令和7年度議員改選に向けた議員定数について

資料4

5 議会改革に関する検討結果について【議会改革推進特別委員会】

・第6回報告 一般質問における議員の資料発信について

資料5

6 その他

## 令和6年9月定例会議日程(案)

資料1

		期間	日程案	会場	開始時間等	備考
8月	5日	(月)	総務文教委員会	全員協議会室	10時～	
	6日	(火)	福祉環境委員会	全員協議会室	10時～	
	7日	(水)	産業建設委員会	全員協議会室	10時～	
	8日	(木)				
	9日	(金)				
	10日	(土)				
	11日	(日)				
	12日	(月)				
	13日	(火)				
	14日	(水)				
	15日	(木)				
	16日	(金)				
	17日	(土)				
	18日	(日)				
	19日	(月)	全員協議会 請願・陳情・意見書・決議書締切	全員協議会室	10時～ 【締切】13時	
	20日	(火)				
	21日	(水)	一般質問通告書メール、FAX受付締切			【締切】11時
	22日	(木)	一般質問通告締切			【締切】11時
	23日	(金)				
	24日	(土)				
	25日	(日)				
	26日	(月)	議会運営委員会 議会広報広聴委員会	全員協議会室 全員協議会室	10時～ 13時30分～	
	27日	(火)				
	28日	(水)	一般質問説明用パネル提出締切			【締切】12時
	29日	(木)				
	30日	(金)	1 開会 提案説明 全員協議会 総務文教委員会 福祉環境委員会 産業建設委員会	議場 全員協議会室 第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室	10時～ 本会議終了後 全員協議会終了後 全員協議会終了後 全員協議会終了後	
	31日	(土)				
9月	1日	(日)				
	2日	(月)	2 一般質問	議場	10時～	
	3日	(火)	3 一般質問	議場	10時～	
	4日	(水)	4 一般質問	議場	10時～	
	5日	(木)	5 一般質問	議場	10時～	
	6日	(金)	6 休会			
	7日	(土)	7			
	8日	(日)	8			
	9日	(月)	9 議案質疑 予算決算委員会（閲覧資料要求決定）	議場 全員協議会室	10時～ 本会議終了後	
	10日	(火)	10 総務文教委員会	全員協議会室	10時～	
	11日	(水)	11 福祉環境委員会	全員協議会室	10時～	
	12日	(木)	12 産業建設委員会	全員協議会室	10時～	
	13日	(金)	13 予算決算委員会（9月補正審査）	全員協議会室	10時～	
	14日	(土)	14			
	15日	(日)	15			
	16日	(月)	16			
	17日	(火)	17 休会			
	18日	(水)	18 休会			
	19日	(木)	19 予算決算委員会（総務文教）	全員協議会室	10時～	
	20日	(金)	20 予算決算委員会（福祉環境）	全員協議会室	10時～	
	21日	(土)	21			
	22日	(日)	22			
	23日	(月)	23			
	24日	(火)	24 予算決算委員会（産業建設）	全員協議会室	10時～	
	25日	(水)	25 予算決算委員会（予備）	全員協議会室	10時～	
	26日	(木)	26 休会 討論通告期限			【締切】17時
	27日	(金)	27 予算決算委員会（附帯意見協議） 対抗討論通告期限	全員協議会室	10時～ 【締切】13時	
	28日	(土)	28			
	29日	(日)	29			
	30日	(月)	30 採決 全員協議会 議会運営委員会	議場 全員協議会室 第4委員会室	10時～ 本会議終了後 全員協議会終了後	

# 浜田市特別職報酬等審議会の答申結果を受けての政務活動費の見直しについて

資料2-1

## 6 付記事項（浜田市特別職報酬等審議会の答申結果から抜粋）

- (1) 政務活動費については、各議員によりその執行率に隔たりが見受けられる。政務活動費は、議員が行う調査研究や広聴等、市政の課題や市民の意志を把握し、市政に反映させる活動や住民の福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費として交付されるものであることから、当該制度の積極的な活用をお願いする。
- (2) 政務活動費の使途基準等については、公正性及び透明性を確保する制度設計となっており客観的に評価できるものであるが、引き続き政務活動費の効果的・効率的な運用が図れるよう、対象となる経費や支給要件等について検討をお願いする。また、特に視察や研修については、その活用が具体的にどの様に議員活動に反映されたかがわかるよう併せて検討をお願いする。

付記事項	報酬等審議会からの要請 (概要)	検討項目	検討結果
(1)	執行率が低い議員がいる。積極的に活用してほしい。	積極的な会派活動・議員活動について	<p><b>【検討完了】</b></p> <p>①視察や研修等の予定を議員間で共有し、必要に応じて会派を越えて共同で視察や研修・勉強会を積極的に行う。 ②議会の年間会議日程等について、隨時最新の情報を提供してもらい、議員や会派等による視察や研修等を計画的に行うことにより調査活動を充実させる。 ③オンラインによる研修会や講演会を積極的に活用する。 ④年度当初に申請する政務活動費交付申請書の項目の備考欄に使用予定の内容を記載することにより、年間活動の計画に繋げる。（令和7年度分から実施）</p>
(2)	対象経費や支給要件等について検討してほしい。	対象経費・支給要件について	<p>①現在の対象経費や使途基準を再度確認し、見直しを検討する。</p> <p><b>【検討完了】</b></p> <p>・議員が調査研究費、研修費、広聴費、要請・陳情活動費を使用して自家用自動車で市内移動したときの車賃（1キロメートルにつき23円）を支給できるよう浜田市議会政務活動費の交付に関する細則を改正した。（令和6年4月1日施行）</p> <p><b>【今後検討】</b></p> <p>・議員活動の報告チラシ等を対象とする。（広報費の導入）</p> <p>※議員の事務手続が煩雑になりすぎないように配慮する必要がある。</p>
		支払方法について	<p><b>【検討完了】</b></p> <p>4半期ごとに精算できるよう浜田市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則を改正した。（令和6年7月●日施行）</p>
	特に視察や研修について、どのように議員活動に反映されたかがわかるように検討してほしい。	報告書等について	<p><b>【検討完了】</b></p> <p>①視察や研修の成果を活動に繋げ、かつ、実施の目的とその必要性について説明責任を果たせるよう（客観的に可視化できるよう）申請書および報告書の様式を改正した。（令和6年7月●日施行）</p> <p><b>【具体策】</b></p> <p>・申請書は研修と視察の様式を分け、視察の内容や目的を分けて明記するよう改正した。 ・報告書についても様式を分け、研修や視察のポイントや今後の議員活動への反映などを記載する改正した。</p>

## ◆広報費について

**1.引用** 令和2年1月30日開催の全国市議会議長会事務局職員研修会  
講師 弁護士 佐々木基彰氏  
「判例から見る政務活動費の適正支出について」から(抜粋して要約)

### 1 市政報告紙の違法認定の基準

(1) 「市政報告について政務活動費の支出が認められるのは、それが会派の調査研究活動及び議会活動並びに市の政策について住民に報告するためであり、当該議員個人のPRについて支出につながると認められる見出し、写真及び文章の有無やそれが当該市政報告紙に占める割合や体裁等を総合考慮して、主として議員個人のPRを目的とする場合には、使途基準に適合せず違法というべき」  
(岡山市H23年度・高裁判決)

### 2 市政報告紙として適しているもの

- (1)議会報告（個人質問や代表質問+市の答弁）
- (2)調査研究報告
- (3)市の政策等に関する報告
- (4)市のかかえる課題に対する提言

### 3 市政報告紙の内容として適しているとは言えないもの

- (1)顔写真
  - (2)大きな名前
  - (3)プロフィール
  - (4)選挙公約（又は抽象的な政策提言）
  - (5)選挙直前におけるこれまでの議員活動のまとめ（特に直前4年間）
  - (6)後援会活動
  - (7)コーヒーブレイク的なもの
- 上記(1)～(7)の合計を全体の1/3～1/4程度に抑えることが、一つの  
**目安**（講師の私見）

#### **4 広報誌関係（その他）**

(1) 封筒印刷代やラベル購入費等について、「汎用性が高い」として封筒印刷時期と市政報告印刷時期が約3か月以上離れているものは、使途基準に合致しないとされた例もある。

(対策)

(2) そもそも、政務活動費は補助金的性質のものであるため、印刷された封筒の使途については、概算でも構わないので明らかにする必要がある。

#### **5 ホームページ作成・管理費関係**

(1) ホームページ上の掲載情報量は、市政報告紙などの紙媒体とは比較にならない規模で、また、特定の市民だけでなく、市民全体に知らしめることができるものであり、市政報告紙の郵送やポスト投函等の費用と比較しても明らかに安価に広報することが可能であり、近年はかかる費用の政務活動費での支出も問題となっている。

(2) 裁判所の判断基準は基本的に市政報告紙の場合と大きく異なる。「市議会における質疑応答部分の記載はあるものの、写真付きプロフィールや挨拶文、政治理念及び政策、ブログ等へのリンクも相当部分を占めており、これらは議員個人のPRを目的としていることから、市政報告部分と議員個人のPR部分が混在しており、具体的比率が判明しないので50%按分した限度で支出を認める。」

# 政務活動費に関するQ & A

## (参考指針)

平成31年2月  
全国市議会議長会

### 3 広報費

会派（議員）が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費（広報紙・報告書等印刷費、会場費、茶菓子代、文書通信費、交通費等）

Q 広報費に対する支出について、どのような点に留意するべきですか。

A 広報費については、政務活動と議員や会派のPRを目的とする活動など政務活動以外の活動が併存する可能性があります。

広報費に対する政務活動費の支出については、広報活動を通じて、住民の要望、意見等を把握することにつながると考えられるため、判例等はこれを認めていますが、その費用が専ら政務活動のためであることが立証されない場合は按分することとし、その割合については、多くの判例等が50%を基本としています。

ただし、50%以下であれば常に支出が適法とされるわけではないことに注意が必要です。事例によっては、これとは異なる割合を示した判例等もあります。例えば、政務活動と認められる事項が記載されていても、PRと思われるような要素（写真やプロフィールなど）が紙面の目立つところに掲載されていたり、多くの部分を占めている場合など、広報としての目的ではなく、会派や議員の宣伝を目的で作成されたものと判断され、その全額が返還の対象となっています。

また、広報紙に議員の顔写真を掲載することについて、以前の判例等は、具体的な基準等に関する判断を示すことなく、これを認めていました。しかし、近年は、掲載状況等を検証した結果、宣伝活動の一つとみなし、これを按分の対象とする判例等があります。さらに、広報紙の配布自体を選挙活動の一部が混在する行為とする判例等もあります。

議員個人の写真やプロフィール等を広報紙に掲載するのは必要最低限にとどめ、掲載する際は、掲載方法やその内容などから、広報紙に掲載することへの必要性について裁判で立証できるのか十分な検討が必要と考えられます。

具体的な事例として、次の判例等があります。

#### 【平成16年（行ウ）第37号（平成18年7月11日 千葉地裁）】

顔写真の掲載については、会派の所属議員を明確にする意味及び広報を掲載することに責任を持つ観点からも、所属議員を市民に知らせるために許されるものといえ、「広報費」としての本件使途基準の観点から問題となることはない。

#### 【平成24年（行ウ）第66号（平成26年3月26日 横浜地裁）】

原告は、議員本人の写真や似顔絵が掲載されている広報紙は事前運動等の公職選挙法違反であるから費用を按分すべきであり、2分の1を超える部分は目的外支出であると主張する。しかし、写真や似顔絵を載せるだけで公職選挙法違反になるとは解されないし、写

真等を載せることは発行者ないし作成者を示す意義も有し、これらが掲載されていることのみで一律に議員個人の宣伝目的を併有すると認める事はできないから、原告の主張を採用することはできない。もっとも、写真の大きさや使い方によっては議員個人の宣伝目的といわざるを得ない場合もあると考えられるが、どの程度であればそのように言えるかは個別具体的に検討せざるをえない。

**【平成24年（ワ）第530号（平成27年1月13日 長崎地裁）】**

本件広報誌の表紙や本文には、A議員の氏名、写真及び似顔絵、住所、経歴などのプロフィールが大きくあるいは目立つようにレイアウトされ（とりわけ、本件広報誌の表紙につき顕著である。）、表紙の下部には「市政へのご相談などは、A（住所と携帯番号が記載まで」との記載があることが認められ、これらによれば、本件広報誌等の作成費用には、**政務調査活動としての市政活動等の広報を行うために要する経費だけではなく、実質的には、それ以外のA議員の政治活動のための経費が含まれていると推認される。**

そして、A議員からは、当該支出のうち政務調査活動に支出した割合についての合理的な説明がないから、その2分の1は目的外支出というのが相当である。

**【平成28年（行コ）第2号（平成29年3月30日 広島高裁）】**

**【原審：平成25年（行ウ）第12号（平成28年4月27日 岡山地裁）】**

A議員の市政報告紙（全2頁）は、1頁目の全面にわたってA議員の写真が大きく掲載されるとともに、A議員の目指す市政等が記載されていると認められ、こうした記載に、会派の調査研究及び議会活動並びに市の政策について住民に報告し、PRするという実質を認めることはできない。そして2頁目について見ても、市の選挙人名簿登録者数等が記載されているところ、こうした記載にも上記の広報の実質を認めることはできない。このように、上記市政報告紙は、市の平成23年度補正予算や防災対策等の市政に関する広報に関する記載もあると認められるものの、おおむねその半分以上がA議員個人に関する記載で占められていること等に照らすと、上記市政報告紙に係る支出は、主として、A議員のPRを目的とするものと認めざるを得ないから、使途基準に適合しないというべきである。

そうすると、上記市政報告紙に係る作成費等は、1審原告が求める50%の限度で、返還の対象となるというべきである。

**【平成26年（行ウ）第15号（平成30年1月31日 岡山地裁）】**

上記市政報告紙（全2頁）は、1頁目においては、複数の当該議員の写真の掲載並びに当該議員のあいさつ及び市政報告会が開催された旨の記載が主であり、調査研究活動との関連性が不明な内容であるほか、2頁目においても、**市議会における個人質問の内容等が記載されているものの、中心に大きく当該議員の写真が掲載されていることが認められる**

から、主として当該議員個人のPRを目的とするものと認められる。

したがって、上記各支出は使途基準に適合しないというべきであり、その全額について、返還の対象となる。

**【平成29年（行コ）第5号、同第13号（平成30年2月8日 仙台高裁）】**

**【原審：平成25年（行ウ）第11号（平成29年1月31日 仙台地裁）】**

当該議員の写真、似顔絵や挨拶文、プロフィールについては、必ずしも調査研究活動との間に合理的関連性が認められるとはいえず、むしろ、当該議員自身について広くアピールするための掲載内容であって、選挙活動や後援会活動に類する性質を有することができる。そして、調査研究活動に関連しない部分が紙幅の相当程度を占めていることからすれば、当該議員レポートの印刷に要した経費は、調査研究活動以外の目的が併存し、按分割合を合理的な方法により算定できない場合に当たり、少なくとも支出額の2分の1が違法であると認められる。

この点について、当該議員は、広報誌の紙面全体に占める同人の写真、似顔絵及びプロフィールの割合は1割程度であるから、調査研究活動に関連しない部分が紙幅の相当程度を占めているということはできないし、仮にそうでないとしても、本件使途基準に合致しない違法な支出と認定するのは、広報誌に係る支出額の1割を限度とすべきであると主張する。

しかしながら、当該議員の広報誌に記載された挨拶文についても、必ずしも調査研究活動との間に合理的関連性が認められるとはいえない所信表明を含む内容のものとなっていることや、上記写真、似顔絵、挨拶文及びプロフィールが、特に読者の目を引き易い広報誌の冒頭及び末尾に掲載されていること等に鑑みると、単に紙面全体に占める面積の割合が数量的に少ないことをもって紙幅の相当程度を占めていないと判断することは相当ではなく、また上記割合により単純に按分した額をもって本件使途基準に合致しない違法な支出とすることも相当でないから、当該議員の主張は採用できない。

**【平成29年（行コ）第31号、同第172号（平成30年3月27日 大阪高裁）】**

**【原審：平成27年（行ウ）第15号（平成28年12月27日 奈良地裁）】**

会派、議員が行う県政の政策等に関する情報とはいえない記事や写真については、その内容や大きさ、配置からみて県政の政策等に関する記事との間に合理的な関連性を有することが明らかな場合か、あるいは県政の政策等に関する情報との合理的な関連性があると説明されている場合であれば、県政の政策等に関する情報の一部を構成するものといえ、按分を要しないと解される。議員のプロフィールも、県政の施策等に関する情報の発信者を説明するものとして相当な範囲に収まり、当該情報と合理的な関連性があると認識できる限度においては、同様に解することができる。

これを本件についてみると、A議員の広報紙には、1頁目にA議員の県議会活動を報告

した部分と2頁目の末尾に議員活動を報告した部分（いずれもその記事の内容に係る写真を含む）があり、これらはその内容を通じて県政の施策等に関わる情報ということができるが、その他の①A議員の全身の写真、プロフィール、②政治信条及び③「近年の政治の動向と小選挙区制のはず」との記事は、県政に関する施策等に直接関わる情報ではなく、前記の県政に関する施策等に関わる記事との間に合理的な関連性があると認識できるものでもなく、単にA議員を宣伝するものにすぎないといふことができる。

したがって、本件手引の使途基準の考え方則り、前記①ないし③の記事が前記広報紙の約半分を占めていることが認められることなどを考慮し、前記広報紙の印刷費等のうち2分の1について政務活動費を充当することができるが、その余の部分に政務活動費を充当したことは本件使途基準に適合せず、違法であるといふことができる。

B議員の広報紙には、①B議員の写真、プロフィール、②地元高校の甲子園出場に関する記事や③「参議院選挙結果と先送りされた課題」と題する記事が掲載されていることが認められる。そのほかの1頁の最下部及び2頁には県議会の質疑の内容、3頁には県会議員としての活動状況の記事が掲載され、これらは県政の施策等に関わる情報であるといふことができるところ、前記①の写真やプロフィールもその配置や大きさからして、紙面の多くを占める県政の施策等に関わる情報の発信者を特定・紹介するものとして合理的な関連性があるものと認識することができる。

他方、前記②及び③は、県政に関する施策等に関わる情報とはいひえず、その内容からみて県政の政策等に関わる記事との間に合理的な関連性を有することが明らかであるともいえず、県政の政策等に関わる情報との合理的な関連性があると説明されているものでもない。

したがって、本件手引の使途基準の考え方則り、前記②及び③の記事が前記広報紙の約100分の7を占めることができることが認められることなどを考慮し、前記広報紙の印刷代等のうち100分の93について政務活動費を充当することができるが、その余の100分の7に相当する部分に政務活動費を充当したことは本件使途基準に適合せず、違法であるといふことができる。

#### 【平成29年（行ウ）第9号（平成30年4月11日 神戸地裁）】

会派広報は、当該会派の議会における活動又は市政についての報告等を内容とするものであれば、これを発行して配布することは、市政の課題を解決し、市民の意思を市政に反映させる契機になることから、当該会派が行う「調査研究その他の活動」に当たるといふことができる。

これに対し、当該会派に所属する議員個人の情報を会派広報に掲載することは、当該議員の存在を周知ないし宣伝してその知名度を上げ、次回の選挙で当該議員を当選させやすくするという選挙活動の側面を有するから、原則として当該会派が行う「調査研究その他の活動」に当たらないといふべきである。もっとも、当該会派の議会における活動等を報

告するに当たっては、当該会派に所属する議員の情報を併せて報告した方が、その目的を達成するためには効果的な場合もあり得ないわけではないと考えられる。

以上を総合的に考慮すると、①会派広報の発行及び配布は、その紙面が専ら当該会派の議会における活動又は市政についての報告等（以下「会派活動報告等」という。）を内容とするものであった場合には、当該会派が行う「調査研究その他の活動」に当たり、その作成に要する経費（印刷代金、作成費等）の全額につき政務活動費を充てることができる。したがって、この場合には、会派広報の作成に要する経費に政務活動費を充てた当該会派は、当該充当額の全額につき、法律上の原因なく利益を受けたとはいえないと解される。

他方で、②会派広報の発行及び配布は、その紙面に会派に所属する議員個人の氏名若しくは役職等の情報またはその写真（以下「議員個人情報等」という。）が掲載されている場合において、当該会派広報の全体の趣旨、目的に加え、議員個人情報等の紙面に占める割合等を総合的に考慮して、専ら会派活動報告等を内容とするものとはいはず、会派活動報告等と、当該議員の存在の周知又は宣伝を目的とする議員個人情報等が混在していると評価されるときは、会派活動報告等に相当する部分については、当該会派が行う「調査研究その他の活動」に当たるということができるが、議員個人情報等に該当する部分については、これに当たるということはできない。したがって、この場合には、会派広報の作成に要する経費（印刷代金、作成費等）のうち会派活動報告等に相当する部分（その割合に応じて按分した額）に限り、政務活動費を充てることができる。

**【平成29年（行コ）第229号（平成30年5月24日 東京高裁）】**

**【原審：平成23年（行ウ）第8号（平成29年6月29日 宇都宮地裁）】**

広報紙やホームページの内容に、調査研究の前提として必要とされる広報活動に該当する部分と、議員個人の宣伝や後援会活動、政党活動、選挙活動に該当する部分が併存する場合、適切な比率により按分がなされて政務調査費が充当されている必要がある。ただし、**議員の行う公的活動には政務調査活動と政務調査以外の政治活動があり**、ホームページにおいても、通常は、政務調査活動についてスペースを割いていると推認される一方で、政党活動や議員個人の宣伝等、政務調査に関するものとはいえない情報にもスペースが割かれていると推認されるから、特段の事情が立証されない限りは、50%で按分し、その限度を超えた支出は違法というべきである。

**【平成29年（行コ）第229号（平成30年5月24日 東京高裁）】**

**【原審：平成23年（行ウ）第8号（平成29年6月29日 宇都宮地裁）】**

一審原告は、県政報告には、政務調査に関する側面はあるが、議員としてのアピール、政治活動の側面が強いから、専用面積により按分するのは妥当ではないと主張する。

しかし、証拠によれば、上記県政報告に上記側面があるとしても、県政報告部分の記載内容は県政報告そのものであることが認められるから、専用面積により按分するのが相当

である。

**Q ホームページの開設、管理費に対する支出について、どのような点に留意するべきですか。**

A ホームページの開設、管理に係る経費に対する支出について、判例等は、政務活動費の支出を認めていますが、広報紙と同様に按分することを基本としています。按分割合については、証拠上、これが不明な場合、2分の1とする判例等が多くあります。

また、ホームページの更新料等について、支払時期が到来した年度の翌年度にこれを支出することを認める判例等がありますが、資料購入費等で説明しているとおり、各市議会の判断ができるだけ当該年度の分は当該年度の政務活動費で対応する方式を基本とすることも考えられます。

具体的な事例として、次の判例等があります。

**【平成22年（行コ）第242号（平成22年11月5日 東京高裁）】**

**【原審：平成19年（行ウ）第45号（平成22年6月9日 横浜地裁）】**

政務調査費の交付を受けた各会派は、その自律的な判断により、例えば、政務調査費の支出の計上時期を現金の支出時とする基準（現金主義）を採用することも許される。地方自治法その他の関係法令に、そのような取扱いを禁止する定めがないからである。そして、控訴人補助参加人（会派）は、このような現金主義を採用しているものとみられる。被控訴人らは、平成16年度に支払時期が到来したものに平成17年分の政務調査費を充てることはできないと主張するが、そのように解すべき法的論拠はない。そうすると、前年度（平成17年3月分）のホームページ更新料、ブログ費用及びドメイン利用料の合計10万7100円を平成17年4月12日に平成17年度の政務調査費から支出することについて、被控訴人の主張するような違法の問題は生じない。

**【平成23年（行ウ）第21号（平成27年1月20日 岡山地裁）】**

議員のホームページ開設・管理のためのパソコン用ソフト購入費、管理料、議員のホームページ開設のためのレンタルサーバーのドメイン取得料について、議員個人のホームページは、市政の調査研究活動以外の活動のためにも用いられ得るものであって、当該ホームページが専ら市政の調査研究活動を目的としたものであるとか、専ら市政の調査研究以外の活動を目的としたものと認めることはできないから、50パーセントで按分し、その限度で政務調査費として支出することが許される。

**【平成29年（行コ）第5号、同第13号（平成30年2月8日 仙台高裁）】**

**【原審：平成25年（行ウ）第11号（平成29年1月31日 仙台地裁）】**

当該議員のホームページは、市の施策についての情報を含んでおり、調査研究活動との合理的関連性を一定程度有するといえるものの、当該ホームページのホーム画面には同議員の写真と共に同議員の所信表明を内容とする挨拶文が掲載されており、当該ホームページを閲覧する者が最初にこの画面を目にするほか、詳細なプロフィールの画面が設けられており、これらの部分については調査研究活動との間に合理的関連性があるものとは言い難く、むしろ、当該議員自身について広く世間にアピールするための掲載内容といえる。そして、こうした部分がホームページの相当程度を占めていることからすれば、そのホームページの維持管理に要した費用は、支出に調査研究以外の目的が併存し、按分割合を合理的な方法により算定できない場合に当たり、少なくとも支出額の2分の1が違法であると認められる。

**【平成29年（行コ）第125号、同171号（平成30年2月22日 大阪高裁）】**

**【原審：平成26年（行ウ）第57号（平成29年4月25日 神戸地裁）】**

県においては、当該年度に交付された政務活動費等は、当該年度に生じた必要な経費にのみ充てることが予定されているというべきであって、任期中の政務活動等であれば、政務活動費等が交付された年度にかかわらず充当することができるとの規律になっているものではないから、採用することができない。

**【平成29年（行コ）第31号、同172号（平成30年3月27日 大阪高裁）】**

**【原審：平成27年（行ウ）第15号（平成28年12月27日 奈良地裁）】**

ホームページを通じて議員の県議会活動及び県政に関する政策等を県民に知らせることは、県政に対する県民の意思を的確に収集・把握することを可能にし、議員の調査研究活動に資するものであるところ、ホームページが更新されなかつたとしても、当然に、県民への情報提供や意思表明等の必要が生じた場合に直ちにホームページに掲載できるよう備える必要がなかつたとか、過去に発信した情報を閲覧可能の状態に置くことに意味がなかつたなどということはできないのであって、その維持管理のために支出した費用に政務活動費を支出することは適法である。

**【平成29年（行コ）第229号（平成30年5月24日 東京高裁）】**

**【原審：平成23年（行ウ）第8号（平成29年6月29日 宇都宮地裁）】**

ホームページ更新費は、広報費に該当する支出であると考えられるが、広報費として上記支出を見た場合、その内容を分析し、政務調査に係る部分とそうでない部分を区分けして、政務調査費に係る部分を按分して支出する必要があるところ、証拠上按分した形跡は見当たらず、また、上記ホームページ中には、A議員の議会活動及び県政に関する政策等

の広報活動も含まれているといえるものの、証拠上、按分割合が不明であることから、2分の1を超えて政務調査費から支出することはできないというべきである。

**Q 切手や葉書の購入費に対する支出について、どのような点に留意するべきですか。**

A 切手を広報紙の送付等に用いることについて、判例等は、これを認めています。しかし、切手は、汎用性があるために政務活動以外の目的に利用される可能性もあります。専ら政務活動に利用されているということが立証されない場合、広報紙の作成に関する費用と同様にこれを按分する判例等があります。

また、先に述べたように切手の汎用性のほか、その換金性についても考慮しておく必要があります。

年度末に切手を大量に購入し、それを翌年度に利用することについて、違法ではないとする判例等があるものの、残余として返還すべき政務活動費の金額を少なくするために、意図的に次年度分の費用を当該年度分として計上する手法を用いたと判断され、これを違法とする判例等があります。近年の政務活動費に関する不適切な支出とされる事例があることを意識した司法の判断と推察することができます。

切手の購入については、資料購入費における書籍等の年間購読費のように、各市議会の判断ができるだけ必要な時に必要な数量を購入し、年度内に使い切るという運用を基本とすることも考えられます。

具体的な事例として、次の判例等があります。

**【平成25年（行ウ）第677号（平成28年3月11日 東京地裁）】**

年賀はがき、暑中見舞いなし残暑見舞い用の夏はがき及び慶事用の切手の購入並びに議長就任あいさつ用のはがきの送付に係る経費であることが報告されていることが認められる。これらは議員の調査研究の端緒となることが通常想定し難い郵便に係るものであって、政務調査活動との合理的関連性を明らかに欠くものの購入に係る支出であり、使途範囲外支出であることが事実上推認される。そして、これを覆すに足りる被告（区長）及びA会派の立証主張はないことからすると、上記支出は、使途範囲外支出であると認められる。

**【平成27年（行コ）第2号、同第9号（平成28年6月22日 仙台高裁）】**

**【原審：平成22年（行ウ）第13号（平成26年11月27日 仙台地裁）】**

切手はその性質上、適宜必要に応じて使用することができるものであり、一般的、外的的事実からは、調査研究活動以外の活動にも利用されていることが推認されるというべきであるところ、A会派は、上記切手は、政務調査活動の成果である議会活動報告紙の発送費用であると主張するが、これを裏付ける客観的資料は認められず、上記切手が調査研究

活動に利用された割合とそれ以外の活動に利用された割合が立証されているということはできないから、上記切手代は、その2分の1を超えて政務調査費から支出することは許されないとすべきである。

**【平成28年（行コ）第413号（平成29年3月14日 東京高裁）】**

**【原審：平成26年（行ウ）第62号（平成28年10月26日 さいたま地裁）】**

同条例は、政務活動費の交付を受けた議員はその交付を受けた年度内に当該政務活動費を支出することを予定しているものである。そして、当該議員が平成25年度の政務活動費から同年度内に代金を支払って切手を購入したことが同条例に反するものではなく、当該政務活動費の交付に係る被控訴人の財務会計上の行為に瑕疵があったとも認められない。

控訴人らが指摘する本件指針における年度をまたぐ支払についての記述は、同条例の上記定めを前提として、当該市議会議員が実際に政務活動費の支払をした時点で当該政務活動費の支出があったものと処理することを原則とする（現金主義）が、年度末が支払期日である光熱費等につき年度末が休日等でやむを得ず4月1日以降（翌年度）に支払をした場合には、例外として3月分（3月31日までの年度）の政務活動費の支出として処理する旨の取扱いを定めたものであるところ、当該議員は平成25年度の政務活動費を同年度中に支払ったものであるから、これは、本件指針が定める例外的取扱とは関係なく、本件指針に反するものではない。なお、平成25年度の政務活動費で購入した切手を当該議員の同年度中の広報広聴活動に使用することが望ましいかどうかはともかく、同条例上その使用時期を定めた規定はなく、また、当該切手を平成26年度に使用することが地方自治法208条に定める会計年度独立の原則に反しないことは引用に係る原判決の判示するところである。

**【平成25年（行ウ）第811号（平成29年4月27日 東京地裁）】**

平成23年度の最後の議会報告が発行された時期よりも約2週間も後である平成24年3月8日に1000枚の80円切手が購入されていることからすれば、これも議会報告の送付とは関係なく購入されたものと認めるのが相当であり、議会報告の郵送のために購入したという会派の主張は直ちに信用することができないというべきである。そうすると、切手の購入については、上記のような本件における会派の主張立証の状況をも踏まえると上記各切手の購入の時期等に係る外形的事実をもって、それらの購入に係る支出が本件使途基準に適合しないことが一応推認されるというべきである。

D議員は、1回に郵送する議会報告は約1万部であり、上記各切手をその郵送のために用いた旨証言等するが、同証言等によっても上記各支出の購入時期等の外形的事実について合理的な説明がされているもとはいえず、その他、上記推認を覆すに足りる証拠はない。

一方、会派は、はがき代について、購入した議員がはがき版の議会報告を送付するために購入したと主張し、D議員もこれに沿う証言等をするところ、原告が指摘する平成24

年度以降に議会報告を行ったはがき代が政務調査費から支出されていないという点を考慮したとしても、A会派の所属議員が政務調査費から支出せずに購入したはがきによる議会報告を行っている可能性もあるのであるから、平成24年度以降に政務調査費から議会報告のためのはがき代が支出されていないという事実をもって、はがき代の支出が本件使途基準に適合しないものであることを推認させる一般的、外形的な事実が立証されたとまでは認められないというべきである。

以上によれば、本件使途基準に適合しない違法なものと認めるのが相当である。

**【平成29年（行コ）第125号、同171号（平成30年3月22日 大阪高裁）】**

**【原審：平成26年（行ウ）第57号（平成29年4月25日 神戸地裁）】**

当該切手を当該年度内に使用し切らなくても差し支えないとすれば、政務活動費等の剰余金の返還を免れることができ（この点、当該切手を売却することにより換金し、広報広聴活動以外の経費に充てることも不可能ではない。）、年度単位で収支計算がされる政務活動費の制度趣旨に反する結果を招来するおそれが高いといわざるを得ない。このことは、県において、平成26年10月1日以降、政務活動費を切手の購入に充てることが原則として禁止されていることからも明らかである。

以上のとおり、改正前条例及び改正後条例の趣旨からすれば、当該年度に購入した切手を当該年度に使用しなかった場合には、当該年度の政務活動費等を上記切手の購入に要した費用に充てることはできないというべきである。

これに対し、被告人及び参加人らは、①手引において禁止されていないこと、②議員の活動は年度ごとに完結するものではなく、任期中継続して行われることからすれば、政務活動費等により購入した切手を翌年度以降に繰り越して使用することは当然予定されている旨を主張する。

しかし、上記①についていえば、手引に記載がないことをもって、法令上当然に許容されているということにはならない。

また、上記②についていえば、たとえ議員の活動は年度ごとに完結しない継続的なものであるとしても、政務活動費等の収支計算が年度単位で行われるものである以上、政務活動費等により購入した切手を翌年度以降に繰り越して使用することは許されないというほかない。このように解しても翌年度に行う広報活動又は広報広聴活動のために必要な切手の購入費用は、翌年度に交付される政務活動費等から支出することができるのだから、議員活動に支障が生じるということもできない。（中略）

また、控訴人は、年度末の時点で未使用の切手が存在したとしても、当該切手が次年度以降に広報誌等の郵送のために使用されていれば、使用された時期が次年度以降になったとしても、利益は現存しないことになる旨主張するが、年度末の時点で未使用の切手を次年度以降に使用することは違法であり、次年度以降の郵送には当該年度の政務活動費が充てられるべきであるから、次年度以降の切手の使用によって利益が現存しないことになる

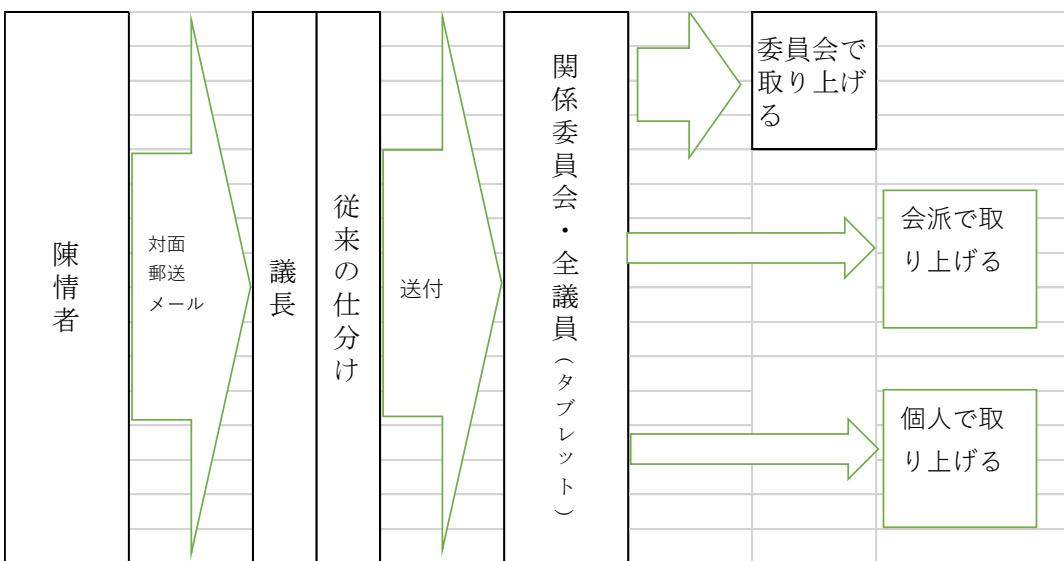
と解することはできないというべきである。

◆政務活動費(広報費)の取り扱いについて(～島根県市議会議長会事務局職員研修会での課題を踏まえ～)

※R020310特別委員会の資料を改良

自治体名	浜田市	松江市	出雲市	益田市	大田市	安来市	江津市	雲南市
交付対象	議員	議員及び会派	会派	議員	議員	会派	議員	議員
交付額	議員=10万円	議員=25,000円×12月=30万円 会派へ15,000円×12月=18万円	会派に所属する議員1人あたり年額45万円(所属していない議員も1人会派とみなして支給)	年額12万円	年額12万円	月額2万円×12月=24万円	年額12万円	月額1万5千円×12月=18万円
支払方法	4月に交付決定、後払い	年度終了後に後払い(年度終了前に交付を求めるときは4月から9月までの政務活動の期間が終了した後)	4月に1/2交付、10月に1/2交付、年度末に精算	4月に1/2交付、10月に1/2交付、年度末に精算	5月に一括交付、年度末に精算	概算払い(会派が必要と認めた場合にその都度概算で交付申請)	4月に一括交付、年度末に精算	4月に1/2交付、10月に1/2交付、年度末に精算
広報費	×	△(会派分のみ可、議員分は不可)	○(会派支給)	○	○	×	×	○
対象経費		(会派が対象) ・通信運搬費(送料に限る) ・会場費 ・新聞折込料 ・広報誌・報告書等印刷費 ・ホームページの作成及び維持管理に要する経費 ・人件費	(会派が対象) ・広報紙・報告書等印刷費 ・会場費 ・茶菓子代 ・文書通信費 ・交通費等	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費(広報紙印刷費)	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費(広報紙・報告書等印刷費、文書通信費、交通費、会場費等)			議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費(広報紙、報告書印刷費、送料、会場費等)
運用基準等		会派が行う調査研究活動及び議会活動並びに市政について住民に報告し、広報するために要する経費  *議員が対象の政務活動費では広報費は除外。(認めているのは、研究研修費、調査旅費、資料購入費、資料作成費)	会派が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費	広報紙の内容について ※内容が、議会報告のみでは政務活動と判断し難いため、議会報告に併せ、調査報告、市政に対する政務活動報告が入っていること。 後援会作成のものは該当しない。 (紙面上に一部分でも政務活動以外の内容が掲載されているものは認めない)	送料は郵送料、宅配料、新聞折込広告料を含む。 後援会活動のみのものは不適当。 掲載内容により経費按分することが適當。 郵送料、宅配料、新聞折込広告料等も同様。			(1)充当方針 議員自らが発行する広報紙に係る経費に限る。 (2)充当できる経費 ①広報紙 後援会等と共同で発行する場合は、紙面の割合で按分する。 収支報告書に、当該広報紙を添付する。 なお、広報紙には、公職選挙法等の禁止規定に抵触しないよう注意をする。
島根県市議会議長会事務局職員研修会における各市議会のコメント	広報費は対象としていない。  旧浜田市でのみ広報費を認めていたが、平成18年4月から適切なものと不適切なものとの明確な判断がしにくいため支給対象外とした経緯あり。  広報費については、政務活動と議員や会派のPRを目的とする政務活動以外の活動が併存する可能性が高く、全国的に不適切な使用により問題となっているケースも多く、公平性、透明性を維持するため対象外としている。  【認めているのは下記のとおり】 調査研究費、研修費、広聴費、要請・陳情活動費、資料作成費、資料購入費	「松江市議会政務活動費取扱指針」により、会派支給分として広報費に対する政務活動費の充当を認めています。 支出対象経費は、会派が行う調査研究活動及び議会活動並びに市政について、会派として住民に報告し、広報するために要する経費とされています。 【具体例】 ①通信運搬費(送料に限る) ②会場費 ③新聞折込料 ④広報紙・報告書等印刷費 ⑤ホームページの作成及び維持管理に要する経費 ⑥人件費  ただし、広報紙・報告書等を作成する場合、議員個人の活動報告、宣伝と捉えられかねないものについては、対象外として面積割合等の按分率を各会派の責任において定めることとしています。	広報費は「政務活動費(広報費)の取り扱いについて(県内)」のとおりとされています。 ただし、以下のようなものは、政務活動費の対象としない運用にしており、その面積がページ全体の10%を超えた場合は、その超えた部分を面積按分して政務活動費を適用しない運用とされています。 ・政治活動や選挙活動に関する記事 ・年末年始などの挨拶文全般 ・慶弔や見舞に関する記事 ・議員(自ら)の写真・紹介に関する記事。  なお、今後においては、現時点で段階の変更の予定はありません。	政務活動費の広報費は、「議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費」として対象とされています。今のところ変更する予定はありません。  議会報告などの広報紙については、政治活動(政党活動、選挙活動、後援会活動等)とならない場合に限り広報費の対象としています。	広報費も対象としており、議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費を支出されています。(印刷費や通信費等) 今後も引き続き対象とする見込みです。	広報費は対象としていない。 主な使途として広報紙の発行になろうかと思うが、政務活動として認められる範囲であるか、議員自身の宣伝となるかの判断が難しく、裁判でも判断が分かれるところである。明確に基準を設けることは難しいことから、対象からは外している。  【認めているのは下記のとおり】 研究研修費、調査旅費、資料作成費、資料購入費、広聴費、事務費	以前は広報費を対象としていた。しかし、広報紙の内容が、選挙・政党活動に関するものや後援者に向けた活動報告などが含まれている場合があり、その都度按分率や対象外かどうかの判断を求められ苦慮しました。  多くの市議会では費用が明確に区分できない場合、合理的な按分割合を取り決めて充当する手法が採用されているようですが、その按分率についての見解が判例等においても分かれることがあり、本市では、政務活動費の交付に関する条例を制定する際に協議を行い、広報費は対象外とすることを決定した経緯があります。 今後も対象に入る予定はありません。  【認めているのは下記のとおり】 調査研究費、研修費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費、資料購入費、その他の経費	
全国市議会議長会のコメント	●広報費については、政務活動と議員や会派のPRを目的とする活動など政務活動以外の活動が併存する可能性がある。  ●広報費に対する政務活動費の支出については、広報活動を通じて、住民の要望、意見等を把握することにつながると考えられるため、判例等はこれを認めており、その費用が専ら政務活動のためであることが立証されない場合は按分することとし、その割合については、多くの判例等が50%を基本としている。ただし、50%以下であれば常に支出が適法とされるわけではないことに注意が必要である。  ●事例によれば、これとは異なる割合を示した判例もある。例えば、政務活動と認められる事項が記載されていても、PRと思われるような要素(写真やプロフィールなど)が紙面の目立つところに掲載されたり、多くの部分を占めている場合など、広報としての目的ではなく、会派や議員の宣伝を目的で作成されたものと判断され、その全額が返還の対象となっている。 また、広報紙に議員の顔写真を掲載することについて、以前の判例等は、具体的な基準等に関する判断を示すことなく、これを認めていた。しかし、近年は、掲載状況等を検証した結果、宣伝活動の一つとみなし、これを按分の対象とする判例等がある。さらに、広報紙の配布自体を選挙活動の一部が混在する行為とする判例等もある。  ●議員個人の写真やプロフィール等を広報紙に掲載するのは必要最低限にとどめ、掲載する際は、掲載方法やその内容などから、広報紙に掲載することへの必要性について裁判で立証できるのか十分な検討が必要と考えられる。具体的な判例等については、平成31年2月に本会からお示しした『全国市議会議長会政務活動費に関するQ&A(参考指針)』を参考にしていただければ幸いである。							

## オンラインで提出された陳情の取扱いについて（各会派の意見）

会派名	陳情の具体的な処理方法等 (対面・郵送・オンライン共通)
創風会	すべて審査する。 (従前の対面提出と同様の取扱い)
超党みらい	<p>すべて審査する。 (従前の対面提出と同様の取扱い)</p> <p>①審査しやすいように陳情書の書式（願意と理由）を統一する。（※書式に適合していないものは配付とする。）</p> <p>②受け付けた後、審査せず配付に留める条件（陳情書取扱基準）を再度検討する。</p>
公明クラブ	<p>すべて審査する。 (従前の対面提出と同様の取扱い)</p> <p>①陳情書取扱基準の見直しが必要と考える。</p>
山水海	<p>①議長が、対面・郵送・メールで受け付けた陳情を、<b>適宜仕分け後に関係委員会及び全議員に送付</b>し、共有する。</p> <p>②委員会で所管事務調査する・しないは、何らかの基準に基づき各委員会が判断する。（よって、付託ではないので、採択又は不採択を議決しない。）</p> <p>③委員会で調査されなかった陳情は、個人又は会派としての対応も可とする。</p> <p>④委員会への仕分けは、従来どおり議長、副議長、議運委員長、副委員長が行う。</p>  <pre> graph LR     A[陳情者] --&gt; B["対面 郵送 メール"]     B --&gt; C[議長]     C --&gt; D["従来の仕分け"]     D --&gt; E[送付]     E --&gt; F["関係委員会・全議員 (タブレット)"]     F --&gt; G["委員会で 取り上げる"]     F --&gt; H["会派で 取り上げる"]     F --&gt; I["個人で 取り上げる"]   </pre>

【参考】R6.6.20 議会運営員会資料から抜粋

取扱いの案 (対面・郵送・オンライン共通)		具体的な処理方法等
案 1	<b>すべて審査する</b> (従前の対面提出と同様の取扱い)	①定例会議の開会前に、正副議長と議会運営委員会の正副委員長が内容を確認し、付託先等取扱いの案を決定する。(取扱基準に該当する場合は全議員に写しを配付する。) ②付託された委員会で審査する。
案 2	<b>すべて審査せず、全議員で共有する</b> (新たなやり方)	①提出された陳情をその都度議員のタブレットに配信する。 ②写しや審査結果をホームページに掲載しない場合は、厳密な本人確認は必要ない。また、氏名等の公表の承諾を得る必要はない。  <b>〔要検討事項〕</b> ①委員会の所管事務調査や一般質問で取り上げるなどの対応が考えられる陳情を深掘りするための仕組みづくりが必要ではないか。(委員会開催の都度、議題に上げ、所管事務調査とするかどうかを協議する 等) ②所管委員会への振り分けは不要とすることで良いか。
案 3	<b>上記以外</b>	

## 令和7年度議員改選に向けた議員定数の変更について

### ◆県内8市における議員定数等の状況

\*人口・面積はR6.4.1時点

	議員定数	任期満了日	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	常任委員会数
松江市	34人(現員31人) ※次期改選時は31人とすることに決定	R7. 4. 23	194, 814	572. 99	総務委員会(9人:現員8人) 教育民生委員会(9人:現員8人) 経済委員会(8人:現員7人) 建設環境委員会(8人)
浜田市	22人(現員21人)	R7. 10. 22	49, 096	690. 68	総務文教委員会(8人:現員6人) 福祉環境委員会(7人:現員7人) 産業建設委員会(7人:現員7人) ※議長は総務文教委員会に所属するが辞任できる。
出雲市	30人(現員29人) ※変更予定なし	R7. 4. 16	172, 455	624. 32	総務委員会(8人) 文教厚生委員会(8人:現員7人) 環境経済委員会(7人) 建設農林水産委員会(7人)
益田市	20人(現員20人) ※変更予定なし	R9. 9. 8	43, 327	733. 19	総務文教委員会(7人) 福祉環境委員会(6人) 経済建設委員会(6人) ※議長は条例の規定により常任委員とならない。
大田市	18人(現員18人) ※変更予定なし	R8. 4. 10	31, 925	435. 34	総務教育委員会(6人) 民生委員会(6人) 産業建設委員会(6人)
安来市	18人(現員18人) ※変更予定なし	R7. 10. 31	35, 625	420. 93	総務企画委員会(6人) 文教福祉委員会(6人) 地域振興委員会(6人)
江津市	16人(現員16人) ※現時点で議論なし、今後議論の可能性あり(議会活性化特別委員会)	R8. 5. 31	21, 464	268. 24	総務民生委員会(8人) 建設経済委員会(8人)
雲南市	19人(現員17人) ※変更予定なし	R6. 11. 27	34, 826	553. 20	総務委員会(7人:現員6人) 教育民生委員会(6人:現員5人) 産業建設委員会(6人:現員5人) ※議長は慣例により常任委員とならない。

# **浜田市議会の議員定数等に関する 市民アンケート調査実施報告書**

**～令和 3 年 10 月の次期一般選挙に向けて～**

**令和 2 年 6 月 25 日**

**議員定数等議会改革推進特別委員会**

# 目 次

<b>1 調査概要</b> .....	1
調査の目的.....	1
調査方法.....	1
<b>2 調査結果</b> .....	5
質問 1 あなたの性別を教えてください。 .....	5
質問 2 あなたの年齢を教えてください。 .....	5
質問 3 あなたのお住まいを教えてください。 .....	6
質問 4 浜田市議会の活動をどうやって知りますか（複数回答）。 .....	6
質問 5 あなたの声が届く議員が何人いますか。 .....	7
質問 6 議員定数は何人が適当だと思いますか。 .....	8
(クロス集計) 声の届く議員が 0 人に回答とした回答者が選んだ適正人数 ..	10
(クロス集計) 声の届く議員が 1 人以上を回答した回答者が選んだ適正人数 ..	13
質問 7 質問 6 の理由についてお聞かせください。 .....	14
(1) 「●人に減らすのが適当だと思う」を選択した回答者の意見.....	14
(2) 「現在の 24 人が適当だと思う」を選択した回答者の意見.....	34
(3) 「●人に増やすのが適当だと思う」を選択した回答者の意見.....	36
(4) 「わからない」を選択した回答者の意見.....	36
質問 8 あなたの声がどうしたらもっと市議会に届くと思いますか。 .....	38

## 1 調査概要

### 調査の目的

次期一般選挙（令和 3 年 10 月）における議員定数等について、市民の意向を把握するため。

### 調査方法

(1) 対象地域	浜田市内全域	
(2) 対象者	浜田市民	
(3) 調査時期	令和 2 年 5 月 1 日～5 月 31 日	
(4) 調査方法	はまだ議会だより令和 2 年 5 月 1 日号 (Vol. 57) にアンケート用紙を挟み全世帯配付した。また、別ページに類似団体の議員定数等の掲載を行い情報提供了。	
(5) 回答方法	<p>ア アンケート用紙の提出方法 (ア) 公民館の回収箱に投函 (28 か所) (イ) 本庁支所の回収箱へ投函 (5 か所) (ウ) FAX で受付 (エ) 知り合いの議員へ提出 イ インターネットによる回答 浜田市のホームページに掲載しているしまね電子申請システムから無記名式で回答を受付 (アンケート用紙記載の QR コードからの接続も可能とした)</p>	
(6) 回答数	回答方法	回収枚 (件) 数
	アンケート用紙による回答	348
	インターネットからの回答	518
	合 計	866
	【補足：用紙による回答数】 公民館投函 = 155 枚 本庁支所投函 = 60 枚 郵送、FAX、議員持参 = 133 枚	
(7) 費用	アンケート用紙印刷費 79,960 円 (うち 7,269 円消費税)	

[FAX (0855)22-6765]

## 浜田市議会の議員定数等に関する 市民アンケート

それぞれ質問の答えを英記号に○印又は意見等を記載してください。

**質問1** あなたの性別を教えてください。

- A 男性      B 女性

**質問2** あなたの年齢を教えてください。

- A 10歳代      B 20歳代      C 30歳代      D 40歳代      E 50歳代  
F 60歳代      G 70歳代      H 80歳代      I 90歳代      J 100歳以上

**質問3** あなたのお住まいを教えてください。

- A 浜田自治区      B 金城自治区      C 旭自治区      D 弥栄自治区  
E 三隅自治区

**質問4** 浜田市議会の活動をどうやって知りますか。

- A 議会だより      B ケーブルテレビ      C ホームページ      D 身近な議員  
E わからない      F その他 ( )

**質問5** あなたの声が届く議員が何人いますか。

- A 0人      B 1人      C 2人      D 3人以上

**質問6** 議員定数は何人が適当だと思いますか。

- A 現在の24人が適当だと思う      B \_\_\_\_\_人に増やすのが適当だと思う  
C \_\_\_\_\_人に減らすのが適当だと思う      D わからない

**質問7** 質問6の理由についてお聞かせください。

(自由記入欄)

**質問8** あなたの声がどうしたらもっと市議会に届くと思いますか。

(自由記入欄)

アンケートへのご協力ありがとうございました。

# 議員定数等に関する市民アンケートのお願い

浜田市議会では、次期一般選挙（令和3年10月）に向け、議員定数のあり方について検討しています。市民のみなさんのご意見を参考にするためのアンケートに、是非ともご協力をお願いします。

## 議員定数を議論する上で市民のみなさんに知りたいこと

### ●議会に必要な議員数の考え方

- ①議会の監視機能の重要性…地方分権改革により首長の方針が施策に反映しやすくなり、議会の監視機能も重要性を増してきている。
- ②多様性・専門性の確保…多様で専門的な視点から政策の適否を判断したり、政策提言に結びつけたりする議論が必要である。
- ③委員会の審議能力発揮…浜田市議会には5つの常任委員会と3つの特別委員会があり、各委員会での審議能力を発揮するためには、一定程度の人数が必要である。

### ●浜田市議会の近年の議会改革の取組

- ①議会機能の強化…通常会期制の導入（平成31年4月）
- ②議会運営の効率化…タブレット端末によるペーパーレス会議システムの導入（平成31年3月）
- ③広報広聴機能の充実…議会だより紙面刷新、議会報告会の開催方法見直し（平成30年度から随時）
- ④政策提言機能の強化…政策討論会の実施（令和元年8月）、政策提言書の提出（令和元年度3件）
- ⑤情報公開手段の拡充…本会議に加え委員会のインターネット動画配信開始（平成30年2月）

浜田市議会は早稲田大学マニフェスト研究所の議会改年度調査2018で、全国1,447の地方議会の中で61位でした。

### （参考）

#### ①浜田市の類似団体及び隣接市の状況について

平成30年12月31日時点

▼類似団体の一覧表（※ここでいう類似団体とは、人口5万人以上6万人未満かつ産業構造が類似している自治体のこと。）

都道府県名	団体名	議員定数	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)
北海道	北広島市	22	119	58,630
北海道	石狩市	22	722	58,945
青森県	むつ市	26	864	57,993
岩手県	滝沢市	20	182	55,288
宮城県	塩竈市	18	17	54,422
宮城県	富谷市	20	49	52,569
埼玉県	日高市	16	47	56,066
埼玉県	白岡市	18	25	52,497
東京都	福生市	19	10	58,243
神奈川県	逗子市	17	17	59,573
石川県	七尾市	18	318	52,940
石川県	野々市市	15	14	52,610
愛知県	長久手市	18	22	58,452
京都府	向日市	20	8	57,563

都道府県名	団体名	議員定数	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)
大阪府	高石市	16	11	57,875
大阪府	四條畷市	12	19	55,802
大阪府	大阪狭山市	15	12	58,547
大阪府	阪南市	14	36	54,534
奈良県	桜井市	16	99	57,357
和歌山県	岩出市	16	39	53,908
鳥取県	浜田市	24	691	54,328
福岡県	小郡市	18	46	59,735
福岡県	古賀市	19	42	59,151
熊本県	荒尾市	18	57	52,822

※類似団体の平均議員定数は18人

### ▼隣接市の一覧表

島根県	益田市	22	733	46,871
島根県	江津市	16	268	23,664

#### ②浜田市議会の議員定数の推移

平成17年は36人（合併直後は旧市町村ごとの選挙区あり）、平成21年から28人（選挙区廃止により全市一区）、平成25年から24人（定数見直し）。

## 【アンケート実施期間】 5月1日～5月31日

方法  
1

- 本号に挟んでいるアンケート用紙で回答の場合
- ①最寄りの公民館（分館は除く）へ設置の回収箱へ投函
  - ②浜田市役所本庁舎（1階）または各支所設置の回収箱へ投函
  - ③ファックス 22-6765 議会事務局へ送信
  - ④お知り合いの浜田市議会議員へ提出

方法  
2

- インターネットから回答の場合
- 下のQRコードを読み込むか、浜田市ホームページのアンケートページから回答の場合
- 浜田市ホームページ  
くらしの情報  
しまね電子申請サービス
- 

**【参考：平成 24 年度実施の浜田市議会議員の議員定数等に関するアンケート調査実施報告書との比較】**

項目	令和 2 年度	平成 24 年度	
調査期間	令和 2 年 5 月 1 日～ 5 月 31 日	平成 24 年 8 月 1 日～ 8 月 31 日	
調査方法	市内全世帯にはまだ議会だより令和 2 年 5 月 1 日号 (Vol. 57) に「議員定数等に関する市民アンケートのお願い」を挟み配付した。回答は、公民館・本庁・支所への投函、FAX、議員へ提出及びインターネット(しまね電子申請システム)を利用した。	市内全世帯に議会だより平成 24 年 8 月 1 日号に「浜田市議会議員の議員定数等に関するアンケート」と回答はがきを掲載した。回答は、回答はがきを切り取って郵送による回収(料金受取人払郵便を利用)	
回答者数	866 人	3,124 人	
男女	男性 女性	555 人(64.1%) 311 人(35.9%)	2,904 人(93.0%) 214 人(7.0%)
居住地	浜田 金城 旭 弥栄 三隅 無記入	599 人(69.2%) 90 人(10.4%) 47 人(5.4%) 21 人(2.4%) 104 人(12.0%) 5 人(0.6%)	2,467 人(79.0%) 111 人(3.6%) 159 人(5.1%) 177 人(5.7%) 202 人(6.5%) 6 人(0.1%)
年代	10 歳代 20 歳代 30 歳代 40 歳代 50 歳代 60 歳代 70 歳代 80 歳代 90 歳代 無記入	8 人(0.9%) 87 人(10.0%) 159 人(13.4%) 168 人(19.4%) 118 人(12.0%) 157 人(13.6%) 123 人(14.2%) 40 人(4.6%) 6 人(0.7%) 0 人(0%)	2 人(0.1%) 108 人(3.5%) 269 人(8.6%) 374 人(12.0%) 563 人(18.1%) 750 人(24.1%) 879 人(28.2%) 172 人(5.5%) ※80 歳以上で集計 1 人(0.0%)
費用(円)		79,960 円(税込) 議会だより印刷代	331,060 円(税込) 議会だより印刷代 アンケート郵送代
現定員数への 最多の回答	(議員定数 24 人に対して) 減らすのが適當だと思う (754 人 87%)	(議員定数 28 人に対して) 多い (3,064 人 98%)	
適正人数で 最多の回答	18 人(222 人 26%)	20 人(1,301 人 43%)	

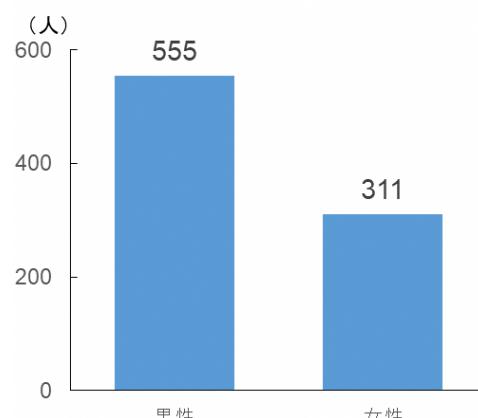
## 2 調査結果

### 質問 1 あなたの性別を教えてください。

表 1 男女別回答者数

性別	男性	女性	総計
回答者数	555	311	866

- 回答総数は、866人でした。
- 男女別の内訳と割合は  
男性が 555人 (64.1%)  
女性は 311人 (35.91%) でした。
- **男性の回答が多かったです。**

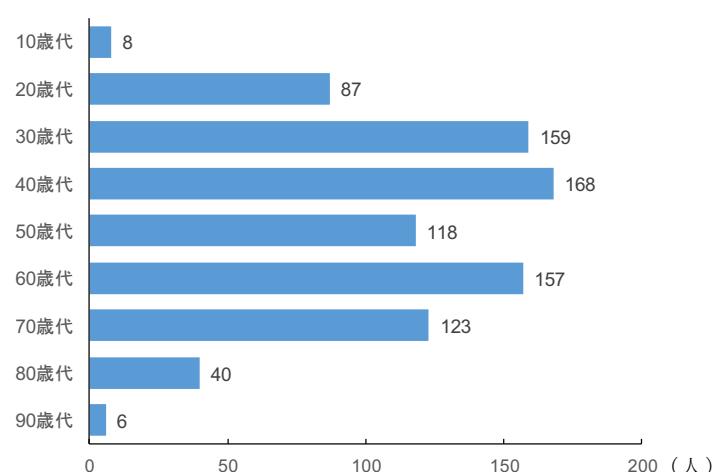


### 質問 2 あなたの年齢を教えてください。

表 2 年代別回答者数（※100歳以上は、回答者なし）

回答	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	無回答	総計
10歳代	7				1		8
20歳代	62	8	1	1	15		87
30歳代	116	16	3	3	21		159
40歳代	104	23	14	4	23		168
50歳代	91	6	9	3	8	1	118
60歳代	103	26	7	2	17	2	157
70歳代	82	9	10	5	15	2	123
80歳代	29	2	2	3	4		40
90歳代	5		1				6
総計	599	90	47	21	104	5	866

- 年齢別の内訳と割合は  
10歳代が 8人 (0.9%)  
20歳代 87人 (10.1%)  
30歳代 159人 (18.4%)  
40歳代 168人 (19.4%)  
50歳代 118人 (13.6%)  
60歳代 157人 (18.1%)  
70歳代 123人 (14.2%)  
80歳代 40人 (4.6%)  
90歳代 6人 (0.7%) でした。
- **最も回答が多かった年代は、40歳代でした。**



### 質問3 あなたのお住まいを教えてください。

表3 自治区別回答者数

	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	無回答	総計
男性	396	51	30	11	63	4	555
女性	203	39	17	10	41	1	311
総計	599	90	47	21	104	5	866
人口 (比率)	39,102 (1.5%)	4,128 (2.2%)	2,628 (1.8%)	1,224 (1.7%)	5,836 (1.8%)		52,918 (1.6%)

- 自治区別の内訳と割合は
  - 浜田自治区が 599 人 (69.2%)
  - 金城自治区が 90 人 (10.4%)
  - 旭自治区が 47 人 (5.4%)
  - 弥栄自治区が 21 人 (2.4%)
  - 三隅自治区が 104 人 (12.0%)
  - 無回答が 5 人 (0.6%) でした。
- **浜田自治区の回答が最多でした。**
  - \* 人口比率の人口は 5 月末時点の住民基本台帳人口

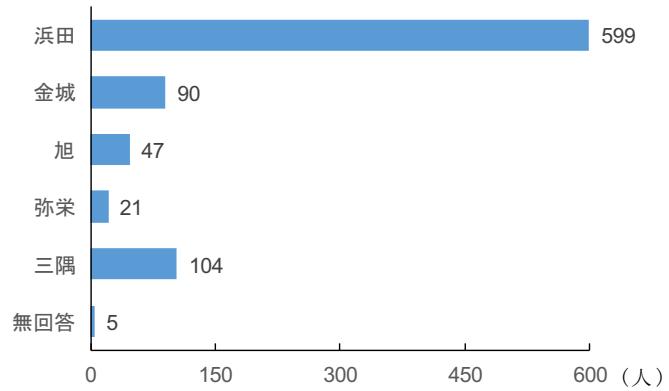


図3 自治区別回答者数

### 質問4 浜田市議会の活動をどうやって知りますか（複数回答）。

- 市議会の活動を知る方法の内訳は、
  - 議会だより 653 人 (55.5%)
  - ケーブルテレビ 200 人 (17.0%)
  - 身近な議員 154 人 (13.1%)
  - ホームページ 80 人 (6.8%)
  - わからない 69 人 (5.9%)
  - その他 20 人 (1.7%) でした。
- **男女別、自治区別ともに議会だよりも多く、三隅自治区では、議会だよりもケーブルテレビが同数でした。**

表4-1 男女別回答者数

項目	男性	女性	総計
議会だより	426	227	653
ケーブルテレビ	145	55	200
身近な議員	103	51	154
ホームページ	52	28	80
わからない	37	32	69
その他	14	6	20
総計	777	399	1176

表4-2 自治区別回答者数

回答	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	無回答	総計
議会だより	450	76	41	21	60	4	653
ケーブルテレビ	107	14	10	8	60	1	200
身近な議員	98	17	8	8	22	1	154
ホームページ	58	6	7	6	3		80
わからない	55	4	3		7		69
その他	15	1	2	1	1		20
回答数	598	90	47	21	105	5	866

#### 【その他回答】

報告会、浜田市報、議会傍聴、他人から、議員さんのチラシ、アンケートをやっていいると聞いた、新聞など、テレビ、詳しく知りたい時がある、傍聴、議会見学、新聞など、ユーチューブ

## 質問 5 あなたの声が届く議員が何人いますか。

- 男女別で最も回答が多かったのは、男性で「1人」を回答した 211 人でした。女性では「0人」の回答を選択した 147 人でした。
- 回答別の人数と割合は  
 「0人」が 354 人 (40.9%)  
 「1人」が 323 人 (37.3%)  
 「2人」が 86 人 (9.9%)  
 「3人以上」が 89 人 (10.3%)  
 「無回答」が 14 人 (1.6%)  
 でした。
- 声の届く議員の人数は、  
 「0人・1人」が多数でした。

表 5-1 男女別回答者数

回答	0人	1人	2人	3人以上	無回答	総計
男性	207	211	63	63	10	555
女性	147	112	22	26	4	311
総計	354	323	86	89	14	866

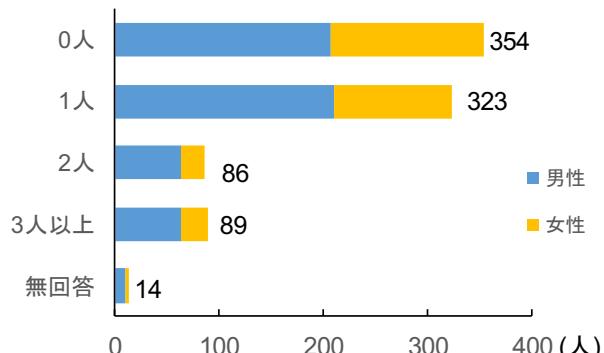


図 5-1 男女別回答者数

- 年代別では、「0人」と回答した年代は、20 歳代が最も多く、次いで 30 歳代、40 歳代でした。
- 「1人」と回答した年代は、40 歳代が最も多く、次いで 30 歳代、60 歳代でした。

表 5-2 年代別回答者数

回答	0人	1人	2人	3人以上	無回答	総計
10歳代	8					8
20歳代	77	9	1			87
30歳代	73	77	5	4		159
40歳代	53	91	18	6		168
50歳代	34	41	17	25	1	118
60歳代	51	54	23	25	4	157
70歳代	45	34	17	21	6	123
80歳代	11	15	4	7	3	40
90歳代	2	2	1	1		6
総計	354	323	86	89	14	866

- 各自治区で最多回答は浜田自治区は「0人」
- 金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区は「1人」でした。
- 声の届く議員の人数は、浜田自治区では「0人」が最多でしたが、その他の 3 自治区では「1人」が多数でした。

表 5-3 各自治区回答者数

回答	0人	1人	2人	3人以上	無回答	総計
浜田	267	199	60	66	7	599
金城	33	40	8	6	3	90
旭	14	23	6	3	1	47
弥栄	6	12	2		1	21
三隅	32	49	9	13	1	104
無回答	2		1	1	1	5
総計	354	323	86	89	14	866

## 質問 6 議員定数は何人が適当だと思いますか。

- 最も多い回答は「●人に減らすのが適当だと思う」で 754 人 (87.1%) でした。次いで「わからない」が 57 人 (6.6%)、「現在の 24 人が適当だと思う」が 42 人 (4.8%)、「●人に増やすのが適当だと思う」が 8 人 (0.9%)、「無回答」が 5 人 (0.6%) でした。
- 定員を減らす意見が最多でした。

表 6-1 男女別回答者数

項目	男性	女性	総計
●人に減らすのが適当だと思う	484	270	754
わからない	32	25	57
現在の 24 人が適当だと思う	31	11	42
●人に増やすのが適当だと思う	5	3	8
無回答	3	2	5
総計	555	311	866

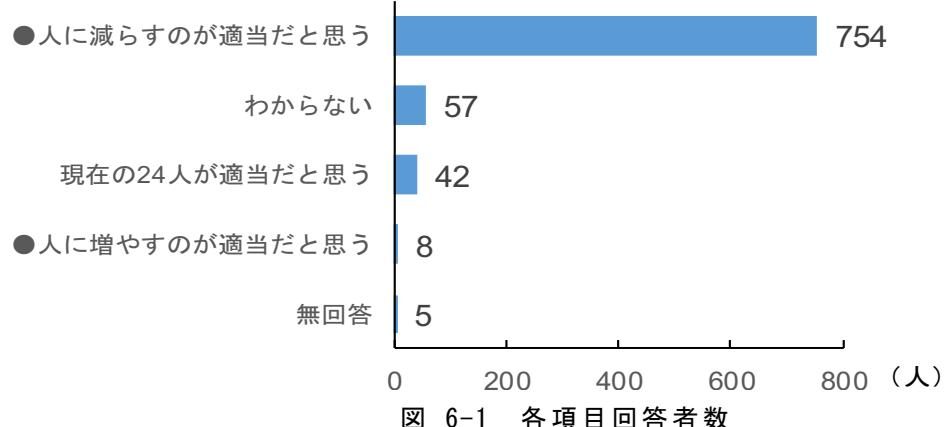


図 6-1 各項目回答者数

表 6-2 各自治区別回答

項目	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	無回答	総計
●人に減らすのが適当だと思う	546	74	35	13	81	5	754
分からぬ	33	9	4	3	8		57
現在の 24 人が適当だと思う	15	4	6	4	13		42
●人に増やすのが適当だと思う	2	2	2	1	1		8
無回答	3	1			1		5
総計	599	90	47	21	104	5	866

- 自治区別でも、全自治区で「●人に減らすのが適当だと思う」が最も回答が多くなっています。

表 6-3 男女別適正人回答

回答	男性	女性	総計
0	2	1	3
1	1		1
2	1		1
3	1		1
4	8		8
5	1		1
6	3	1	4
8	1		1
9		1	1
10	13	5	18
11	2		2
12	24	1	25
13	2	1	3
14	29	17	46
15	36	29	65
16	81	51	132
17	12	3	15
18	131	92	223
19	6	1	7
20	102	53	155
21	2	1	3
22	20	5	25
23	2		2
24	31	11	42
25	1	1	2
26	2		2
28		1	1
30	1		1
32	1		1
わからない	32	25	57
無回答	3	5	8
総計	555	311	866

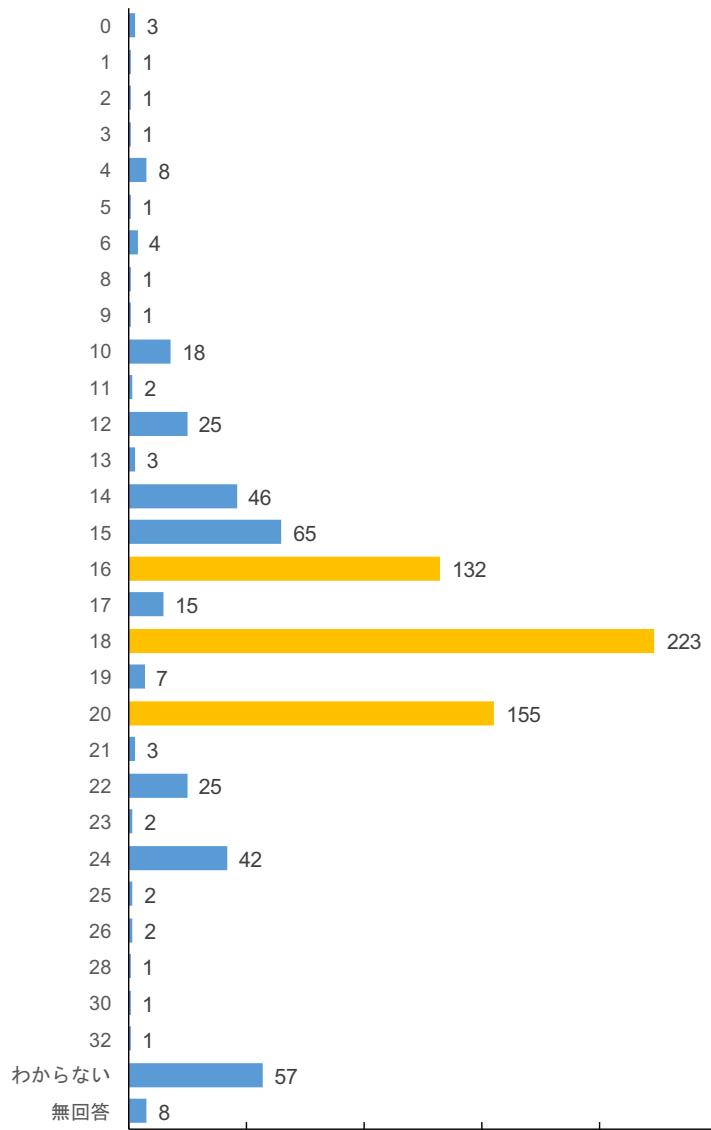


図 6-3 適正人回答

)

- 適正人回答の多い順は「18人」が223人(25.8%)、「20人」が155人(17.9%)、「16人」が132人(15.2%)となってています。
- 「18人」の回答が最多でした。
- その他適正な人数を範囲で回答した一覧は右表のとおりです。

表 6-4 その他適正な人数の回答

回答	男性	女性	合計
10人以下	1		1
15~18		1	1
15~20		1	1
16~18	1		1
18~20	1	1	2
18or20		1	1
19~22	1		1
20~22		2	2

表 6-4 年代別適正人数回答

回答	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	総計
0					2	1				3
1						1				1
2								1		1
3							1			1
4				1	1	1	3	1	1	8
5						1				1
6			1	1		1	1			4
8							1			1
9			1							1
10		1	1	7	6	3				18
11						2				2
12		2	4	6	5	6	2			25
13		2				1				3
14		22	9	5	5	5				46
15	2	11	20	10	7	9	4	2		65
16	2	21	49	36	10	8	6			132
17			1	7	4	1	2			15
18	4	17	59	58	33	35	16	1		223
19		1			1	3		2		7
20		3	8	23	24	44	36	15	2	155
21						2	1			3
22		1	1	3	3	2	13	2		25
23					1		1			2
24			1	3	5	11	13	6	3	42
25						1		1		2
26				1			1			2
28							1			1
30								1		1
32							1			1
わからない		5	3	5	7	16	15	6		57
無回答		1	1			3	1	2		8
総計	8	87	159	168	115	155	120	38	6	856

- 各年代で一番多い適正人数は、10 歳代では「18 人」、20 歳代では「14 人」、30 歳代では「18 人」、40 歳代では「18 人」、50 歳代では「18 人」、60 歳代では「20 人」、70 歳代では「20 人」、80 歳代では「20 人」、90 歳代では「24 人」でした。
- 40 歳代以下では「18 人」より少ない回答が多く、50 歳代以上では「18 人」より多い回答が多く見られました。

表 6-5 居住地別適正人数回答

回答	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	無回答	総計
0	3						3
1	1						1
2	1						1
3	1						1
4	7		1				8
5	1						1
6	4						4
8				1			1
9	1						1
10	15	3					18
11	2						2
12	22	1			2		25
13	2	1					3
14	37	2	2		5		46
15	48	7	2		8		65
16	78	16	8	3	27		132
17	8	2	1	1	3		15
18	149	29	12	6	26	1	223
19	5	1	1				7
20	129	9	6	1	7	3	155
21	2		1				3
22	20	2			2	1	25
23	2						2
24	15	4	6	4	13		42
25	1	1					2
26	1		1				2
28					1		1
30			1				1
32		1					1
わからない	33	9	4	3	8		57
無回答	4	2		1	1		8
総計	592	90	46	20	103	5	856

- 浜田、金城、旭、弥栄自治区での最多の適正人数は「18人」でしたが、三隅自治区では「16人」が最多でした。
- 浜田自治区では「20人」の回答も多くありました。

(クロス集計) 声の届く議員が 0 人に回答とした回答者が選んだ適正人数

表 6-5 男女別適正人数回答

適正人数	男性	女性	総計
0	2	1	3
3	1		1
4	5		5
6	1	1	2
9		1	1
10	9	2	11
12	18		18
13	2	1	3
14	20	16	36
15	22	18	40
16	25	30	55
17	6		6
18	33	33	66
19	2	1	3
20	35	20	55
21	1	1	2
22	5	2	7
23	2		2
24	1	1	2
25		1	1
26	1		1
30	1		1
わからない	13	12	25
無回答	1	4	5

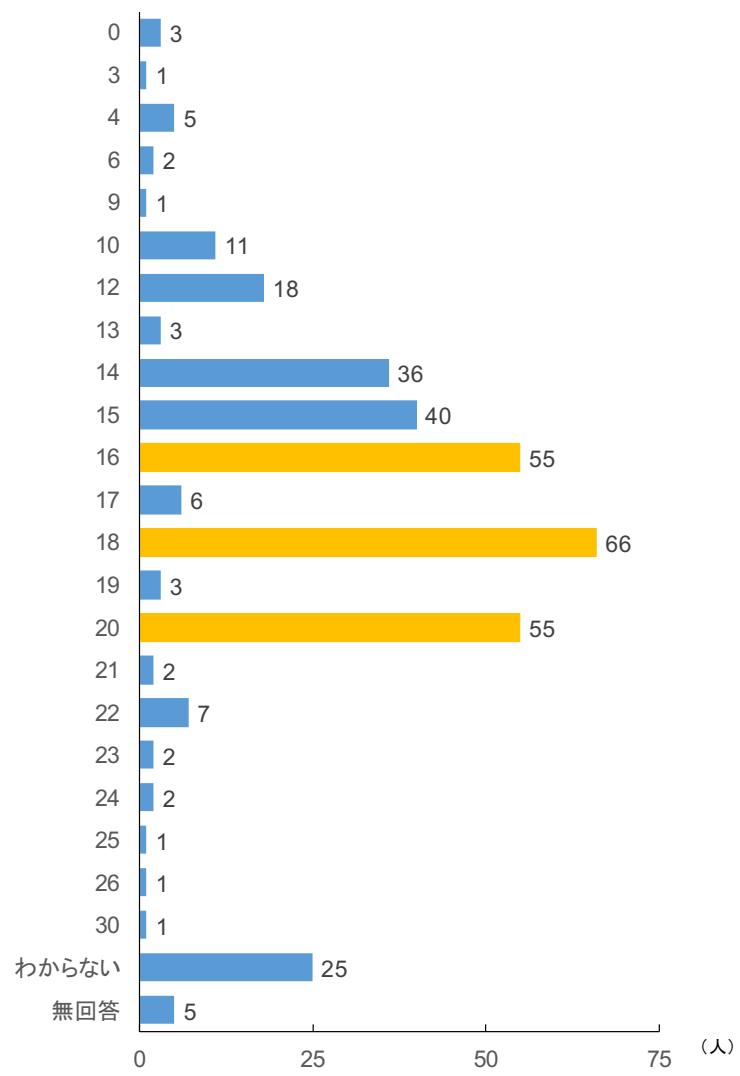


図 6-5 「0 人」回答者の適正人数回答

➤ 最も多い回答は「18 人」、次いで「16 人」と「20 人」が同数でした。

(クロス集計) 声の届く議員が 1 人以上を回答した回答者が選んだ適正人数

表 6-7 男女別適正人数

	男性	女性	総計
1	1	0	1
2	1	0	1
4	2	0	2
5	1	0	1
6	2	0	2
8	1	0	1
10	4	3	7
11	2	0	2
12	6	1	7
14	9	1	10
15	14	11	25
16	56	20	76
17	6	3	9
18	98	58	156
19	4	0	4
20	65	33	98
21	1	0	1
22	15	3	18
24	27	9	36
25	1	0	1
26	1	0	1
28	0	1	1
32	1	0	1
わからない	17	13	30
無回答	1	0	1

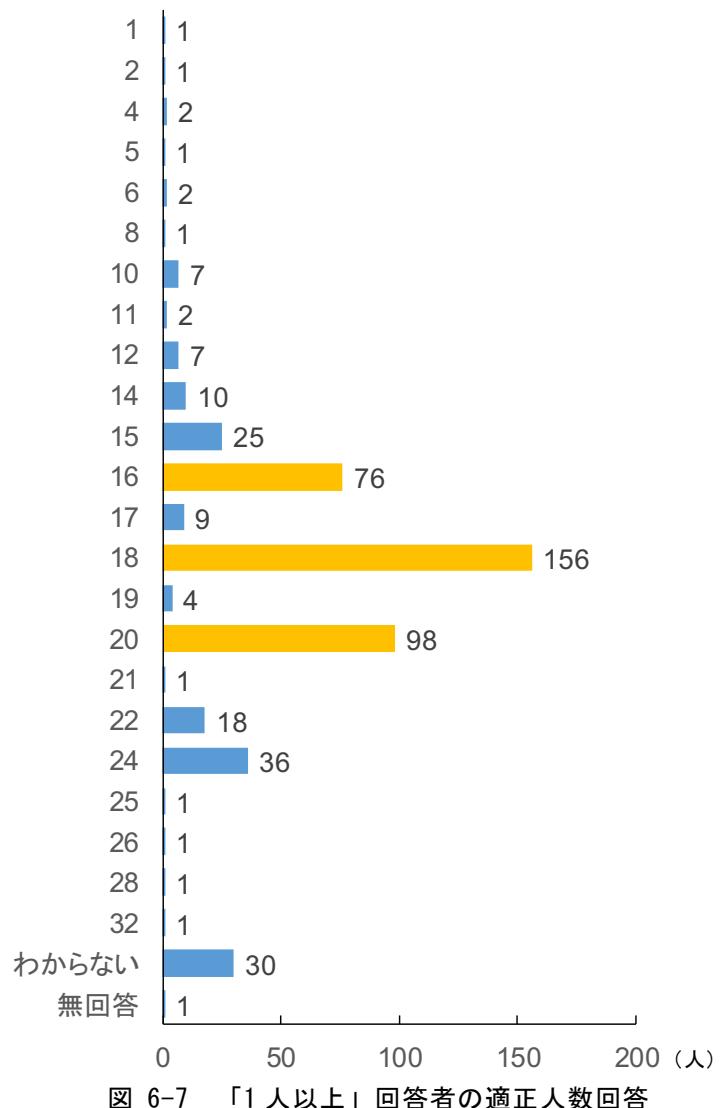


図 6-7 「1 人以上」回答者の適正人数回答

➤ 最も多い回答は「18 人」、次いで「20 人」、「16 人」でした。

## 質問 7 質問 6 の理由についてお聞かせください。

### (1) 「●人に減らすのが適当だと思う」を選択した回答者の意見

1	Cの理由についての回答に反するコメントで申し訳ありません。議員の皆様の中で果して何人の議員さんが本気で浜田を愛していらっしゃるのか疑問で不安でなりません。箱物の空いている所色々あるじゃないですか。この上まだ新しく資料館が必要でしょうか。浜田城資料館も何人の来館者がありましたか。今、日本中が…浜田が、コロナで不安で一杯の時、浜田の商売人も眠れない位の毎日の中、先日は紺屋町にて記念碑の除幕式をされていましたが浜田市長の思いが分かりません。行動される数々が有り得ません。その行為が考えられないです。議員の皆様も御自分に投票してくれた人の思いを聞いて歩いて下されば質問8～のアンケートの答えになると思います。この度65才以上の人にマスクを頂きに行ったら7～8人の職員がおられましたがせめて町内会長の元へ届けるくらいされたらと思いました。その後、まだ取りに来てない方へと各家庭に書物が来ましたが 無駄な経費ではありませんか 税金の無駄使いはしないで大勢の職員もしっかり動いて下さい。
2	〈参考〉浜田市の類似団体及び隣接市の状況について浜田市の類似団体の議員数と比較すると類似団体の抽出（抜粋）が意図的（浜田市より議員数が少ない自治体の掲載が少ない。極端に少ない自治体を非掲載など）であり、印象操作を行っている。アンケートをミスリードするための姑息な手段を活用しているとしか思えない。
3	「はまだ議会だより」P15の<参考>①に照らし合わせ、浜田市の定数は多いと思われる。少数精銳主義で取組んでもらいたい。
4	「はまだ議会だより」P15の類似団体資料を参考にして。浜田市の財政難の状況を考慮して。
5	議員が多く、活動が見えない。
6	厳しい時期なので経費削減の為
7	議員が多くても意味がない
8	やはり地元のことを本気で考えててくれる人がいい。
9	議会中に居眠りをしている議員がおる
10	議会だより見ても変わりない。
11	今は車で旭町、三隅町など30分程度です。各議員の方が見て回れば各地方の方から相談もあり、議会だより本気で見ますヨ。
12	議会活動一何人か重複してやっている
13	他県の人口に対して多いと思います
14	議員活動が見えにくい
15	現在の自治区長制度が継続の場合 19人に減
16	自治区長制度が無くなつた場合 22人に減
17	弥栄地区の有権者が少ないと同じ浜田市であり弥栄地区を思いやる議員を選出して行ける方法はないかと思う
18	今現在も自治区の件解決できていません。色々問題がありましょうが早急にお願いします
19	浜田市の財政が大変なのに一人でも二人でも減らして下さい。
20	執行部の案が全部とは言えないがほとんど通っている
21	議員定数は少なくていいのでは？
22	将来を考えるともっと所要経費を削減すべき。
23	他市との比較から。
24	少数でも行動力の有る人を。
25	活動を行わない人に報酬支払が無駄。
26	議会質問で同一趣旨が多い。統一出来ないか、効率的議会の運営
27	人口、予算に対して単純に定数が多い。

28	議会で同じような質問が多かったり、議員の理解が足りていないと思うことがあるため。
29	人口が少ないため
30	活気のある浜田を少数の方で
31	人口減により議員数が多すぎる（税金のむだ）
32	もう少し学識のある議員が必要
33	若い議員もふえてほしい
34	少人数で給料を上げて良識のある政治をしてほしい
35	人口減のため。
36	各委員会数によるため。
37	人口減少に伴い、段階的に減らしていくかなければならないのではないか。面積が広いので地域の声をいかに汲み上げていくかが課題だと思うが、知恵を絞ってほしい。
38	積極的な活動を行っている様子が見聞できない。
39	議員の方から困っている市民を応援する姿勢が見られない。
40	市民を見下ろしている感がある。判断は同じ規準で公平に……。
41	他の類似団体に比較して浜田市は人員が多いこと。
42	浜田市の人口は減少し続けている、これからも減少すると予想される。
43	今後の浜田市の財政運営は逼迫が見込まれる、議員定数を減ずることで少しでも助かる。
44	多数決の原理から考えて奇数であるべき。
45	浜田市の人囗からすると24人は多いと思う
46	浜田市の財政の節約にも成る
47	浜田市の人団が減っている
48	浜田市の財政に無理がある
49	ケーブルテレビで一般質疑（個人一般質問）を見たら減らしてもいいと思った
50	報酬に見合う活動していない議員が多い。
51	経費削減の為
52	①24人は多過ぎ 16が適当。②下った予算を、政務調査費に廻す（本当の議員活動が出来るよう。市の職員頼みの資料作りはナンセンスである）③毎回選挙になるように。
53	①市議会議員さんの多くお給料が発生してしまうため。②市議会議員さんが多すぎても、意見がまとまらず課題に取り組む時間が遅くなると思うため。
54	①他市に比べて多いと思う。②4人減にしてこの減った給与を20人に増額すべきだと思う
55	18人が適当と思うが、市域が広いため+αとして、20人と考える
56	①少数精鋭で行うべきである。②給料等の税金がいらなくなる。
57	①人口規模。②財政運営上。
58	①忖度風見鶩で物事がなかなか決まらない市議会はダメ。少数精鋭で今一度出直しが必要。②議員数削減分は、議員報酬のアップ分に加算する。③結論的には人口5万人都市平均並みの議員定数18名とする。
59	20人でも十分機能を果たせると思うから
60	24人もいる必要性が感じられない。
61	4人減ると、各議員の仕事が増えるかもしれない。選挙の競争率も上がるかもしれない。でもその方が、もっと浜田を良くしようと思うかもしれない。●●、●●、両議員は確実に辞めてほしい。
62	50,000/2,500=20 もう自治区単位の考えは、やめるべき
63	SSの件を見る限り、地域の声を通す姿勢は見えない。そんな議会は縮小すべき。

64	あくまでも市全域から選出することが前提だが、自治区制度がある際の算出根拠として浜田6、金城・旭・弥栄・三隅は各3の18人程度が適當。市域が広く議員の活動が広範囲になるのは、増や現状のままとする理由にならない。今後は工夫して活動する必要がある。
65	あまり手を広げず、必要なことを集中してやればよい。
66	アンケート(参考)を勘案すれば浜田市は人口割合からすれば人件費の流出が多い。(人員が濃密であっても(少なくとも)運営は図れる)
67	いつも、立候補者の少ない選挙になっており、定数が多いのではないかと感じております。
68	いまだに合併前はどうのこうのという議員がいる。未来志向で行くには、人数を絞って大所高所の議論をすべき。
69	いろいろな委員会を設けているが、そもそも必要なのか。全員で協議すれば済むはず。いろいろ取り組もうという気持ちは十分理解できるが、空回りのような気がする。やれることやれないことを整理し、効果があることをやればよい
70	がんばっている前向きな若い議員はよいが、利権にとらわれた、たいした活動をしていない議員は不要。
71	ケーブルテレビで議員と行政とのやり取りを見ていますが、率直に議員は誰でもできる仕事じゃないことを実感します。議案を推進する議員には莫大な知識と鮮度ある情報の取得、財政面での数字の根拠、会計にも精通して行政に渡り合える発言力、対応能力が求められます。住民として、行政のチェックはもちろんですが議員の政治政策立案によって浜田市議会が全国の地方自治に影響を与えていけるよう望みます。少数精鋭 浜田市から
72	ケーブルテレビをみていると、態度の悪い議員がいる。情けないと思います。もっと議員は誠実にあるべきで、今は人数が多すぎるのだと思います。
73	このアンケート結果は考慮されるのだろうか。
74	この春、議員の手当が上がったと新聞で読みました。給料を上げるのなら定数は減らすべきです。
75	コロナの対応でも議員は申し入れだけで具体的な行動はしない。有事の際に必要ないし、少なくてよい
76	コロナ禍の状況で、全国(島根県議会)においては、議員報酬をカットしていますが、浜田市はしないのですか。そもそも、月給でなく、会期中の日給でよいのではないか。
77	コロナ禍でも、全く何もやってくれない。定数を削減して、給料を市民生活のために使ったほうが良い
78	サービスステーションや風力発電では、本当に議会は地域の声に真剣に耳を傾けているのか疑問に思いました。建前だけの議会は縮小すべきです。
79	しっかり働いてくれる方が少人数いれば十分成り立つ。人口も減っており、削減は必要だと思います。
80	ぜひ減らしてください
81	それで十分です。年齢制限が必要だと思います。
82	そんなに仕事がたくさんあるとは思えません。なぜなら、本業をもっている人が議員になっているから。
83	たしか、前回アンケートでは、いまの、24人より少ない20人くらいがアンケート多数だったように記憶している。しかし、その多数の意見とおりにはならなかった。そして、その後の選挙も落選者が1~3人くらいの立候補者の少ない低調な選挙が続いている。以上の理由から20人くらいに、絞ったほうがいいと思う。
84	チェック機関として機能するなら3か月に1回の議会の場で役割は果たせるはず。業務を絞って定員も減らすべき。
85	なにをやっているのかわかりません。もっと減らして問題ないと思います
86	ひとりひとりの議員がしっかり働くよう、人数を減らし報酬を上げればいいと考えます。
87	ボーナスは不支給でよいと思います。
88	ほかの市が18人くらいでできて、浜田市でできないことはないと思います。
89	ほかの市と同じくらいがいいと考えます
90	ほかの市と同じくらいでいいと思います。
91	ほかの市と同じくらいの人数がいればいい。
92	ほかの市と同じ程度の人数をお願いします。
93	ほかの市と比べても多すぎます。

94	ほかの市並みでよいと思います。できるなら、もっと踏み込んで減らしてもらうことも望みます。
95	ほかの自治体並みで
96	ほかの同規模市並みでお願いします。
97	ほどほどの人数でお願いします
98	まちづくり委員会や地域協議会があるので、議員経由でなくても地域の声は以前より届いていると思う。
99	みんなが当選するのはおかしいと思います。定数は減らして、市民もしっかり人を見て投票する土壤を作るべきです。
100	ムダが多い
101	もっとスリム化しても支障ないと思います。浮いた財源で、活動費を充実させる手はあると思います。
102	もっと減らして、選挙の洗礼をきちんと受けるべき。
103	もっと人数は絞り込むべき。効果のない改革はやめて仕事をスリム化して少ない人数ができるようによることこそ改革だと思う。
104	もっと人数を絞って、本気で取り組んでもらえる人にやってもらいたい
105	もっと働かなければ、次はない。
106	要するに、働いていない。
107	やくにたたない議員が多すぎる
108	やはり 24 人は多いと思います。人口が減少しているのに今の定数は多い。アンケートして無駄にならないようにして下さい。
109	やらないといけないこと、やったほうがいいことを仕分けして、仕事を整理すれば議員を減らせると思います。
110	やる気、専門性が高く、将来を的確に見通せる議員 4 人で十分です！
111	やる気のない議員が多すぎる。同規模の他市と比較しても多い
112	よそと同じくらいの人数でいい
113	よその市と同じでよいと思います。
114	よそ並みでいい
115	以前もアンケートをとった記憶があります。（間違いだったらすみません。）その時の結果は、きちんと反映されたのでしょうか。
116	以前より市役所の対応もよくなつた。職員も減らしていくらしいので、議員も減らしてよいと思う。
117	以前同じようなアンケートをとられていますが結果何も変わっていない。何も変えないのならアンケートとる意味がない。市民の声をきちんと聞いてほしい。人口に対して議員が多すぎる!!減らすべき!!
118	委員会が 3 つあると聞きました。各 6 名 + $\alpha$ で 20 名くらいが適当だと思います。
119	委員会の審査に一定人数が必要
120	意見を言うだけの議員はいらない。議員の人数が減っても、残った議員が多くの人の意見を集めるように努力したらどうですか。
121	井戸端会議にも出かけたことがあります、参加も少ないしいつも似たような面子で、がっかりしました。色々な取り組みをするのは好感が持てる反面、効果については大いに疑問をもちました。効果的な取り組みに絞り込みをかけば、議員も減らせると考えます。
122	井戸端会議や報告会にも参加したことがあります。人数も少なく、同じような参加者ばかりで、意味があるのかと疑問を持ちました。トライは大切ですが、単なる実績作りにならないようにしてほしい。
123	一、浜田市の財政削減の為。一、活動実績が浜田市にとっての形に現れていない。
124	一生懸命やっておられると思います。一方で、仕事を自分たちで増やしているようにもみえます。やるべきことをしっかりとやってもらえば問題ないと思いますし、人数も減らせると思います。
125	一般質問を見ていても、議会の場で議論すべきことかと思える質問が多い。やはり議員を減らして、ひとりひとりがもっと活動を活発にすべき。そのため、浮いたお金で給料を増やしてあげることを合わせて考えるべき。

126	一般質問を全員 16 人でさせると時間がかかる（経費もかかるので）代表質問に変えたらどうか。他の市はどうなのか知らせてほしい
127	鳥合の衆。頭が悪い
128	何の仕事をしているのかわからず 選挙の時だけお願いされても投票に行く気にもなれず…浜田市の財政も苦しいので給料も高額だと大変だから少なくしてもいいと思う
129	何を質問しているか分からぬ議員、浜田市発展の阻害要因になって議員が多すぎる
130	何故 24 人必要なのが、そもそもわからない。本音は半数でも良いと思う、選挙の時だけ良い顔 愛想笑い、それ以外は別の顔、半数で結果を出すくらいに活動してみなさい。議員の殆どが本業を持っているので、それなりにしておけば良い。と思っているのではないのか？（言い方が悪くてすみません）議員は名誉職と言っている議員も実際に直接聞いたことがある。自家用車の中に議員報酬明細書を開いたまま置いていて金額を見たこともある。こんなで信用出来るわけがない。議員の年齢が高すぎると思う、もっと若い力で頑張ってほしい。浜田市もいろいろ考える時期では？
131	何人についているのはわからないが、実質動いている人がどの程度いるのか見えてこない。なので、24 人もいらないと思う。
132	何年か前にもアンケートされているのに市民の意見を無視された。人口も減っているのに定数を減らすのは当然。アンケートにかかる無駄な税金を使うな（市民の意見を無視するのなら）
133	何年か前にもアンケートをしているが、全く反映されていない。人口が減少しているのにいつまでも今の人數では多いのは市民誰もが思っていること
134	改革というと効率化、スリム化のイメージですが、議会は仕事を増やすことを改革と言うのですか。効果が上がつていればいいのですが、やっていることが逆な気がします。
135	改革の中身が、仕事がたくさんあるという既成事実づくりになってしまっては困ります。最低のコストで最大の効果を目指して取り組んでください。
136	各委員会×6 人と議長副議長
137	各自治区（浜田 2、金城 1、旭 1、三隅 1、弥栄 1）ずつ減らしても市民の声は届くと考えます
138	各自治区 2 名×5=10 名
139	各自治区から一人ずつ。浜田自治区は人口割合から勘案して 2 人。そんなにたくさんの議員がいるのに活動量がイマイチ。少数でもできる活動しかしていない。
140	各地の、市の人口や財政状態にかんがみ、現定数は、過多であると考える
141	確か平成 24 年頃に同じアンケートをされたと思いますが全く反映されてなく定数はそのままですね。浜田市の人口に対して今の人數は他の市と比較しても多すぎると思います。
142	活字の上では立派ですが、自分の公約に対してしっかり仕事しなければ議員としての役に立たないし、また市民の税金を受け取る値打ちもない。落語をして機嫌取りをして廻っているような議員はいらない。
143	活動が見えてこない。もっと減らしてほしい
144	規模に見合った議員定数にすべきで、現状では多い
145	財政からすると 18 人以下にすべきだ
146	議員がいれば地域の声がすぐえるというものではない。いかに熱心に議員として活動をする議員がいるかがポイントであり、その意味で議員数を減らすことはできると思う。
147	議員がなんでもかんでもやろうとするのは無理と思う。議会に出て議案を審査することに全力投球してもらえればよいと思う。そうすれば今より少ない人数でもやっていける。市民の声を市に反映させるかは、議員が考えなくて市役所の職員が考えるべき。
148	議員が何をやっているか正直なところわかりません。ただ、選挙で立候補した人がほとんど当選するという印象があります。こんなことで本当に資質のある人が議員をやっているのか疑問に感じます。そういうことから、定数は減らしていくべきだと思います。
149	議員が活動しているのを見たことない。
150	議員が身をけずり、市の職員をサービス悪くなつてもかまわない。20%くらい減らすこと。市民は絶対文句をいわない。
151	議員が身近にいても、意見が合わないからいなくても一緒。
152	議員が身近にいるからよいと感じたことはない。それより支所の維持が大切と思う。
153	議員が多ければ市民の声がより反映されるかと言うと、そうでもないと思うので、もう少し少なぐとしても問題はないのではないか。
154	議員が多すぎる。必要ない。

155	議員が多過ぎる
156	議員が地域の声をこまめに拾うのは無理があります。地域協議会がその役割を担うべきです。でなければ、サービスステーションでの議会の対応は理解に苦します。
157	議員が地域の声を代弁しているとは思えない。もう少し少ない人数でも支障はないと思います。
158	議員さんの活動が 市民の役に立っていないと思うし、定数を減らすことでお金を市の財政にまわすことができ 浜田市民のためになると思います。議員さん達ももっと地域のためにがんばられるのではないでしようか？
159	議員さんは高給だから（自分達からみると）、もっと議員の仕事をしてほしい。副業を持つ人も多いですが、情報を拡げて気軽に地元の人の声を聞いてほしい。どちらが本業ですか？と聞きたい。
160	議員にもそれぞれ考えがあって活動されるべきとは思うが、質問をみていても、重箱の隅をつくような真似をして情けないと思う。議員は減らして質を上げるべき。
161	議員に期待していない
162	議員に言うより支所に言った方が話は確実に通ると思います。議員は他同様に減らして問題ないと思います。
163	議員に私達の声が届いてないので、どちらにしても届かないなら少なくして、市民のお金を違う所で使ってほしい。
164	議員のできることは限られる。それを前提に仕事を整理すれば減らせる。一方で、地域協議会や支所をしっかりと維持すべき。
165	議員のなかには特定の団体の代弁者のような人がいます。口利きとか便宜が疑われるのは議員としてもマイナスでしょう。幅広い支援がないと議員になれないようになりますれば、特定の団体に偏った言動はできなくなると思います。
166	議員の意見が大ざっぱなので市の回答がいつも具体性がない。検討するとか協議するとかに終わっている。
167	議員の活動がみえない。やる気がある人に高い給料でやってもらうには、もっと人数少なくしてよい。
168	議員の活動が紙面上でしか感じられない現状では 24 人が妥当な数字であるとは判断できない。議員報酬を増やしても良いので、議員数は大幅に削減して、議員活動に専念できる仕組みを考えてほしい。
169	議員の活動の様子が伝わってこない。多いと思う。
170	議員の活動費をあげて、その分人数は減らせばいい
171	議員の人数が多すぎます。将来的には現在の定数 24 人の半分位の 12 名～15 名位がいいと思います。
172	議員の数ばかり多くて、成果も見えにくい。議員報酬に見合った活動ができているのか疑問に思います。
173	議員の数を減らし一人一人がより活発に活動できるよう活動資金を増やす形がよい。県議会議員のほうがよっぽど地域を回っている。
174	議員の必要性は感じない。支所機能を維持してください。
175	議員の役割はなんでしょうか？存在意義はなんでしょうか？市民の声の吸上げだけなら昔と違い収集の仕方がもっと効率的効果的にあるはずです。今一度、議員の役割から、その役割目的を達成させる最適人員を見直すべきです。これは定期的に見直すべきです。一般企業でも常に成果を問われます。存在価値を図られます。意見だけを言うだけが？アイデアだけを伝えるだけが？議員の仕事です？どれだけ改革を中心的に行えたか？議員も最低基準賃金と成果報酬にするくらいの成果を問うべきだと思います。
176	議員は、所属する会社や団体の利益ばかり追求しているようにしか見えない。そんな人は減らすべき。
177	議員は遠い存在。減らしても問題ない。
178	議員は何の為にあるのですか？市民に向いていない。市長や市（執行部）との対決姿勢にとても不安を感じる。パフォーマンスだけの人が多い！議員は議会の議決の審議をしっかりともらえばよい。地域の声は地域協議会から市役所に届けばよい。旧浜田市内は地域協議会にまちづくり委員会の代表が複数入ることで、地域の声があがりやすくなると思う。
179	議員は兼業の方が多くいます。その程度でできる仕事であるなら、人数は減らすべきと思います。
180	議員は減らして、給料をあげて活動しやすくしてあげてほしい
181	議員は減らして支所の人員を減らさないでほしい

182	議員は仕事を整理して、数を減らしてほしい。
183	議員は仕事を整理すれば人数も減らせます
184	議員を身近に感じたことはない。大所高所の議論は多くいても意味はない。中身を充実させるのであれば必要最低限の人員でよいと思う。
185	議員活動により市民生活が良くなつた実績がみられないでの、議員報酬と実績を比較した際の費用対効果が著しく低い。定数を削減し少数精銳の優秀議員を集め、一人当たりの議員報酬を高くする。ただし、報酬を高くする代わりに評価制度を導入して、実績のない議員に対して報酬は削減する。当選したら議員報酬は副収入としか考えていないので、やる気がみえない。
186	議員活動を精力的にされる方が集まれば、15人で十分だと思います。面積が広くとも、人口は少ない市です。地元議員の選出という思いがある地区もあるかと思いますが、浜田という町全体を地元と思って活動できない議員さんは不要です。
187	議員数は抑えて給与を増やして、熱心に活動してくれる議員だけが働いてくれればよい。
188	議員数をへらして議員給与を少しでも上げたらいいと思う。
189	議員数を減らす事で財政面が違つてくる。議員定年70才までにする。議員の人達は活動していないように思う。アンケート用紙の「回答方法」の④を書く必要はない。書く事自体がおかしいとなぜ思わないのかが不思議
190	議員多すぎる。前回の時も減らしてほしいとの意見が多かったのに減らさなかつたと聞いた。アンケートする意味は何?きちんとした議員がいない。
191	議員定数の適正規模は判断が難しく、単純に全国で同じ程度の人口規模や面積、財政規模など見た場合、「4人の定数減が望ましい」と思います。財政難なら益田市の22人と横並びではなく、議会も痛みを分かち合い20人が良いと思います。資料に報酬もあると更に比較できて良かった。
192	議員定数を減らしてその分少しだけ議員の報酬をあげる。人口に見合つた定数にすること。
193	議員報酬のムダ
194	議員立法の件数といった指標を基に議員活動評価制度を導入し、結果の公開を行うことにより、情報公開を図り、資質のない議員を失職とする。
195	議会が色々と活発に取り組んでもらっているが、どんな成果があがっているのかはつきりしません。まちづくり委員会も頑張っているし、支所もしっかり声を聴いてくれていると思います。
196	議会だよりに載つてゐる類似団体と比較して、過多であると感じたため。また、人口や職員数が減少しているなか、議員定数も減少しなければおかしいと考える。優秀な議員さんが多く、活発すぎるほどの議論が行われてゐるので、議員定数を削減し、そのことによつて生まれる財源を有効活用する議論ができればいいのではないか。
197	議会だよりを見ていても全員が濃い活動をしてゐるように感じないため。
198	議会による市政へのチェック機能が働いていない。以前は市長のイエスマンばかり、現在は不毛な揚げ足取りで市政に混乱が生じてゐる。議員個人の資質にも問題があり、政策に対する理解と精査能力に欠けてゐる。議会だよりを見ても、質問が表面的で反映される結果となつてゐない。もっと勉強をすべきである。その一環として、視察と称して各地に出掛けているが、実態は慰安旅行と化してゐる。予算消化の視察であり市政になんら役立つてゐない。この様な議会の実態で24名は多すぎ、半分の12名で質の向上を計る必要がある。
199	議会の活動は理解できるが、今的人数で仕事をする発想ではなく、これだけは必要な仕事、だからこれだけの人数がいるという発想で検討していってもらいたい。
200	議会の時だけ仕事をするのに多くの人数は必要ない
201	議会の質問などをケーブルテレビで見ていると、浜田市役所職員の方に一方的な持論を展開するだけで、代替案を出さない議員が多いし、代替案を出す議員がいても、思いつきのように聞こえて、役に立つてゐるとは思えない人が多い気がします。議員さんは色々な活動をPRするために、議会事務局の議会を担当する職員の方の負担を増やしてゐると思います。議会だよりやユーチューブは、残念ながら税金を使って、市役所の職員さんが作つてゐると思いますが、ほとんどの人が見ていないと思います。議員の数を急に減らすのは、様々な影響が考えられますが、前回の選挙の得票数から見ても、6人程度は減らし、物事を進めるにはスムーズに、市の税金投入などは減らしてスリムな議会にするべきだと考えました。
202	議会の質問をみていると、中には、自分が所属する団体や会社の利益だけを守るがごとく活動している人がいる。そうした思いを抱く市民は多いはずです。多くの方から得票を得ないと当選できないシステムを構築し、特定のどこかにだけ肩入れしているわけにいかない環境を作ればいいと考えます。
203	議会はいろいろやろうと空回りしているのではないか。腰を落ち着けて、やるべきことだけをしつかりやってもらえばいい。

204	議会を自ら減らして行政改革をする必要があると思う。費用を減らす必要があるからです。また、他市と比べても議員が多すぎる。
205	議員の資質も問題があると思う。もっと勉強していただきたい。
206	議会運営経費の削減
207	議会改革でいろいろやっておられますか、具体的な成果が見えません。効果がある仕事に特化すべきです。
208	議会改革に書いてあることが、どう市民生活の向上につながったか見えない
209	議会改革も市民生活にどう影響があるかみてこない。何かやっているよというパフォーマンスならやらなくてもよいと思うし、そうした仕事をリセットすれば議員削減は可能だと思います。
210	議会質問においてポリシーがないのか、最近のニュースに感化された質問しかしない
211	議会質問を読んでも抽象的が多い。
212	議会中に居眠り、無駄話するような議員は必要ない。とりあえず何か質問しとけば良いと言った風潮がある。市役所関連の職場で女性職員にセクハラをする議員がいると聞く。調査して処分が必要では。少数精鋭で良い。
213	議席はしっかり絞り込んで、仕事も精査すべきです。
214	議長入れて19名。浜田市で人口が減ってる上に財政が困難な状態。議員活動していない方も多く24名は多い。
215	給与が安いと言っている議員がいる。定数を減らして給与アップすればよい。
216	給与分の仕事をしておられるのか？2期8年で全員勇退されるのはいかがでしょうか？新しい風、若者が議員になり、浜田市を変えていけるようにしたら良いと思う。
217	給料に見合った仕事をしていない。税収入が無駄に使われている。ひとりひとりがたくさんの業務をこなしてこそ、議員としての力量ではないだろうか。ばやつとすごして会議のみ言いたいことをいうだけの先生はいらない。
218	給料のみ払っても何もこれといった変化ない。自覚をして仕事をして欲しい。こちらから自分の意見を言っても頭ごなしで駄目。浜田市すべてを見ていると活気が全くない。なきゃない。どんどん働いて欲しい。以前は島根では浜田は松江について2位だったのに今はなんだろう。本当になきゃない有様。元気を出して欲しいと思います。
219	旧浜田を8人に減らすのが適当だと思う。現在、旧浜田地区が16人、金城が3人、旭が1人、弥栄が1人、三隅が3人ですが、旧浜田の16人は多いと思います。弥栄、旭、三隅を増し、中山間地の声をもっと聞く必要があると思います（市全体選挙となったことの問題点）
220	近年の議員は質の低下が見られ、品性なき質問、発言が目につく。少数精鋭で。
221	近隣の市町村に比べ議員数が少ないとは思えないし、報酬は高いほうだと思います。もし議員数が増えた場合でも報酬の予算枠は変えないでもらいたい。
222	金城支所は支所長も本庁から来られたと聞きました。だんだん合併前がどうだこうだということも薄らいで住みやすくなると思います。なかには地元に議員がいないといけないという人もいますが、議員は本来大所高所にたって浜田市をよい方向にもっていくのが仕事で、地域の御用聞きではないと思います。そういうことから議員の仕事を整理できると思いますし、減らせると思います。
223	経費の節減。
224	経費削減。
225	経費削減のため
226	兼業でやっている人がいるくらいだから、そもそも議員の仕事はそんなに多くないはず。給料を下げるか、人数を減らすかどちらかした方がいい。
227	憲法、地方自治法といった地方自治を語る上で、基礎基本となる法律について定期的に試験を行い、一定の水準にない議員は失職とすればよい。
228	減らして一人一人の責任を重くして、自覚をもって議員活動してもらいたい。
229	減らして志の高い議員の給料を上げてあげればよいと思います
230	減らして問題ない。
231	減らすことで支障があるならそれを示せばよい。そうでないなら支障が出ない範囲で減らすべき。
232	減ることで支障ができるとは思えません。それより、市役所全体を含めスリム化していくことを望みます。
233	現在の24人は多いと思う。平均の18人が適当。

234	現在の 24 名の議員の方がどのくらい市民に寄り添った政策を提案実行しているかわからぬから。政治家は結果主義です。もしも全員が市民の声を聞き、市政に反映させようとしているのなら定数は妥当です。減らす必要はありません。ですが私利私欲は厳禁だと思います。
235	現在の議員がどんな活動しておられるか、よく分かりません。浜田市が良くなつたとは思えません。教育も、小中学生の学力の全国レベルの中での低さ、改善策が見えません。高齢者に対する支援も、よく分かりません
236	現在の議員の仕事量や質から考えて、半数程度にしても問題はないように思われるからです。逆に今的人数が必要という理由を聞きたいです。
237	現在の議員は、議会以外の地域への働きかけはないと思う。そこで、まず半分の 12 人で行い、活動の何に支障が出るのかを検討し、必要な理由（実績）により増員を行う。1 人で 2 人分の仕事は出来る。
238	現在の議員数は多すぎる。自治区からの流れもあるとは思うが、20 くらいが適当ではないか
239	現在の議会は、議員に報酬を払う為に存在しているように思う。本来の議会は、より建設的かつ現実的に市政を論じ、行政を指導監督するべきものだと考えるが、全く機能を果たしていない。よって議会を解散し、審議する事項は、例えば裁判員制度のようなものを導入して、それに委ねるのが良いと思う。
240	現在の定数は多いと思います。他の類似団体と比較しても多い
241	現時点に於いて定数が多い為、無能と思える人まで当選している
242	現状では浜田市民の生活は何一つ向上していないように感じる（大多数の声）ので。議員、議会の進行の仕方。市役所職員、市長、全てに問題あり。24 人より数人議員を減らした所で、困る市民はいないし変わらない。思い切って議員を 10 人減らした分の議員報酬等を市民に還元した方が、市民は喜びます。議員定数数人のみ減らす、現状維持、もしくは増やすのであれば、2 年以内に浜田市（市民）が確実に向上するスピード感のある議員人選、しがらみ等ない議員、もしくは県外からの人選等。今の浜田市議会が言われて耳が痛い事を、発言、実行、出来る議員を求めます。別件ですが、浜田市のホームページは他の市や県に比べて見にくい。現在ではコロナに対しての状況等が 1 番に見やすいようになっている。
243	個々の議員は頑張っていると思いますが、人数を減らすことはできると思います。選挙で戦うことで議員が本気で活動する土壌につながると思います。
244	後援会のこととはよく聞くけど、後援会に入っていない人の意見は聞いてもらえない。それなら、後援会の支援だけでは当選しないレベルの得票でないと議員になれない人数まで減らすべきと思う。
245	後援者の声しか取り合わない議員に存在意義はないと思う
246	公共施設も職員も減る。議員も同様。
247	広報広聴機能の充実を図る為に公民館等における議員の活動説明はより必要と思う。しかし 3 ヶ月で 1400 人以上の人口減少ではしかたなし。
248	行財政改革の見地から議員の減を考える。少数精銳で対応すること（20 人以下であればもっと良い）
249	行政連絡員と同じ仕事をしている議員がいる。減らした分の報酬でがんばっている議員の報酬をアップしてもらいたい。
250	合併して 15 年も経過するのに、旧那賀郡だとかいう議論をしていることがナンセンス。何かあれば、周辺部が寂れると言っているが、財源が乏しいのなら中心部に資本投下したほうが良い。どぶ板議員なら必要がない
251	合併しているのに、旧町村を持ち出すことしか知らない。市全体のことを考えてほしい。地域協議会の意見で市民の声は吸い上げられるので、議員は不要。
252	合併して面積が広がったので、地域の声を議員が拾うのはそもそも無理がある。そこまで議員に求めるべきでないし、仕事をスリム化してあげるべき。支所や地域協議会がしっかり機能すれば問題ない。
253	合併後何年もたっているのに、市職員だけ減で議員定数についてはやっと考え始めている。もっと早くから検討すべきだった。
254	今の議員は多すぎる。減らすべき。
255	今の議員数は多すぎると感じるから。なにをやっているのか分からない議員が、たくさんいるから。
256	今の議会は多くいすぎて、みんなばらばらの方向をみていくみたいに思う。
257	今的人数は、県内の他の地域と比較しても多いと感じます。松江だと、単純計算で 5,800 人に一人となります。浜田だと、2,200 人に一人？ゆくゆくは、自治区の考え方も変わるのでいますが、経過的に自治区単位で、人口 3,500 人あたりに一人で計算したもののが積み上げです。

258	今の人数は多いと思います 市議会だより見させてもらいましたが 他の市町に比べて浜田市はかなり多いと思いました。
259	今の定数では、地縁、血縁で当選が決まってしまう。もっと、議員の質を高めるには、自分の主張をしっかりと持ち、浜田市をどうしたいか政策で当選が決まるようにすべき。そのためには、当選ラインを引き上げるべきで、定数を削減すべき。
260	今の浜田市の人口から考えれば議員が多すぎます。また、ケーブルテレビで議会が放映されていますが同じ課題を質問している議員がおり議会運営の無駄が目につきます。浜田市を何処へ導こうとしているか年配の議員しかり若い議員も何を考えているのか分からぬ。夢を見る事もある意味大切ですが現実を見て少しずつでも浜田市的人口増、一推し産業の確立など市民が何を求めているのかもっと足元を見て議員活動をして欲しいと思います。
261	今は人数が多すぎて、本当にこの人が議員でいいのかと思うような人まで議員になっている。
262	今は他と比べて多い。他並みで十分です。
263	今は多い。減らすべき。
264	今は多いです。減らすべきです。
265	今は多いと思います。
266	今は多いと思います。減らしてください。
267	今回の削減数が議会の意気込み
268	今回国の大統領選の件で国会の受け答えを聞いて勉強になりました浜田市も向上してほしいです
269	今後、予算も減り、サービスも減る。当然、職員や議員も時代に合わせて減らすべき。
270	最近の議会は市役所の職員の足を引っ張ることを是とする風潮があるような気がする。少しほとんど向うな議論の場にしてほしい。これが議員の質に問題があるとするなら、やはり定数は下げるべきと思う。
271	最低限、大卒を求む
272	財政計画では予算も削減されるとなっています。当然議員のコストも削減に含まれていると考えています。
273	参考として類似団体が掲載されていましたが、その中でもベスト3に入るほど定数が多いことが分かった。単純に定数を減とする理由にはならないが、どう考へても多い。それに単純に考えてみても議員報酬が多くなるのは必然である。また、類似団体で議員定数だけでなく、議員報酬も比較するために掲載するべきで、なぜしなかったか疑問に思ふ。私たち、市民にアンケートをする前に、現在の議員の方の意見を掲載し、会派を関係なしに個人の意見を掲載してほしい。議員定数はなぜか、議員さんたちが決定するのだから、議員さんの意見も分からぬのでは結局、市民アンケートをされても、議員さんの意見（会派の人数）で決定しまう。その他にも、議員さんの質問内容を聞いていても、内容が重複していることが少なくない。同様の質問はどうか間引いていほしいと思います。議会が通年開催となつたからといって、いつでも議会が開催される状態のため、日当報酬で支払えないようにする口実にしか思ひないです。基本的には浜田市のために議員さんに立候補し、議員になられたんだから、議員本人が意識を変えないと今の浜田市（久保田市政）の現状は何も変わらないと思います。あわせて、数人の議員さんは自分の既得権益のための質問内容が多いのも市民全体のためでないと思い、とても気になります。
274	参考資料と比べてみても、浜田市は、多いと思う。立候補者が減少傾向にあって、議員として、ふさわしくない様な人が議員になっている。もう少し、ハードルを上げた方が良いと思う。
275	参考資料を拝見して、浜田市と同程度の人口数の町は20人以下の定数もかなりあります。浜田市は面積は広いが定数は面積で決めるべきではないと思う。
276	仕事していると思われる人がいない。半分になっても浜田は困らん。
277	仕事の内容を整理して、議員は減らしてください
278	仕事をされる議員とされない議員の落差が激しいと思います。される議員にはそれなりの対価が必要と考えますが、同じお金を使うなら、人数を減らし、やる気のある議員の給料を上げればいいと思います。
279	仕事を本気でされる方が少ないのではないか?
280	弥栄で他地区の議員さんを見た事は選挙の時以外ほとんどありません。
281	使いにならない議員が多すぎる。私利私欲に走る者がいる。市民のために働く議員のみで良い。学級委員的感覚で選挙が行われている。
282	市が良くなつたという実感がない

283	市の行政が動いていない。町が死んで行く。もう少し市民の為に手を耳を目をかしてほしい。
284	市の財政が厳しいとい良く聞きます。本当に市民のために働く議員が何人居るのか分からないので、多いと思います。議員に支払うお金を少しでも市民のために使ってほしい。
285	市の財政が大変な中、少しでも減らしていく必要があり、その分しっかりと訪問して意見を聞けるのではないかと思います。真剣に仕事に打ち込まれるのではないかと思います。
286	市の施策について、尋ねてみても答えてもらったことがないです。議会で審議された事項についても意味不明な回答しかないです。市の施策、県の施策、国の施策を勉強して、論を転じてほしいと思います。落選者が1人のような選挙で当選しても、市民の負託を受けていると堂々と言えるところが厚顔無恥であると思います。市民の負託を受けているとすれば、得票数の多い方の質問時間は多く確保し、得票数の少ない方の質問時間は短くするなどしたほうが良いと思います。
287	市の施策に対して、重箱の隅をつつくような些末な指摘をするのみで、具体的な代替え案を提示するようなこともなく、政策論争をしているところを見たことがないし、聞いたこともない。議会のレベルは、井戸端会議と同様である。人件費の無駄遣いである。
288	市の人口、職員数も減っているので議員の数も減って当然だと思います。
289	市の人口規模、予算規模及び人口規模の類似した他の市の議員数等を勘案すると、現在の24名は多過ぎる様に思う。他方市の広さ(面積)も考慮して、広く市民の意見を届けるには、ある程度の議員数は必要であろう。以上の両面から考慮して20名程度が適切だと考える。
290	市の人口規模から考えると、20人くらいが適当ではないか。
291	市の人口減による財政への負担が大きいと聞いている。いずれもっと定数は減るだろうが、量より質でお願いしたい。
292	市の面積から類似団体と比べ22人が適切と考える
293	市への意見があれば市に直接言うほうが早いし、確実に伝わる。議員に言っても必ず取り合ってもらえる保証はない。議員は減らしてもらってよいと思います。
294	市議会議員としての活動をしてない人が多い。活動の範囲がせまい。勉強していないと感じる。
295	市議の給与が安すぎて、有能な若い人材が、やりたいと思いにくいから。数を減らし、一人あたりの給与をあげる。
296	市議員のレベルが低すぎる。ほとんどが無能で無知で経費のムダ。少数精銳で、市政を実行出来る人材に特化させるべき。
297	市議会だよりの最後に他の市との比較がありましたが、それを見ると浜田市の定数は多すぎるのではないか？
298	市議会議員さんの議員減は当然と思う。市民の人口減も含め市にとり現状24人は市民の声を代弁するのに多い、何を仕事をしているのか理解出来ない。議員さんが多ければ仕事が出来るのではなく、市民の代表として20人が当り前、必要数。そう思わないといけない議員が多い。
299	市議会議員は浜田市全体について考え方行動してほしい。現在は、出身自治区や町内の事を考えすぎていると思う。各地区の「まちづくり委員会」が活動しているので、そちらに任せて議員は全体の事をして下さい。各自治区を人口割に定数を決めた方が良いと思います。広い視野で働ける人を選びたい。
300	市職員数が減っており、財政規模、業務量が縮小するので、それに比例して減らしてもいいのではないか？
301	市政を考える時に、それぞれの分野である程度専門的な知識、見識のある方に議員になっていただきたい。加えて市外のとりくみをしっかりと情報収集し、年々低下していると感じています。行政シンクタンク機能を補完しつつ、市政の向上を適切な予算運用をお支えいただきたい。①行政改革、②防災（感染症含む）、③地域づくり定住交流人0、④医療、⑤福祉、⑥子育て支援、⑦環境ゴミ、⑧産業、農林水産、⑨文化教育（国際交流）。およそ10分野ぐらいとすれば各分野2人として20名はどうでしょうか。
302	市長がきらわれ者。市長の無策に議員は反対する知識と責任ない議員。自ら考えてほしい。二元自治、市長と議会。
303	市長に対するイエスマンが多過ぎ。はっきりと自分自身の気持ちで市政に参加して欲しい。市長は無駄な事が多過ぎ！少しも浜田市の為に成っていない。
304	市民からの意見は、市役所が直接集めればいいので、議員はたくさんいらない。
305	市民に議会を見てほしいなら、会議のなかで上から目線は止めてほしい。見ていて不愉快である。人としてどうかと思う。
306	市民への密着度が薄い。日々活動している実態が見えない。
307	市民数に対する議員数が多すぎる。同規模の他市と比較して欲しい。昨年、地域の排水路の改修をお願いしたが、現場を見にきた市議会議員は地元外議員1人であった。地元議員は、排水路の100メートル以内に居住しているが無関心であった。病院や飲食店等50軒以上の汚水が流れ込む排水路が決壊し、汚水が我が家の土地に入り込み、大変不潔で迷惑している。一昨年以来、

	何回も相談したが、自分の家の排水も流れているのにもかかわらず現場を見ようとしない市議会議員には幻滅した。市民生活の現状や問題点を理解しようとしない議員は不要であり、議員報酬に充てる税金をもっと有効に使って頂きたい。
308	市民生活にどう役立っているのかわからないから
309	市役所は行財政改革で、職員も減らすので施設管理を地元でということになったりしています。地域のために住民も負担を負っているのだから、議会も協力すべきです。
310	支所がしっかりしていれば問題はない。議員が地域の声をしっかりと聞くことはそもそも難しい。
311	支所と地域協議会で地域の声を拾えば、議員の仕事は減るのではないか。
312	私の地区の議員はなんでもかんでも反対しているみたいに感じます。少し残念な気がします。
313	私は県立大学生ですが、浜田市の議員数は私の出身地とも比較して多いと感じます。
314	私は大学生ですが、私の実家のある町と比較しても議員が多いという印象です。
315	資質のない人が当選することは反対。ふさわしい人だけが議員になる定員とすべき。
316	似たような質問が重ならないようにすることと、少なくとも市民の 2000 人以上の票がないと議員になってはいけないと思います。
317	自治区×3 人または 4 人
318	自治区がなくなる現在の若い議員動き自治区にまかせない 又市民の人口も少なくなる一方老人ばかりだ町並を見ても空き家ばかり
319	自治区制度が残っているので自治区を優先して考えている。例として、学校給食の統合をせず地産地消といって自治区で学校給食を作っている。そのため給食費が割高になっている。また、自治区が寂れるとの考えがまだ残っているが、そうした考えを持った議員を多数必要とする住民は少ない。
320	自分のお金になる所にしか顔を出さない。0 でも良い。仕事をしている所なんて見た事ない！議会だけが仕事と思ってないか？存在の意味がわからない。行政のなにを担っているのか？県議が 3 人もいるのだから、その人たちが変わりをすれば良い。コロナで大変なのに、誰一人給料いらないって言わないのか…恥ずかしい！
321	質・品格がない方が多いと感じます。極端に言えば、報酬を倍にしても良いので、定数は減らした方が良いと思います。R1 調査の全国市議会議長会の議員定数の調査結果ですと、人口 5 万人以下の平均が 17.1 人ですので、浜田市がもうすぐ人口 5 万人になるとして、平均以下の 15 人が適当だと思います。
322	質の高い議員、浜田市に本当に必要なことを求める。多くの自治体がやっていることは達成できない。勉学よりも人としての大切な教育しかないと思います。
323	質問している内容に軽薄で意味がない（市民代表として）
324	実動部隊でない議員は、必要最小限でよい。
325	実動部隊ではないので、数だけいても意味がない
326	社会が変化している。
327	若い人が立候補しやすいようにという理由で定数を確保するという考えは間違えである。競争すべきことだ。
328	若い世代にとって議員は遠い存在。若い世代は子育てや自分の生活のことや精いっぱいで、まちづくりとか考える余裕はないのです。議員に多くの税金を使うより、市民サービスにまわしてもらいたいです。
329	若い世代にとって議員は遠い存在だと思います。国を動かすには、議院内閣制であり国会議員の力が重要になるのは理解しやすいですが、市を動かすのは直接市民が市役所に意見を言う方がダイレクトだと思います。すると、議員の仕事は限定されてもいいのではと考え、大幅な削減を提案します。
330	取り組みを増やすより、効果的なやり方を模索すれば、議員数は減らせると思います。
331	手が回らないほど議員活動が忙しいという意見は聞かない。まだまだ余裕があるのだと思う。
332	住民にわかりやすい結果が出ていないため、どうしてもムダな税金の使われ方とみてしまう。
333	住民の声を言う場は地域協議会もあり、以前より充実している。そのことでコストがかかっているなら、議員のありようを含め整理すべきです。
334	小グループで本音の議論を行う、テーマの設定～通年議会のメリットを生かす。手当の増額で兼業の規制（禁止はムリか？）

335	小さい市町に 24 人も必要ないと思います。活動自体良くわかりません。もっと身近に感じれる様にしてほしいです。
336	少数にすることで、議員、市民（有権者）の市政に対する意識と責任をもたせることにつながる。
337	少数精銳でよいと思います。そのかわり活動経費を増やしてあげればよいのでは。
338	少数精銳にして、政策論争をしてほしい。
339	ディベート能力が低い。
340	松江市：議員 1 人当たりの有権者数 4942 人。出雲市：議員 1 人当たりの有権者数 4445 人。浜田市：議員 1 人当たりの有権者数 1888 人。有権者 3000 人に議員 1 人とすると 15 人が妥当
341	新型コロナウイルスの感染拡大で、国及び地方の予算措置で優先すべき分野が多岐に渡り、議員の給料（歳費）を 30 %以上カットすることが必要。同時に、議員定数も浜田地域の懸案事項等に鑑みると、-4 名程度減らすことが喫緊に必要である。議会等活動した日だけ支払う（日当制にしてもよい。）
342	親しい議員は数人おられます、お元気でしたか、お大事に、頑張って下さい位です
343	しっかり安心して仕事をしていただくために報酬をしっかり差し上げて下さい。
344	身近にお話しえる議員はいるが、その方々がどう私たちの意見を聞き留めてくれているのかは疑問。議員が身近にいればよいという問題ではない。真剣に活動してもらうにもいまのままでよいとは思いません。
345	人格・見識に優れ、市民の尊敬が得られているという議員があまりに少ない。又、その割に報酬が高すぎる。
346	人件費の無駄遣いと思います。
347	人口（約 5.3 万人）の割合にしては多すぎると思う。あまり活動もしていない市議を多く知っている
348	人口、面積の人数？年齢、男女、財源、人口減の先の事を考えると、削減は必要だと思う。
349	人口 3 万人台はすぐやって来る！14 名がしっかりやってもらえれば良いのでは。
350	人口 54,328 人に対して多い 他市との比較
351	人口がだんだん減少があるので
352	人口が減って、税収も減っているので、議員も減らすのがよい。その分、市民の意見を届けるために議員の皆さん頑張ってください。
353	人口が減って、予算も減る、サービスも減るなかで、職員や施設もだが、議員も減らしていくべき。
354	人口が減っているので、議員自らも身をきってください。
355	人口が減っているのに多すぎる。
356	人口が減っているんだから少なくてよい。次のなり手は、その範囲内で十分。
357	人口が減る中、市役所の職員も減らす計画があり、議員もそうすべきと考える。
358	人口が減れば職員も議員も減るべきです。
359	人口が減少するなか、類似団体の定数を見ても浜田市も議員定数を削減するべきと思う。
360	人口が同じくらいの市と同水準
361	人口が同程度の市町村と比較して人数が多い。各自治区出身の議員の必要性はあると思うが、それを加味しても 15 名程度と人数を減らしたほうが良いのでは。人数を減らすことにより削減された歳費を、「議員同士の討議の活発化」や「議員報酬の増額、政策検討や市民交流に使用できる公費の増額」につなげて、議員の広範な知識や政策課題への理解度の醸成につなげるべき。
362	人口でみれば、地区代表など全員協議会方式もありだと思う。議会制は廃止しても良いと思う。
363	人口と議員数が合わない
364	人口と面積、同じような自治体と比較してこれくらいかなと。
365	人口に対して議員が多過ぎる。前回のアンケート結果についても定数に反映されず、全く市民の声が届いているといは思えない。議員 1 人 1 人の意識を変えて欲しい。
366	人口に対して多すぎる
367	人口に対して多すぎる。

368	人口に対して多すぎる。仕事の割に報酬が高額すぎる。
369	人口に対して多すぎる。今後も更に人口減少。市域の広さを言い訳に定数維持を図ろうとされると思うが、僕たち若者は SNS などで声を市政に反映することができるから問題ない。
370	人口に対して多すぎるため
371	人口に対して多すぎると思う意見がまとまらない
372	人口に対する議員数が多く、立候補が少ないため、選挙の争点が明確にならない。
373	人口に比べて、多いような気がします
374	人口に比べ議員が多すぎる。減らすのが妥当
375	人口に比較して議員数が多過ぎる。
376	人口の割に議員数が多い
377	人口の割に多い。市長や市役所の人が頑張って市民のためになることをどんどんやってほしい。議員には期待しない。
378	人口の割に定数が多すぎる
379	人口の割りには多すぎる。
380	人口の割りに議員数が多い
381	人口の割りに多すぎる
382	人口の比率に相応
383	人口は減となるのに議員の数を少なくする
384	人口も減っています。それに合わせた人数でお願いします。
385	人口も減っているから
386	人口も減っているし、少ない人数で責任感と危機感をもって、仕事をしていただきたいので。
387	人口も減っているし、選挙もほぼ全員当選する定数を維持する必要はない。
388	人口も減っているので、議員も減らすべき
389	人口も減っているので、議員も減らすべき。
390	人口も減っているので、減らせばよいと思う。他の市並みに 18 人が妥当。
391	人口も減っているので減っても仕方ない。
392	人口も減っているのにそんなにいらない
393	人口も減っており議員もそれに見合って減らせばよい。
394	人口も減る中で議員も減らすべき
395	人口も少なくなっている。議員経費が多い
396	人口や面積に対しての人数みたい? だが、年齢、男女、収入これから的人口減少を考えると、議員定数は減らしてもいいと思う。
397	人口を思うと
398	人口割から見て 20 人程度が妥当と思われる。
399	人口割合からしても多すぎる。自治区に一人 4 人。旧浜田市内の東西南北に 3 人。12 人の計 16 人でよい。(旧浜田市内は地区を限定するのなく目安として)
400	人口規模が同じような自治体で 20 人以下のところが多いため
401	人口規模に見合った定数でよい。
402	人口減、財政難、議員役割、仕事量を考えた時、6 名減でも一人一人がやる気、努力で十二分に出来ると思います。議員経験者の話しだと、市政市民の為に本気で励んでいる人は僅かだと聞いています。少数でも有能な、やる気のある人 (は… )だけが立候補すべきです。選挙は人気投票ではありません。
403	人口減と財政難
404	人口減る中で施設も減ると聞いている。市役所の職員も議員もスリム化すべき。

405	人口減少
406	人口減少 多過ぎる
407	人口減少が激しい浜田市にあって、24人の議員はいらない。多すぎる！
408	人口減少が続く中、24人の定数は多すぎると感じるため。
409	人口減少していって中、それに対して多いのでは？
410	これまで定数が減ってきてても議員の仕事はできているのではないか
411	人口減少で53,000人で24人は多過ぎる。議員数を減らして議員報酬を上げればいい。平成24年にアンケートされているが市民の声を無視している。次回の選挙は減で行うべき。
412	人口減少により
413	人口減少による
414	人口減少に伴い、議員定数も削減すべきである。
415	人口減少に伴い議員数も少なくさせる
416	人口減少の為（人口の割には多すぎる）
417	人口減少は今後も続きます。ほかの市を参考に、もう一步踏み込んだ定数でよいと思います。
418	人口当たりの議員数が多い。全体的に若返りが必要だと思う。
419	人数が多いから市政が活発に進むとも思えない。
420	人数よりやる気のある人材が欲しい。
421	人数が多いのではと思います。
422	人数の必要性がいまいち分からない。
423	人数は減らし、給料を上げてください
424	人数を減らし、報酬を上げてもっと内容の濃い活動をして欲しい。人数が今のままならば、任期を保障するのではなく、年に一度活動報告をして下位の1名を辞めさせる。
425	人数を減らして、報酬を上げて、質を高めてほしいため
426	人数を減らして減った人件費で活動費を上げればもっと議員も働くと思う
427	政策で当選が決まるくらいまで、議員定数は削減すべき。地縁できまる選挙はそもそもおかしい。
428	政策論争の場となっていない
429	正直、地域協議会が機能すれば地域の声は市役所に伝わると思います
430	正直期待していません。本気でやってくれる方を厳選して議員にすればいいと思う。
431	税金のムダだから
432	税金のムダつかいと思う。何故なら 地元に還元されるような意見が出てない
433	税金の無駄
434	税金の無駄です。
435	石狩市定数22人、益田市定数22人。2市は面積、人口が浜田市に似ており、浜田市の現状の24人は過剰と言える。
436	責任は一切取らず、文句ばかり。毎回同じ様な質問、おもいつきの提案。全くの無駄。
437	先日ケーブルテレビを見ました。議会が色々取り組んでおられることがよくわかりました。一方で、見ていてチェック機能と政策提言を両立するのは難しいのではとの疑問を持ちました。兼務の議員がそこまでできるのかということです。専業議員に専念してもらうには議員で生活できる給料も必要でしょう。その財源を捻出するには定数の見直しも必要だと思います。
438	選挙でほぼ全員当選するのがそもそもおかしい。だから、質を伴わない議員が誕生してしまう。
439	選挙でみんな当選するレベルの定数というのは疑問です。もっと絞り込むべき。
440	選挙でみんな当選するレベルの定数は必要ない。
441	選挙に出れば受かるというの違うと思います。定数は少なくすべきです。

442	選挙の時だけ。本当に市民の事を考えているか。
443	選挙の洗礼をきちんと受けるべき。誰でもが当選する定員はおかしいと思います。
444	前回のアンケートの結果（一番多かった定数）を議会は無視した。人口が減っているので議員定数も減らすべき。定数が多いからレベルの低い議員が当選する。
445	前回のアンケートの声を無視している。
446	前回の市民アンケートにおいて、多数票（大幅削減）が無視されて、議員自ら定数を決定しているので、今回も期待していない。
447	全員が市民にとって必要な議題を提供しているように思えない。また議員年齢が高すぎて、若い世代の意見を反映しているように思えない。人数がいたところで、改革的な議題を提出せず、なあなあの状態のままであれば、人数はいらないと思う。
448	全国 24 市の平均
449	税金のむだづかい
450	全国市議会議長会が平成 27 年 7 月に公表している「市議会議員定数に関する調査結果」を見て も、島根県内の市が全体的に多い定数となっている。議会改革の先進市である浜田市が県内の状況に合わせる必要はない。人口規模にあった定数にすべきと思う。
451	全国的に議員のなり手不足という中で、浜田市は長年、無投票、欠員といった事態はありませんが将来を見据え、又資料の同規模市平均 20 名程度。
452	全国的に見ても多い。歳費削減。活動していない。
453	全国平均と比べて、多い。
454	全国約 5 万人規模の市議会議員定数の平均が 21.9 人(平成 26 年 12 月 31 日)であるため
455	総人口の減少、高齢化の進行、投票率の低下等。減らす必要があると思います。
456	足を引っ張ることしか考えていない。私利私欲の自身第一主義で市民第一主義ではない。建設的な議論を聞いたことがない。他に職業を持ちパフォーマンスだけの議員やサラリーマン化している議員が多すぎる。これら議員を削除すれば 14~16 人しか残らない。議員にボーナスは不要。会議の都度の日当制も要検討事項です。
457	他の市で出来る事ならば、浜田市議会も努力するという事も必要なでは？
458	他の市と同等で十分です。
459	他の市と比べても多すぎる
460	他の市と比べて浜田市の議会が多くないと仕事が回らない理由はないと思いますし、将来の人口減少を見越して減らすべきだと思います。
461	他の市の議員数が書いてあるが、比較できる市はもっと多いのではないか。情報が正しくないと正しく判断できない。
462	他の市より多すぎる
463	他の市を参考にした場合、18 人で十分でしょう。
464	他の自治区と比べて浜田市は多すぎると思います。議会の時だけ出てきて日頃どんな活動されているのか市民には全く見えません。
465	他の自治体と比較して多いから。市議会議員さんのされている市議会議員としての仕事が明らかに分からない。
466	他の自治体と比較して多すぎる。
467	他の団体と比べても多いと思うから
468	他県、他市の人ロ比率に対し、浜田市は市会議員が多いと多数の人からも良く聞きます。人数が多いだけでそれに甘んじてしまい、選挙の時だけ笑顔であとは知らんふり!! 声が届くわけがない！
469	他県とくらべても多すぎる！
470	他県の市と比較して多すぎる。財政がひっぱくしているのに。
471	他市との比較で同等でお願いします。
472	他市に比べて多いと思います（同人口規模）以前のアンケートでも 20 名が一番多かったのに民意が反映されていないと思います。
473	他市の人口、面積が同等位と比較して

474	他自治体に比べて明らかに定数が多い
475	他都市と比較しても議員数が多すぎる
476	多いばかりが良いとは思わない
477	多い少ないではなく、議員の熱量が問題。選挙で訴えたことを実現する信念をもって行動するには、やはり立候補すればほぼ当選という議員定数ではモチベーションにならない。よって、議員数は削減すべき。
478	多くいても議員間の議論がないので意味がない。
479	多すぎます
480	多すぎます。
481	多すぎる
482	多すぎる。
483	多すぎると思う。
484	多すぎるわ よけいいらんわ
485	大幅な見直しを行うことにより、スリム化をはかる必要があると思うため
486	知っている議員にお願いをして動いていただくことは、以前は日常的にあったのではないかと思います。今は口利きになるので、個別の要望で議員が市役所を動かすということは難しいと聞いています。今の時代、こうしたことは当たり前と受け取っていますが、議員は市民の声を聴くだけで、せいぜい議会で一般論として質問するくらいの仕事しかできないのだと思います。されば、議員は今のようにはいらないと考える次第です。
487	知り合いの議員が給料が少なく活動がなかなかできないと言っています。議員を減らして、残った議員の給料を上げてあげてください
488	地域のことは地域協議会もあるし、議員はしっかり議会での審議にあたっていただければよいと思います。
489	地域の声は窓口の職員が一番よく知っていると思う。議員は無理せず議会だけやれば仕事も減らせると思う。
490	地域の声を届けるのは地域協議会でもできる。それを受け止める支所も大切。市議会議員は議会での議論に集中すればよい。そうすれば、人数ももっと減らせるはず。
491	地域は広いですが、人口5万の市において24人は多いと考えます。行財政改革の中で、議員の定数適正化も必要な取り組みを考えます。※報酬の改善も必要です。
492	地域活動等で議員さんとお会いすることがありますが、皆さんの意見を質問してもらっている様子はありません。熱心な人だけが議員をやればいいと思います
493	地域協議会があるので議員は最小限でよい。議会も地域協議会の位置付けを認識しているはず。
494	地域協議会があるので少なくてよい。
495	地域協議会がしっかりすることで地域の声は通るはず、議員は必要最低限でよい。
496	地域協議会がしっかり機能を果たせば、議員は少なくとも地域の声は市役所に届く。
497	地域協議会では地域の声が届くが、議会では地域の声が届いているとは思えない。
498	地域協議会で意見を言う方が市役所は本気で取り合ってくれる気がする。地域の声を拾うのは支所に任せて、議員は議会の審査に集中すればいいのではないか。いろいろやろうとすると、逆に成果がでない。
499	地域協議会で住民の意見を言うことができるので、議員は他の市よりも少なくてよい。
500	地域協議会で地域の課題をしっかりと訴えて、支所が一緒になって取り組めば、成果は期待できます。議員は議会活動をしっかりやっていただければ十分です。
501	地域協議会と支所の連携がしっかりととれていれば、住民の声は市役所に伝わるので、議員は減らしても大丈夫です。
502	地域協議会のほうが地域に近い存在だと思います。議員は絞り込んで問題ありません。地域住民のために活動しているというより、自分の名聲をあげるために一般質問をしているように感じます。
503	地域代表でなく市全体を見れる人数として適正!!
504	地区ごとの区割数を考慮
505	地元の意見を反映させるためだけの議員は必要ないと思います。

506	地区単位ではなく、浜田市全体の繁栄を第一に考えることのできる議員集団でなければ今後人口減少する中で浜田市が生き残れる方法等を検討できないと思います。浜田市のために皆が同じ方向を向いた少数精鋭が良いと思います。
507	通年議会になって充実したと聞いていますが、議員の活動が以前より活発になった印象ないです。
508	定員が多過ぎる。
509	定数を減らし、選挙でしっかりと市民が責任をもって投票することで、議会の質を高めることができます。
510	定数を減らして、当選を競うことで不適格者を排除するため。少人数の精鋭でしっかりと行政のチェック機能を果たしていただきたい。
511	定数を削減すべき。市会議員が、どうして議員定数に対する議案に入るべきでない。身を切る改革をすべき
512	提言を行うとか必要なのか。不必要的仕事を作りすぎではないのか。
513	適性検査を受けさせて公表
514	適正な人員にするべきだと思う。現状は多すぎる。
515	適正な人数が何人か比較材料がないのでわかりませんが仕事を持ちながら兼務できるのでしょうか？出来れば議員職のみでやっていただきたいと思いますし、議員のみで頑張って頂ける方のみが良いと思いますので現在の定数よりは少ない人数ができるのではないかと考えます。（実際議員職のみでやっておられる方のほうが市民と長い時間をさいて活動出来ると思います）
516	兎に角多すぎるので議員の質が低すぎる、議員が争い事、問題事を避けていて存在する意味がないので少数精鋭で質をあげてほしい
517	同じような人口数や面積規模の自治体の人数が 20 人程度なので
518	同じ規模の団体の平均が 18 人。そういういた団体も人口減少していれば定数を見直すことだろうと考えれば、16 人が適当だと思います。
519	同規模の市を参考に、さらに今後の人口減少も見据えた数で考えてください。
520	同規模の市以上の定員は必要ありません。議員がどこまで仕事をするかは、定員の枠の中でできることをやればいいのです。
521	同規模の自治体の議員数に比べて、とても多いから。
522	同規模の自治体より多いため
523	同規模自治体に比べ多すぎる。15 人程度で、浜田市規模の議会運営は十分だと思う。メール等のツールも発達してきており、そのような新しいツールを活用していくべき声は届く。
524	得票数 1000 票以下の議員はすべて落選とする
525	特に必要と感じたことがないし、頼ったこともない。知りたいこと、不明なことは市役所に問い合わせれば、丁寧に教えてもらえるため。
526	二足の草鞋は履いてほしくない 浜田市民の事本当に考えるのなら本気で取り組んで欲しいスピードが大切!!
527	日常議員がどういった活動をしているか見てこない。会合で会っても私たちの意見を聞くというより、来てますよという自分の存在をアピールするための参加のように思える。
528	年々住民の減少が見られる様に思いますので…若者は都市へ流出。少子高齢化が実態かと思いますので
529	年令の高い方が多いと思います。もう少し若い方がいいと思います。元気が全く有りません
530	年齢制限をしてほしい。65 才以上は不要。議員の若返りを……
531	半数にしてその分議員報酬を上げて優秀な人が議員になってもらえばいいと思います。とにかく地域を代表してと言うより浜田市全体を良くしようと思う志の人が集まって議論してほしいです。
532	半分程度で十分だと思う。
533	反対のための質問であったり、何を言いたいのか良くわからない質問であったり。真に市民の声を届けようとしているのか。議員の資質を疑いたくなるようなケースがあまりにも多い。議員の定数が多いから、このようなことになるのだと思う。思い切って減らすべきである。
534	必要最小限でいい。
535	浜田、石見、長浜、周布、国府地区が各 2 名、美川地区は 1 名、自治区は各 1 名の 15 名。理由は、各地域の代表であることを議員をはじめとして、1 票を投じた有権者、市民一人一人が真剣に地区のこと、浜田市全体のことを考えることができることに繋がると思うから。そうすることにより、より一層の質の高い市政運営、議会活動に方向展開が出来そうな気がするから。

536	浜田の人口に対して 24 人は多いと思う本気で皆なの為に動ける人が良い。身体が悪い人は次世代と交代して下さい。
537	浜田の面積人口割合に対して人数が多いと思います
538	浜田市と住民 5 万 2 千人と同程度の他府県市の議会定数に比し、浜田市の定数 24 人は絶対に多い。
539	浜田市と人口の規模、面積が類似している市町村をみると、石狩市がだいたい同じような規模である。この市は議員定数が 22 名であるのをみると 22 名の規模でいいのではないですか。
540	浜田市と同規模の市は、16 名程度であるため
541	浜田市と類似団体と比較しても現在の定数は多過ぎる。
542	浜田市の 10 年先を見据えれば当然でしょう。先を見据えたうえで行動するのが議員の一番大事な仕事だと考えます。
543	浜田市の規模で、今の議員数は多い。大した仕事もしていない。せめて議員報酬をカットすべき。
544	浜田市の規模にしては多すぎると思う。人数減になった報酬を人数割で増額（1 人当たり）して欲しい報酬を上げればもっと意欲の有る、まともな議員が現れるのではないかと思います。
545	浜田市の財政を考慮し行政改革上是削減が望ましい。人口、面積各市町村と比較しても多すぎる。議員の数より議員資質の向上がとわれるのではないか
546	浜田市の財政状況からみて、19 人くらいが適当人数ではないでしょうか
547	浜田市の人口が減っているから、また、財政状況から、現在より減らしたほうが良いと思います。ただ、今後のまちづくり、自治区がどうなるのか。市民の声が行政や議員に届く人数は残してほしいです。
548	浜田市の人口が減少しているのに 24 名なんて多すぎる
549	浜田市の人口が変化し少數になっているのに議員が多過ぎる
550	浜田市の人口に対して議員が多すぎる。
551	浜田市の人口に対して議員の数が多いのは税金のむだ。
552	浜田市の人口に対して書きました。少人数で課題に全員に参加していただき順位をつけて市民に直決する事に審議して下さい。各々の意見に審議してもらってもよい結果が出るとも思わない。
553	浜田市の人口に対して多過ぎる
554	浜田市の人口に比べ議員の人数が多すぎると思う。半分の 12 名でも多いぐらい。票集めか知らんが下らない質問や要望が多いと思う。市の財政圧迫は下らない議員の発言が大半だと思う。補助金泥棒みたいな議員もいるし！
555	浜田市の人口規模を考えると他の自治体議員数と比較した場合多いと感じるアンケートの中には記載していなかったが浜田市より人口の多い自治体（例えば 8 万人規模でも 20 人）も浜田市より少ない定数で議会運営を行っている。自治体の面積も記載してあるが面積は関係ないと思う。浜田市議会の HP をみると各委員会等の視察の報告があるが見ていると代表者 1 人の報告となっている。今までのは浜田市議会の慣習と思うが同じ視察に行っても人それぞれ思考も違うし感性 자체同じではないと思う。個々の報告を提出させるべき。市の税金を使っていることをもっと考慮すべきと思う。
556	浜田市の人口減により議員が多い。現在 24 人⇒20 人でよい。議員が浜田市民のために勉強をもうすこしして欲しい。
557	浜田市の人口減少によるため
558	浜田市の面積は他市町村と比較し、広大であり、より多くの住民の声を届けるためには議員定数の維持に一定の理解は出来るが、平成 25 年に議員定数の削減を実施した以降も人口の減少が続いている、近隣及び他の類似行政規模の市町村の議員数を参考にすると議員定数 22 名が適当と思われる。また、定数削減に伴う議員活動量の増加やより優秀で志の高い議員希望者促進のために報酬の増加は考慮しても良いのではないかと思う。
559	浜田市の有権者数（約 45,000）に対する得票率が 2%未満（900 票）の議員は落選とする。定数ではなく有権者の 2% の票も得られない議員は落選とし、2% を上回る議員は全員当選とする。得票数 2% 論に基づくと前回実績によると 19 名となる。ちなみに 3% 論に基づくと 9 名の当選となる。
560	浜田市の類似団体及び隣接市の状況についての表により。
561	浜田市は財政が厳しい状況である。人口減少が年々進むと考えられる。地域協議会を活用すべきである
562	浜田市は面積は広いが人口は少ない。類似団体の一覧表をみたら 人口にあわせて 20 人ぐらいで充分であると思う。選挙の時に立候補者が少なく全員が当選するような様子なので少数精銳でお

	願いしたい 議員の人も地区代表という考え方をなくしてもらって浜田市全体の代表だと思って活動して下さい。
563	浜田市街地—3人 後野周辺～波佐—1人 三隅—2人 熱田～西村—1人 七条～美又周辺—1人 補佐—3人 下府～久代宇野—1人 旭町—1人 弥栄—1人
564	浜田市合併前時より市民人口が減っている。
565	浜田市住民の減により議員定数の減
566	浜田自治区（現）の議員削減が必要かと思います。自治区解消により中山間はとても市政に声が反映されにくくなります。金弥旭三の定数は現在を確保が必要ではないでしょうか。浜田市内が多い。
567	浜田自治区で10人、旧那賀郡の自治区に各2名の18人で十分でしょう。各地域から選出された議員が市民の生活に密接に関わることができるのであれば18人でも多いくらいです。浜田6人旧那賀郡各1名の10人でも、市民と一体になった市民目線の議員であれば、地域の代表、代弁者としての働きがいのある方が現れてよい仕事をされると思います。もちろん、定数が減った分行動する範囲も広くなることから、議員報酬も上げて良いと思います。真の地域の代表制にして、地域のために働いてもらいましょう。党派も派閥も関係ありません！
568	浜田自治区の5つのエリアで2名ずつで10名、金城、弥栄、三隅、旭に各2名ずつで8名。合計18名という考えです。
569	平均くらいで十分です。
570	平均に合わせれば十分です。
571	平均議員定数18でよい。
572	平均値でいいと思います
573	平均定数に減らす
574	平均的な人数で十分です
575	勉強が足りないので感覚的に申しますが、4人減らした分各議員の報酬をアップしもっと優秀な人材が立候補しやすい環境を整え、少数精鋭のレベルの高い市議会をめざしてほしい。特に近年の若い立候補者に見られる傾向として、あまり市政に対し政策や信念のない経済的余裕のある家柄の市議会議員というステータスを得る事が目的となっている方が多いような感じがしてならない。このことが実現できるなら、場合によっては定数を現在の半分くらいにしてもよいとさえ思います。
576	勉強していない議員が多いと、ある議員から聞きました。それを聞くとやはり今の人數は多いのだと実感せざるを得ません。
577	保守系の議員は行政にほぼ100%近く賛成している。2～4名減員すべき（市民数も少なくなっている）。保守系議員を2～4名減らすべき。行政に追ついするなら、減らすのが妥当、人口減少
578	本当に議員は地域の声をくみ取ろうとしているのだろうか。疑問です。
579	本当に市民の事を理解して議案や運営ができるとはとても思えない。もっと、市民の考え方や意見を反映できるシステムなり場を作ってほしい。
580	無駄に多い
581	無駄の議員が多い。経費的にも多すぎる。
582	面積は広いが情報やコミュニケーションをとる手段は増えている。Face to Faceにこだわらないことと、コミュニケーションツールの浸透によってある程度物理的な距離問題は解決ができるため。
583	弥栄のガソリンスタンドの件は他人事とは思えません。なぜ議会ですんなり通らないのか不思議です。距離を感じます。
584	有権者が約45,000人なので2,000人に1人の割合で20人程度が適当。現在の定数24人は多すぎる。
585	有権者数に対する議員数が多い。面積は選挙カーで廻るときにしか影響がない
586	予算の削除。
587	予算の節減のため。議員の資質を向上させるため。
588	予算もきびしい為
589	利益誘導にしか見えない議員が多い。現在の議員要件だと普通の一般人の声が届きにくいと思う。勤め人は会社の理解or辞める必要があるため立候補しにくいのに対し、自営の人はそのリス

	クが低い。そもそもネット社会に議員が必要なのか疑問、その都度こういった電子サービスを通して賛否を問うなどの方法もあるように思う。
590	立候補者が少ないから。給料が多くすぎる。立候補する人は、失業者ばかり。尊敬できるような人が少ない。
591	立候補者が少ないので減らして下さい。
592	良く耳にするのは、浜田市は議員が多すぎる！そして市役所の職員やアルバイト等も他の市に比べると多いと！たしかに働いているのか議員さんも何の仕事をしているのか、多すぎて税金のムダだ!!!
593	類似市の 平均定数
594	類似自治体と比べ、浜田市は議員定数が多いから
595	類似団体と比べても 24 人は多いと思う。20 人程度が適正ではないだろうか。面積は特に考えなくとも良いのでは？ 車社会なので……。
596	類似団体と比較しても多い。人口も減少しているので、費用を減らすべき。自分勝手な意見を提案する議員よりも、その費用の分実動部隊である職員を減らす数を抑制したほうがよいのでは。職員も減らして、議員も減らす。
597	類似団体にくらべて人数が多すぎる。人口減少がどんどん進んでいる
598	類似団体の市では 15 人～20 人の定数が多いため。浜田市の 24 人は多すぎである
599	類似団体の表があるが、比較できるのがこれだけなのか疑問です。仮に信じても、平均から人口減少も加味して少なくしたほうが妥当です。
600	類似団体の平均議員にすべきだと思う。私はなぜ 24 人必要なのか？ 6 名の給料を、介護、子育てに当てるべきだと思う。議会だよりを読んで、心から浜田市の事を思っておられる議員さんは何名いるだろうか！ 私は、13 名しかいないと思う。ぜひとも減らすべきだ。
601	類似団体の平均議員数が 18 人であるのでこの人数に近づけた方が良いと思う。浜田市の将来、どの様な町にしたいか？ 各議員の意見が、声が聞こえてこない。
602	類似団体の平均議員定数は 18 人と示されているが、現在 24 人。一挙に減らすのは極端だと思うので第一段階として 20 人としてはどうか。
603	類似団体の平均定数
604	類似団体の平均並みには減らすべきです。
605	類似団体の例示がしてあったが、私が調べてももっと類似団体は多いし、何か意図的なものを感じる。作為的な情報提供であればそれこそが今の議会の体質なのだと思う。これひとつとっても、議員は減らすべきである。
606	類似団体よりかなり多い。批判しかせず、建設的な意見を聞いたことがない。勉強していくなくて、質問が的はずれ。
607	類似団体より多いのは納得いかない。
608	類似団体を参考にしても、当面 22 人が適当。将来は 20 人減員を望む

## (2) 「現在の 24 人が適當だと思う」を選択した回答者の意見

1	浜田市の財政面。減らすと中山間地が不利だから
2	これくらいの議員がいなければみなさんの声が市政に反映されない
3	これぐらいの人数がいないと議論にならない
4	これより少なくなれば、弥栄町旭町等小規模旧町村選出議員が極端に少なくなる恐れがある（金城、三隅も例外ではない）。そうなれば、旧浜田市外地区の声、気持ち、希望が反映されなくなり、地域が益々寂れる恐れがある。議員人数削減による経費削減が一義であってはならず、地域住民の気持ちの反映が大切である。住民の気持ちについては、市長はじめ役所において十分に汲みとるという大義はあっても、それは、言い訳、ことば である。議会だより、ケーブルテレビ等による市政報告、議員の意見、主張等は役立っています。その内容、形式にはまらず、汲み取り易い報道を更によろしくお願いします。
5	これ以上減らしても、特定地域の選出議員になってしまうため
6	しっかり議論して欲しい。
7	それぞれの地区に 1 名位は代表にいてもらいたい。
8	議員が 3 人よりへると困る

9	議員さんは私達の暮らしが少しでも良くなるために、私達の声を聞き、そして現場を歩き、バランスに長けた市政を推し進めていただくものと思っています。今は私達に話しを聞く訳でもなく、現場で見かけることもなく、議会放映を見ても何のことやら、サッパリです。人数を減らすと益々市政が遠くなります。お願ひします。
10	議員のみなさんが地域の声を聞いてくれるには、必要と思います。
11	議員数が減ると市民の声が届き難くなるため
12	議員定数を減らすことが前提ではなく議員として市民が求めていることを しっかりとやっておられる方が何人おられるのか?定数 24 の方たちがそれを自覚されて日々頑張っておられるのかの方が大切ではないでしょうか!市民のみんな全ての人達が望んでいるのは暮らしやすい浜田市だと思います。自分は、副業なしに専属で議員をして市民の為にやっていただけないのはどうかと思います。一般的の仕事をしながら議員職と言うのはどうしても議員としてはどうかと考えます。実際議員一筋で頑張っておられる方もいらっしゃるのでですから!
13	議員定数減には反対します。声が届きにくくなること、また議員のうける、はたせる責任も重くなると考えます
14	議会傍聴又は議員さんに聞きます。
15	旧郡部の議員数は必ず確保すること浜田市の声をみんなで意見し、共有することが大切
16	現在の人数でしっかり活動してください。減ると私たちの声が届かなくなるような気がします。報酬が少なくなっていても、議員さんの数は減らさないでほしい。本当は報酬をもっと上げて、活躍を期待する者です。
17	現在の人数で市議会が運営されており、特に支障を感じない。
18	現場の声をとどける必要があるため
19	現状維持で問題ありません
20	国の示す参考値が同規模で 28 と聞きます。減らす理由はありませんし、最近の立候補状況からみて適当だろう。
21	仕事をされる内容、量から考えると現在の人数が必要だと思う
22	市の議員定数は現況で良いと思うが提案に対し反対議員がきまっているかんじ。市全体を考える時、発展していくには僻地の事も考えて。
23	市民数に対する議員数、ほぼ適当だと思う。
24	住民の声を届きやすくするためにも各地区に議員はある程度必要。各部門に分かれて、隅々まで目を行き届かせてほしい
25	少なくなっても声が届かなくなってしまう。今でも届きにくい!
26	人口 2,000 人に 1 名の議員が適當だと思うから。
27	人口 5 万人以下ならば 20 名に削減
28	地域の声が市政に届くようになるため、町で 1 人もいない事になると困る 過疎が進む気がする。定数を増やしても減らしても同じだと思う。議員 1 人 1 人のやりかた 議会での発言より実行が第一だと思う
29	同規模の他市に比べると多いと思うが、いくつかの自治区が合併した経緯からも現在の定数が適当ではないかと思う。
30	浜田市は広域かつ市民が各地区に分散して居住している。今まで市民の声を聞いていた自治区制度もなくなる。これ以上議員を減らすと市民目線でみると市政が遠くなる。
31	弥栄地区は浜田市の中で最も人口少なく過疎地の典型である。議員定数は弥栄地区から議員が選出できない時と場合も有り得る。自治区制度を将来とも維持し弥栄地区住民の民意を掲げるには現在定数は止むを得ない。
32	類似団体状況から面積比率から考えた時。市民の声をくみ上げるために少し多めだが 24 名でよい

### (3) 「●人に増やすのが適当だと思う」を選択した回答者の意見

1	それぞれの地域から議員が活躍していただきたい。
2	期末手当を削減 1人4ヶ月 24人で96ヶ月 単純計算で8人増員できる 広く英知を結集すべきと考える
3	議員さんの数が増えれば地域の活性化につながる。中心部だけでなく小さな地域の声が届くのではないか
4	議員を減らす事は我々の代弁者であるので声が届きにくくなるので増やすのが良いと思います
5	議会中 定数が多すぎると居眠り議員が増える
6	増やしても 25人までだと思う！
7	出身地に配慮した政策誘導を議員活動とするのではなく、社会問題の解決方法を市政策へ取り入れられるように議員立法的に提案できる議員さんが多くいられるようにして下さい。政治屋ではなく政治家が多く当選できるように、手当ては下げて、議会は夜、または日曜日に開催して多様な人が議員になれる環境を望みます。
8	小さい地区にも入り経緯を聞く
9	増やして、市長の言いなりにならないようにしてほしい

### (4) 「わからない」を選択した回答者の意見

1	人口が少なくとも、各自治区の声が反映できる議会のシステムが必要。
2	1人1人が真剣に取組
3	20~22人程度の人数は必要だと思います。肝心なのは、議員さん一人ひとりが、「自分たちが住んでいる地域（市町）をこんな形にしていく」という高い意識を持ち、それを実現するための政策形成能力を備えてもらうことが何より大事です。市長さんが練られた政策（議案）を議論されることは大事な役目ですが、批判反対などされる場合も、議員としての対案をきちんと示してほしいものだと思います。（要望）弥栄自治区選出はお一人ですが、地域が広いので、可能なら複数名の地域担当議員制みたいなことができる面白いと思います。
4	24人が適當かどうか分からぬが減らし過ぎるのは良くないと思う。議論する人数は多い方が良いし、色々な考えが出ると思うから。
5	24人の経費でまかなえるなら30人でもよい。
6	Dの分からないに印を付けましたが、議員さんの活動が市民に伝わると良いと思います。人数の問題を重視するよりも、市民の代表なので、これから浜田市をしっかりと運営してもらいたいと思います。頑張って下さい。
7	この質問でなにが知りたいのかわからない。
8	まだ浜田市に来たばかりで4月の議会だよりだけでは、浜田市議会内でどのような議論が行われているかわからないから。
9	一般市民は何人が適當だか不明である、
10	各自治区で何人程度の人数が必要なのかわからない。活動する人もいればしない人もいるでしょうから？
11	議員が多ければ市民の声が届きやすいのかもしれません、結局最後は、議員の考え方で賛成や反対を判断していると思います。人数が多くても少なくとも結果は変わらないなら、少なくて良いと思います。
12	議員ご自身は何人いたら有意義な活動ができると思っているのか逆に聞いてみたい
13	議員の数ではなく「質」が大切。地域から選出されるので、よけいに浜田市が分断されるのは？
14	議員を身近に感じたことがないから、多いか少ないかわからない。
15	議員数は正直分からない話を聞いてもらえる議員も近くにいない。話が出来る場もない。とにかく身近に感じられない
16	議会だより 参加欄を見ると 類似団体の平均議員定数は18人。24人が適當かどうかの判断は難しいが、当面続くであろうコロナ禍の中において議会改革（例えばオンライン会議、議会等）を今迄以上に強化し、定員削減に挑んで頂きたい。
17	議会だよりだけでは、議会の様子がつたわらないので。どのぐらいの「熱」をもって話合い、議論がなされているのか……。
18	議会も市役所も、遠い世界のことだと思うからです

19	給料をへらして人数を多くすれば良いが 本気で仕事をするもんが少なくなるし 国会議員からだが本人の自覚 品格のある者がおらんので 東京へ右ならえでドーしようもない 今日日本では打つ手が無い
20	減らしてとよいとも思うが、何をもって適當とするかが示されないと判断はできない。
21	現状がわからない。
22	功績を残さない議員さんに報酬を支払うのも無駄のように思います。
23	増減に対して適當といわれる事に理解に苦します。
24	行政と私達の間を議員さんが結ぶ役割をされていると思うのですが それぞれ目標を持って活動している姿が身近に感じられません。この問題についてはこの人とそれぞれに解って接する事が出来たらと思いますがどうでしょうか
25	今年になって転入して來たので、浜田市の概要（課題含む）が判っていません。従って報酬や定員が妥当なものかは判りません。他都市の比較では各市の課題も調べて（可能なら）定員を考えてはと思います。どこも悩んでいるところです。
26	市長のいいなりになる議員なら、いなくても良い
27	実際に浜田市、市民の為に活動されている議員が何人居るのか？浜田市の為に活動されている議員だけで十分。血税を無駄に使われるのは納得出来ませんので 私の知っている議員は毎日毎日！浜田市の為に活動されています。そんな方に充分な待遇をしていただきたい
28	少なくとも、多くてもやることは一緒なので今までいいと思いますがわかりません
29	人口から考えると多いと思いますが、面積を考えるとこんなもの？数字だけを見たら多いです。合併して何年か経ちましたが、議員さん方は24人が多いのか少ないのか、どう思っているのでしょうか？どこの会社も資金が足りなければ人件費カットしますよね。でも未来に向けて今は人員が必要となれば経費をかけてもいいのではと思います。浜田市は今どの辺りなのか。市長がこの定数必要というなら応援します。
30	人口や抱える地域の課題がそれぞれ違う中で、どれくらいの定数が適切なのか想像もつかないから。
31	数だけでいうと、同じ規模の市の議員定数を参考に決められるかもしれないけれど、抱える問題や実現したいことが違う中で本当に数だけで決めていいのか、と感じるから。
32	何を基準に数を決めていいのかそもそもがわからないから。
33	正直議員さん一人一人が何の仕事をしているかもわかりません。議員だよりが届いても子育てや仕事が忙しくて読む暇もないですし、正直読もうと思いません。
34	全国の人口、財政、企業数、基幹産業等が同規模の他都市を参考に検討すれば市民からの理解が得られるのではと思います。※自治区制度を早急に廃止して名実共に一つの市になる事が急務。
35	他の類似団体の状況を見ながら、議員の良識で決めて欲しいと思います
36	他市との均衡を考えて減らす方向で。議員が議員定数を決めることが問題。やる気のない議員はいらない。
37	知っている議員は議員意識が強くて（傲慢とも言う）鼻持ちならないヤツで話もしたくない。そんな人間なら何人いても浜田市は良くならない
38	知らないから。
39	定数が具体的に何人だったら活動が出来るか？……が不明です。むつかしい問題です
40	適切な定数については、知識がないので分かりません。ただ、本当に住民の気持を伝える機能が議員（議会）にあるとすれば、少なければいいものではないと思います。
41	浜田市発展の為に真剣に行政と共に良い方向へむかうように考えて、各地域の実態をもっと把握し、今までの経過等を踏まえて意見を言う責任ある行動をとってもらえる議員であって欲しいと思います。
42	役割を果たすための人数は必要で、最低限の人数は必要だと思います。具体的な人数は判断しかねます。必要最低限の人数にしづり、その議員には十分な給与、費用を担保し、しっかり働いて頂きたいです。

## 質問 8 あなたの声がどうしたらもっと市議会に届くと思いますか。

1	「3. 回答方法」の③、④については中立、公平性を欠く　回収の仕方である、問題あり。
2	「はまだ議会だより」は是非続けて貰いたい
3	○市議会議員に相談したときは、現場を必ず見ること。そして話をしっかりと聞くこと。その後、可であり、不可であり、経緯を知らせること。そのような誠意ある態度が議員には必要である。○定期的に困り事のアンケートをとり、声なき声を拾い上げる事も有効である。
4	機会ある毎に意見や要望の言える場を作っていく。誰かに言ってもらう、決められたことを行っていくという姿勢から、積極的に物事に参加する、参加しなくては…と発想を変える。
5	議員さんからの声がけ
6	議員さん自身が日頃から問題意識を持って情報収集をする。例えば、議会で弥栄町に関することについて取り上げられた話題を町民に伝えることで町民からの反応を得て頂きたいと思います。そのためには、町内の自治会常会に顔を出すまちづくり推進委員会の会合に顔を出す公民館活動に参加するなど「あなたの声」というよりも「地域の声」を拾い上げて頂きたいです。
7	議員定数を減らして、減った分の報酬を残った定数に振り分けて、兼業を認めず専業としてもらいたい。
8	今の浜田市では意見も届きにくい。各町内会合に出向いて意見交換してはどうか
9	市議に動いてもらう。直行便（葉書）を出す。
10	市議をもっと利用すべきである。3期務めれば出馬しない市議が多すぎる。浜田市の事を考えるのあれば!!
11	市議会議員の勉強不足がもたらす地方は低下するばかり。浜田市がまず第1に行うべき、政策を、会派をこえて取り組むべき。ストップ人口減少を
12	市民アンケートなど実施すること。※その他、市議員の報酬、旅費等がどんな根拠によって決定しているのか。（情報の公開をする必要があると思います）
13	地域に出向いてその地域の住民との接触があればいい
14	地域協議会等にもっと出向いて意見を聞くべきと思う。
15	例として歴史文化保存展示施設がこども美術館に増設を反対方です。実際に市議会の人達は見に行かれた事があるのでしょうか？全員がこども美術館は催し物をしていても、入館される方は少なく冷暖はしっかりしている。全部税金ですよ！もっと市民、私達の声を市議会にもっともっと打ち上げてほしい。上から目線で話しを聞かれ、これで市議会に届くと思われますか？
16	1. 時間が欲しい=議員さんと話合いたい。2. お互い多忙のため有望の議員さんに 1 手紙、2 直接、3TEL で。3. 年 2 回位話合いの場が欲しいと思います（口答）
17	1. 市議会に要望を聞く部を設けて欲しい。2. 議員報酬のあり方の検討（目前に人参をぶらさげないと人間は動かず）（例）基礎配分（15～18万）+ 実績配分（残り）に分ける実績配分は議会質問の回数。市民の要望、苦情について、現地調査。面談等の活動について実績配分にする。
18	1. 市民のみなさんが市政に感心をもってほしい。2. 議員はもっと歩いて、一人ひとりの市民の声を聞くべきだ。3. 議員は市民から聞いた問題に丁寧に答えるべきだ
19	①議員に直接、手紙等で届ける（各人）。②議員自ら進んでアンケートを取ればよい（当然の仕事である）
20	1番は浜田市の最高責任者を変える。田舎ならではの仲良しこよし政治をやめる。浜田市役所の各責任者が自分の足で市民の声を集めたり、問題等の現状を責任者が自分の目で把握する。市民の声を付度なしで、議会に出席している人の顔色や、派閥に関係なく発言出来る人選。市民の声を聞く耳を持てる市役所職員。議員。仕事の出来る議員の人選。この市民からのアンケートで、浜田市議会にとって耳が痛い回答を、市報に載せる。
21	20、30、40代の議員、女性議員が増えて欲しい。議会も定年制を導入し、若い世代が活躍する場となったら働き手の声がもっと届いてくれると思う。
22	4カ月に一度程度の意見書箱を各公民館に設置しては……。
23	5年先 10年先が思いやられる。山奥には住人がいなくなる
24	IT の積極的な活用が必要
25	SNS などでの意見収集（有記名で）

26	SNS や動画配信などをもっと活用してほしい。議会の様子や市長の会見などリアルタイムで見られると、市民の反応が少しあわかると思います。いまの子供たちが、50 年先、60 年先、安心して暮らせる町になるよう。
27	アンケート結果が定数に反映されたときに声が届いたと思う
28	アンケート結果を尊重した議員定数にならないのなら、声が届いていないことになる。表裏一体で、アンケート結果が反映されれば声が届いたこととなる。
29	アンケート等を増やして行ったほうがいい。
30	いい機会ですので日頃思っていることを書きます。コロナ禍の中、地震、水害等の災害が起っても大丈夫ですか？各地に避難所が指定されていますが「3 密」を避ける対策はできていますか？今回議会から市への申し入れ 6 項目の中に、「スピードあるわかりやすい情報提供」があります。情報発信元としてケーブルテレビが大きな役割があります。そのツールとしてデータ放送がありますが現在殆ど機能していません。項目は沢山ありますが動いているのは 3～4 項目です。これでは視聴者は見ません。数年前ケーブルテレビにデータ放送の改善をお願いしましたが「三隅ケーブルとの関係で…」視聴者には理解できない言い訳でした。今、施設、催事等の中休止を放送していますがデータ放送で見ることができれば 24 時間いつでも確認ができるのです。機能があるのに使わない、視聴者には納得できません。改善し有効に情報発信に利用してください。●●議員よろしくお願ひしますよ。長くなりましたがお許しのほど。
31	いくら、話を聞いてもらう機会を開いてもらっても、本当に、市民の声を聞いて動く人が居ないと市議会に届かないと思う。
32	オンライン等による意見交換の機会をもつ。
33	ケーブルテレビで、市長が出演している。これを減らしても、もっと、議員も、出演して、公職選挙法、議員法、条例に反しない限りで、政策をしっかり伝えるべきである。その結果、市民も市政に対する意識が高まり、議員との距離も近くなるのではないかでしょうか。
34	ケーブルテレビなどで見る事が出来ますがそんなとき市民の聞きたい事とか困っていて市議会に取り上げて答えてもらえるような方法とか生活環境。今から生きて行く上で、皆で考え自治区と一緒にやって行く事もたくさん出来ると思っています。生きて行かなければなりません。よりよい人生を仲よく楽しむために。
35	ケーブルビジョンや浜田市議会だよりを見て、市長の足を引っ張る議員が多いのに驚いています。最初から何が何でも反対でなく、如何にすれば実現可能か、知恵を出し合えば必ず出来ると思います。見ていて見苦しい。今回、市民の声を聞かれたことは、非常に良いことだと思います。
36	こういう声を定期的にとてほしい。市会議員がしておられるのは、登校時の交通指導など、市民の目に触れるものが多いが、お年寄りに手を貸すボランティアとか、税金の使い方をもっと考えてほしい
37	こういったWEB や SNS をもっと有効活用して市民の声なき声を拾ってほしい。ネットにも弊害はあるとは思いますが、一方で匿名だから言える意見、狭い町だからこそ、しがらみから離れて自由に発言出来る場所、もっと気軽に発言できる仕組みが必要だと思います。
38	こうしたアンケートを定期的に実施してほしい。
39	こっちが聞きたい。こういう質問がある時点でアウト。
40	このアンケートが オープンに市民のみなさんに届くようお願いします。
41	このアンケートも良い。直通（市長）ダイヤルも良い。
42	このアンケート用紙のように市民に何でもきいた方が良い、忙しい中、書くのは大変だが今日よりは明日が少しでも良くなるようになるならその位の協力は必要だし義務だと思う。
43	この質問は市議会や市議さんが考える問題なので？ どうしたら市民の声を聞けますか？
44	この度のようなアンケートの回数を増やす事に加え、議員の各町内会への参加実施やウェブ上での要望、意見の書き込みについての広報に力を入れる。
45	この様なアンケートを増やしてもらったら、良いと思う（定期的になればなお良い）どんな意見があったのか、又、多い意見がどの様に活かされたか、何かで定期的に発表があれば良い。今回は新聞で知ってアンケートをする事が出来た。告知は何度も願う。これから浜田での生活を通して考えていきたい。
46	コロナが大変である時島根県内の連絡を取っているのか、消防救急救命等の人がコロナにかかった時どうするのか、資料館など 7 億もつかって作る必要があるのか、このようなアンケートをどんどん出してもらいたい
47	さあ～どうすれば一私の方から聞きたいんですが……。
48	その他。コロナ不況の折、市職員を整理すべきだ。

49	その地区の議員が戸別に年に1回くらい廻って来てもよいのでは！
50	そもそも期待をしていない。
51	たぶん届かない。あきらめている。
52	どういう行動をすれば声が届くかわかりません。
53	どうしたら市議会へ届くか教えて欲しい（どういう方法があるか）
54	どうしたら声がとどくか教えて下さい。
55	どうしても届かないと思う。知り合いの声しか聞いてくれないように思うから
56	どうしても無関心になっている。今の議員は建物ばかりつくって、利用者も少ない、維持費がかかるなどの悪循環。議員も若い人が少ない。年寄り議員は引退して、若い議員に浜田市を任せたい！新しい取り組みを期待！
57	どうすれば届くのでしょうか。こちらが聞きたい
58	どうせこのアンケートも日の目を見ることはないと思います。
59	どこの地域でどのような活動をしている議員がいるか知った上で、議員と接する機会を増やすこと。
60	とてもむつかしい質問ですが私達1人1人が訴えるにはよくよくの事があつてだと思います。それに受け答えは誠意が欲しいです
61	ふれあう時間がないのが残念。
62	まじめで誠実な議員を増やしてほしい
63	まず、このアンケートの意見は反映されるの？ そこからでしょ？
64	まず市民のニーズを把握 それを市政に反映していくことが大切です。その為には議会報告の場をもっと増やしていくことも選択肢の1つです
65	メールによる市民の意見が届くシステムがあるといい。SNSの時代なのでわかりやすい市民の声ボックスの役割があると広い情報が得られます。期末ごとに各議員への査定や感謝や批判を受け付けると、明確になると思う。併用して紙のアンケートも行う。（高齢者用）
66	メール等のインターネットツールを活用すれば声は届くと思う。現状思うことがあっても言いにくい。
67	もう、このような時代ですよね、個人から意見を吸い上げられる手法は沢山あります。むしろ、いかに行動に移せる人を増やせるか？実態を把握出来る情報収集と情報開示の仕方、危機感や未来展望からモチベートさせ行動に移せる。議員を減らして、こういうところに費用を少しづつ捻出すると浜田市自体の新しい道が開ける気がします。
68	もっと議員が市内全域を廻って住民の意見を聞くべきである
69	もっと女性議員を増やす。
70	もっと頻繁にミニ集会を行うべき。
71	もっと分かりやすく、意見を伝える場が必要。歴史資料館も必要なかったのに…伝える場所が分からなかった。マスクも中国に送っている場合ではない。議員の質が問われると思う。
72	もっと勉強をしてほしい
73	モラルとして上から目線で意見を言うのを止めてほしい。
74	レベルの低い議員を減らし、思いつきではなく、政策や制度を理解した議員で運営する。
75	わからない
76	わからない。
77	わかりません、議員の皆様方それぞれの部門でご活躍されていると思っています。
78	以前 町内会で地域の意見をのべた時「町内会でまとめて意見を出す」その他の方法では出しにくい といった圧を感じたことがあります。
79	自治会の大事さと そこですべてをとりまとめるということは違うと思います。
80	もっと自由でなければいけないということを思います
81	威圧的な意見の言い方を止めてほしい。見ていて、社会人としてどうかと思う。
82	意見を言うだけの議員はいらない

83	井戸端会議に出かけて意見を出す。日常的な懇談会や集い等で意見交換を実施する。等。
84	一人当たりの議員報酬を増やし、人数を減らして議員を厳選した方がより良い意見が出る。
85	一般質問でケーブルテレビに顔を出すだけでなく「マメ」にやって下さい。
86	一部（数人）の意見を、さも全体の意見であると主張している議員が見受けられるので、声が届いているとは言えない。
87	公聴の機会を複数のチャネル設置すべき。
88	横柄な議員を減らす
89	何をされているのか、声がどうしたら届くも何もそれしもわかりません。いいようがわかりません…もう少し各家庭を回って市民の声を聞いて頂けませんでしょうか
90	何をしても現状の議員では届くとは思えない。
91	何を言っても届かない。風車建設反対とか…今は魚が取れない浜田に、どれ程の税金を使っているのか。港 etc。コロナ対策で浜田は、事業所等の支援はどうなっているのか？ 外の市町村の飲食関係に対する心やさしさを見て、何も感じないのか！恥ずかしい町！！
92	回覧板に市民の意見を言う部分をつくってほしい。それに対する返事がほしい
93	街の声を聞いてください
94	街全体に、市民の声の箱を置くと良いと思います。スーパーや病院、お年寄りの声も病院の待ち時間に聞ける。最低10箇所 市民の声が届きますように!!
95	各議員さんはそれぞれに支援者団体がついておられ、その方々との活動状況を昨今、はやりのSNS等でアップされています。コロナの影響もあります。この傾向は加速されると思いますが、それだけではなかなか率直な意見は出しにくい。市役所のHPに市民全員が閲覧可能な掲示板を設置して頂き、市民の声を直に市議会に届けるとともに、これらを市民に紹介する方式をとったらどうか。（但し誹謗、中傷的な意見は削除するという条件付きで。）※もしこのようなシステムが既にあるのなら積極的にPRして下さい
96	各議員さん達が、一般市民の声をしっかりと聞いて、市へ届けて下さることを切に願います。ただ、一個人のわがままな要望は、どうかと思いますが……。
97	各自治区3人程度にし、全部で議員を15人にして、もっと密に住民の人達と会う機会を作り、そこで意見交換し合う場を持つ事が大切で、もっとより良い浜田市にする為の案も出ると思います。
98	各自治区に市民の声を届ける箱を設置してほしい
99	各地における座談会の開催
100	各地区 行政区で希望をつのり提出する
101	各町内に行政、福祉等の集い会議に顔を出してほしい。市長様しっかりお願いしたい。
102	期待していません
103	議員が、少数意見を大きな声で言うことをやめること。
104	議員がこまめに地域を廻ること、そして住民の生の声を聞くこと。※夏、冬の一時金返上するべきです。知事、県議に同調すべき。市民はまだまだきびしい。
105	議員がしっかりと市民の声を聞いて仕事をすると届くと思う。
106	議員がもっと広聴活動を行い、細かく市民の声を吸い上げることが大事。その声を整理し、議会に届けてほしい。議員個人の意見はいらない。
107	議員がもっと地域をまわり弱い立場の住民の声をきく事。市内をくまなく回り、住民の声をきく事が大切ではなかろうか。出会った人との立ち話は重要。
108	議員から市民の意見を聞いて回っている姿を見たことがない。数人の声を聞いて、さも全体の声かの様に言って、実の声をゆがめている。
109	議員が減ること。
110	議員が市民と話していません。1年間一般市民の何%の人が議員と接していますでしょうか？？？
111	議員が市民の意見を聞こうとしない。聞く機会をつくる努力をしていないのではないか。
112	議員が市民の声を聴いていない。もっと野に下りて人の意見を聞くべき！（限られた人の意見だけでなく幅広く声を聞く）
113	議員が市民目線で働いてほしい。職務をまっとうしてほしい。
114	議員が出向く。

115	議員が署名活動をしてはいけないというような事では市民の意見が市政に届くことはないと思う。執行部はケーブルビジョン、広報、集会等で市民に知らせることができる。一方、市議会、市議は自分の支持者に合うときに会話するぐらいで広く一般市民の意見を聞く、意見を言う場がないと思います。議会報告会がありますが、そこで議員の発言は議会を代表（執行部の意見を代行）して、あったことを報告するだけで、その場で自分の意見を言うというようではないようで市民にとっては意味のないものになっている。啓蒙の場だと勘違いしている。市議は市政を担していく人々のはず。執行部に忖度する必要はない。
116	議員が人をバカにしたような上目線の物言いをやめたらしいと思う
117	議員が積極的にいろいろ人の声を拾う活動をすれば良いと思う
118	議員が積極的に情報収集に出るべきだ。寝ていてはだめだ。
119	議員が相手を尊重したものの言い方をするといいと思います。
120	議員が地域の集まりに積極的に参加する。
121	議員が地区を廻り市民の話を聞いて歩くようにする事
122	議員が聴く力をもっと強く持って頂いたら、自ずと市民の声が届く様になると思います。
123	議員が浜田市民一般ともう少し会話がほしい。
124	議員が聞く耳を持って色々な場所に出向くこと!!
125	議員さんがどうかとかの前に税金を払ったり、日々の生活が凄く苦しいので、考えられません。もっと街を活性化したりしないと若者は居なくなってしまうと思います。浜田市にずっと住んでいますが、もっと若い人達が居やすい、住みやすい、子育てしやすい町にしてほしいです。今の浜田市は子育てしていて厳しいです。
126	議員さんが地元の意見を聞く場所をふやす。
127	議員さんたちは、選挙活動中は、腰が低いが、当選されると、次第に偉そうになって行かかる。常に、市民目線を忘れず、自分から発信することが、むつかしい人たちが、いることも、目を向けて欲しいと思います。
128	議員さんとこまめにコミュニケーションをする事で声が届くと思います。
129	議員さんとの話がもっとあつたらと思う
130	議員さんとの話し合の場を作る
131	議員さんとよく話すことです。できたら、三隅の議員さんを増やしてほしい。（これは他の自治区についても同じです）。それから、市長さんの発言が気になってなりません。具体的には申し上げませんが多々あります。
132	議員さんと親しく語り合える関係がほしい。
133	議員さんと話をする
134	議員さんに、もっと市民の声をきいて頂くように！ 周知してもらいたい。議会（ケーブルテレビ）とかでしか、活動している所をみたことがない。市民の声をきいて歩いてほしい!!
135	議員さんは私達の代弁者だということを自覚していただきたい。そのためには、私達としっかりお話しをすることです。井戸端会議のようなことはやめてほしい。とにかく地域に出かけて、地域の思いを聞いてみてください。そうしたら議会に声が届きます。
136	議員さんひとりひとりが自分の足で動いて市民の声を聞いてほしいです。市民との距離がかけはなれ過ぎです。
137	議員それぞれが勝手に意見を言うのでまとまらない。議会としての意見を出してほしい。
138	議員それぞれが地域に入ってもつといろいろな意見を聞くべきだと思う。
139	議員というフィルターを通す必要は、全くない。市民をなめるな！
140	議員との交流の場、ケーブルTVでの重要施策の発信への声（反応）、市長への意見の場、それぞの具体的な実行。
141	議員との話合いの場を持つ
142	議員と面談する機会が無い
143	議員と話し合う
144	議員に危機感ができたら届くと思う。
145	議員に言うよりも地域協議会や自治会を通して言う方が公平性があると思う。

146	議員の各地区への活動を活発にして頂きたい。
147	議員の間で意見を一本化すること。
148	議会としてどのような意見とするのかまとめてほしい。
149	議員の高齢化が気になります。65歳でもまだお若い方が多いとはいえ、65歳です。違う形で浜田に貢献していただけてもよいと思います。
150	議員の質とレベルを上げ市民一人一人の声や考え方を推考出来る、想像や創造する能力とスキルを持った人材の育成
151	議員の質をよくすること。市民の奉仕者は選挙の時だけですか？
152	議員の人がもう少し外を歩き廻って市民の声を聞くようにした方が良いのでは有りませんか。
153	議員の政治活動が住民中心になっていない。市議会の議事にのみで現場に生かされていない。地区の自治会の常会や議員自ら企画し率先して住民と会合を持つべきである。迎えて受け身の議員はいなくて結構です。
154	議員の声に真摯に耳を傾ける首長を選んでください
155	議員の知り合いに頼むとかしかないと思われる。
156	議員の方の考え方を市民にもっとアピールすることが大切と思う。自主的にもっと活動していかれることを願います。
157	議員の方も地域の活動に積極的に参加をされ、同じ高さになり、同じ仕事をされれば、話す場が出来るのではないかと思う。
158	議員の魅力化を図る。
159	議員はもっと真剣に市民の声に本気で耳を傾けるべきであり、困っていることを話しても、単に面倒そうに生返事だけの議員が多い。もっと自覚を持って取り組んで欲しい。
160	議員は家で待っているのでは無く、歩き家庭訪問し市民の要望を聞いて廻る事。
161	議員は各集落等の問題点等を聞くことが大切だと思います。選挙時回るだけではなく、直接地域課題を聞きとりし議会へ上げてほしい。また、経過も地域へ戻してほしい。
162	議員は集落に沢山出向く事がよいと思う
163	議員は選挙の時だけでなく、平素から地域の声を聞き歩く姿勢が必要！
164	議員は全員が全家庭に対し、毎月の活動状況を文書で知らすべき。又意見を求める方策を講じるべきである。
165	議員を減らす
166	議員を通して
167	議員一人一人の自覚ではないでしょうか？（聞く耳を持っておられればの事ですが）
168	議員減らして、自治区長も不要
169	議員個々の活動に限る。各地域へ足を運んでいる姿を見る機会があまりにも少ないと感ずる。
170	議員数が多いことが、必ずしも自分の声が議会に届くことにつながるとは思わず、コミュニケーションの 1)質、2)量頻度、3)チャネル が改善されることが重要。1)「質」については浜田市の課題や政策について数値的な裏付けを持った情報や政策計画の情報をわかりやすく伝えてくれること（グラフ化など視覚化も含めて）。現状、議員発信の言葉や文章などに情緒的な意見や、やりたいことについてスローガン的なものが多く、こちらが議会で議論してほしいことと噛み合わない。2)「量」「頻度」については議会だよりの 3ヶ月に一度や議会報告会では足りず、一度の量は少なくとも月に 2 回程度は市議会の情報を取得し、市民からも議員へ働きかけられるほうがよい。3)「チャネル」については、紙面や対面、電話、イベントだけではなく、SNS を活用したものがあるべき。例えばコロナウィルス関連では、厚生労働省は LINE と協働で国民個人に体調や生活様式の変化に関するアンケートをラインアプリを使って行っており、個人が大きな労力なく回答できる仕組みとなっている。特定のウェブサイト（例えば、今回のこの電子申請サービス）を使って意見発信するのは敷居が高く大きな労力が必要になるため、LINE に限らないが浜田市民が普段から使う情報インフラを使えるように議会として工夫してほしい。そうすれば若年層有権者の声がより議会に届くようになるし、工夫次第では将来の有権者である中学生、高校生の意見も吸い上げることができると思います。
171	議員専従として他に職業を持つべきではない。市民の中にもっと入る努力が必要です。
172	議員定数に限らず市政についてもアンケートその他の方法で市民の声を聞く方法を考えるべきだと思う

173	議員報酬を増やしても良いから議員数を削減すべきだと思う。自治区ごととか、溝蓋議員は要らない。本当に市のために活動する議員が必要と思う。
174	議員本人の活性化に対する意欲工夫。受け身でなく、自ら動く市民との対話を積極的に。
175	議会が終了したら、市民に報告会を実施すべきだ。議員の役目は市民の声を市政に反映するのが第一です。基本を忘れないように。①年数回の議会会議前に市民の声を聞く会を必ず行うべきです。そして結果報告会をする。（5月下旬～6月上旬）現状では議会お祭り会に過ぎない。税金の無駄！②人口減少対策に対して、意見を、対策する議員は1人もいない。
176	議会で述べてもらっても、市長の考えを変えることが出きない 本当に住民を支える住みやすい地域のことを考えてほしい
177	議会にきいてほしいと思う市民がいるのか。どちらかと言えば市役所の職員に聞いてほしいと思うのではないか。
178	議会の定数なども大切と思うが、他の事例も市民アンケートを出されると、住民が思う事も把握できるのではないか？
179	議会はやたらと市長と対立して市政の進展が見られないばかりか、その結果として事業の内容も中途半端なものとなっている感じがします。重点事業はアンケート等で直接民意が反映できるようにしてもらいたい。
180	議会直行便を作る。
181	議会報告会でなくて前もって意見を集めて順意を決めて望んで下さい。市に要望をする時順番を決めて取扱ってもらう。行政連絡員を通してから順位付をして下さい。
182	議会報告会に参加していますが、議員の方からの一方的な報告だけでなく、市民が困っていること、要望したいこと等の声を聞いて取り上げていただきたい（アンケート等を実施）、ケーブルテレビを導入していない家庭では議会だよりだけが唯一の情報取得手段です。報告会の実施（曜日、時間帯）等も希望を聞いていただきたい。逆である。議員がもっと市民の方へ出掛けるべきである。
183	狭い視野の意見ばかり言う議員がいなくなること
184	現行のままで届く
185	現在の陳情や請願といったものでなく、もっと気軽に意見を伝えられる仕組みがあると良いのではと思います。そうすれば、井戸端会議も要らなくなるのではと思います。
186	現在も報告会等行われていますが、議会が終わった際の報告会といった形ではなく年間定期的に市民との対話の会を開催されてはどうかと思います。議員活動の報告会なども議員さんによって頻度に差がある様に思います。またSNSの活用など様々な手段を活用していただけたらと思います。
187	現在実施している「井戸端会」を丁寧に実施することが大切です。
188	語り合える場所を増やして、身近でおしゃべりが出来ることが、幅の広い意見が出ると思う。
189	更なる市民公聴会の実施
190	行政、民間、市民の関わりの場をもっと考え、行動する必要があると感じる。
191	行政相談の制度があるので議会を通して市政を糺すことは不要
192	「議会へ市民の声が届く」という発想こそ上から目線で「市民の声を聞く方法は何が有効ですか」という質問に変更されてはいかがでしょうか。
193	今までいい！
194	今の浜田に必要なのは資料館ではありません。良い病院とドクターです。産婦人科もない町にUターン、Iターン来る訳ありません！
195	今は何と言おうと信用している。元の那賀郡を食いものにしている。
196	今回のアンケートに対して称賛致します。今後、アンケート、要望、苦情に対する用紙を市報と共に配布してもらえると嬉しく思います。
197	今回のアンケートも宣伝不足。回答が多くれば、定数を減らすべきという声が多数を占めることを危惧し、あえての戦略なのかと裏読みしてしまう。選挙のときと同様、宣伝カードやポスターで宣伝すべき。「あなたの声がどうしたら」という設問だが、アンケート結果公表の際、皆さんのが書いた自由記載欄の内容がすべて公表されなければ、声は届いてない（=抹消された）と考えるのが自然かと。
198	今回のアンケート結果の尊重
199	今回のようなアンケートがあれば、私のような若輩者でも声をあげる気になるかと思う。
200	今回の様なwebでの意見募集は、自宅に居ながら好きな時間に回答できるので、「わざわざ感」が無く、気軽に答える。この方式での意見募集の拡充を望む。

201	最低でも年4回ある議会の前に各自治区に出向いて議会報告及び市民のニーズを把握して、それに基づく地域に根づいた質問を行う。全国的な事柄等は、一番最後にするのが住民主権になると思う。
202	四半期に最低1回は議員活動報告を義務付け、市民の意見を聞く
203	市会議員の人の今月の予定、又は意見を述べる場所を設けていくと良いと思います。
204	市会議員は市民とふれ合う場をもうけ市民の声を県へ、県会議員は県民の声を、国会へ届けなければいざれにしても議員を先生と呼ぶ様な政治はだめ！
205	市議との対話会の実施
206	市議は積極的に市中に足を運び、市民の声を直に聴き、また、目、耳、肌で何が必要かを感じて欲しい。浜田市の将来像をしっかりと描ける議員であって欲しい。
207	市議を囲んでざっくばらんに市民が話し合う機会をたくさん作っていただきたいと思う。
208	市議会だよりをよく読み、議員の質問内容に関心を持ち続けること
209	市議会だよりを年4回、5回にし、色々問題をアンケート式にする
210	市議会に期待などない。
211	市議会に声(要望等)を届けるということは、結局は市の担当部署に議員を通して伝えることである。その方が聞き入れてもらえる可能性が高いのだろうが、直接お願ひする方法を私は選択している。議員は選挙で選ばれた方々だから、その人の考え方、政治信条に基づく行動や発言が支持されているのであり、議員自身もその事をしっかりと自覚すべきである。
212	市議会に声を届けるというのは、どういうことなのでしょうか。議員さんは伝言係の役割をしているのでしょうか。何かしら必要ならば、その部署に出向きますし、その必要はありません。各自治区に地域協議会があるように、その場でもできそうな気がします。それに行政連絡員さんもいらっしゃいます。そのことを考えれば、議会、議員の必要性は本当に必要なのか疑問に思います。議員一人ひとりが市政に対して、問題提起してもこの議員定数では数が多くて、できることもできないのでしょうか。議員さんの意見があるのなら、ケーブルテレビを使うなり、この議会だよりで発信すればよいと思います。議会だよりの発刊数が少ないなら、このような上質な物でなくても良いのではないでしょうか。浜田市議会が全国的に進んでいるのであれば、簡単に分かるようなことではないでしょうか。また、政務活動費の内容を見ても、本当にその内容を掲載されても恥ずかしくないと考えているのでしょうか。ほとんどが視察やら研修旅費費用となっていますが、その費用対効果はいかがなものかと考えます。
213	市議会の方とのコミュニケーションを風通し良くできるといいと思う。
214	市議会よりのこの様なアンケート調査をされたら良いと思う
215	市議会議員は、議会中は一般質問や各委員会で質問するが内容は議会で質問するようなものでないものが多数見受けられる。分からぬことがあれば市の担当部署に行って聞けば丁寧に教えてくれる。そうすればもっと内容のある質問となる。議会の録画を見ていても納得できる。
216	市議会議員各自が支持者だけでなく。もっと市民の声を吸い上げること。そして市政に反映させること。市民と行政のパイプ役としての行動が望まれる！
217	市議会議員選挙の区分けを行なうべきだと思います。自治区制の選挙を改定し浜田市全体でオープンで、選挙を行なっていますが町内区割りなど地域と密着した議員が必要、そうする事により市民の切実な声が聞こえてくると思います。議員報酬も見直し改善し他の経費は削減すべき、近年インターネットで殆どの情報や書籍も見る事ができますよ。
218	市議全員 フェイスブックやつて 直接市民からやりとりできる様にすればいいと思います。どんな活動をしているかもそこで報告して下さい。
219	市長、議員等が立候補の際に公約として訴えた事（内容）について、任期の中間と満了時に、その達成度、未達成について、各議員全員が、石央文化ホール等で説明して頂き（公開する）市民の自由な（外圧、柵みのない）選挙ができる環境を整えて真の市民の声が届く様にする為、候補者選びの判断基準になる重大要素です。
220	市長が辞めない限り市議に言っても意味がない。
221	市長直行使と同様な議会直行使を本庁舎等に改修箱を設置する。
222	市長直行使にて伝えるのもよいが定期的にこのアンケートを発行したら良い！※弥栄町のスタンドは浜田から定期的に（日時を設定して広報する）タンクローリーで運んだらどうですか（移動スタンド）固定スタンドは不要 これこそ税金のムダつかい！市内中心の行政でなく、各自治区の住民の意見を聞いて廻って、議会で発言してもらいたい。
223	市民アンケートに多く出すこと

224	市民アンケートは常に設置して毎月回収する様にして下さい。市議会に知り合いがいないのでBOXを置いてもらえるといいと思います。
225	市民アンケートをもっととったらどうだろうか？
226	市民が自治意識を高める。身近に議員がいること。
227	市民が相談したり、意見を伝える場（自宅ではない。）を設けるべきです。定期開催とか事務所とか。
228	市民との交流の場をもっと設けて欲しいと思います。
229	市民と支持議員との意見交換の場をお互いにもうける。
230	市民に親しく声をかけていただきたい
231	市民の1人1人が権利ばかりを主張するのではなく、各人が出来る事を自ら行う努力も求められるのではないかと思っている。私にとっては、市議会は遠い存在という意識です。
232	市民の意見を平等に拾ってほしい。一部の聞いた意見だけで、多くの人が言っているようにするな
233	市民の声が届けられる場所、会が多く有ればと思います
234	市民の声をきく議員がもっと現場へ足を運び 意見をきく必要があると思う。議員の姿が地域にみえない、細かく地域をまわること。
235	市民の声を聞こうとしている姿勢が見られない。
236	市民の中へとけ込み意見を吸い上げる努力をして欲しい。選挙運動の時ぐらいしか顔を見ることがなく、顔すら忘れる。平生議会がない時はどうしておられるのでしょうか？
237	市民の代表という自覚と品格を欠く議員が多いと思います。選挙前だけ腰が低くなる人がいますが、本当にやめていただきたい。私自身、そのような人に、選挙後、掌を返したように理不尽にきついものの言い方をされたことがあります。
238	市民の要望を取りまとめて、議長宛提出し、その結果を公表できる様にする。
239	市民は、実は良いアイデアや行動に移していない意欲をもっている。それをもっと取り入れるための「タウンミーティング」のような草の根集会を企画すべき。上から下への行政ではなく下から上への行政へ!!そのように行くことは、市民の行政（まちづくり）への参画意識を高めることにつながると思います。
240	市民へのwebアンケートの存在の周知をより図り、その回答をオープンに取り上げて議会間、市民も交え、議論を進めること。
241	市民も議員もまちづくり、地域活動に参加すればきっかけはいくらでもできる。
242	市民一人一人の声、末端の声を吸い上げる方法をみいだすべき。何事も大きい物や多い意見に流されるのではなく市を思い、将来を託す為に物を言う人々の声や思いを吸い上げねばならない。各地区での市議会報告もさくらありきのようで、いつも同じ顔ぶれ、何をするにも「さくら」ばかり。人と人が顔をみて、物が言える場を考える必要があるのでは。どうしたらいいかを考えるのは、それが議員の仕事。一票をいただき仕事をしている議員さん、もっと自分を考え方支持者の思いを素直に代弁して下さい。議員は勉強すべきです。市民は見えています。
243	市民軽視のため期待していない。
244	思えない。
245	私が、かつて出雲市に在住していた時の市長さんは、岩国哲人さんでしたが、その方が主張されていましたことは、市役所は市民に役立つ所で、市民に分かりやすい役立つ行政をしたいと申され、広報も小学生でも老人でも理解してもらうため、外国語は使わない、例外として「サービス」と「カード」の二文字でした。今の浜田市議会を見てみると、議員も事務局も外国語が多くて理解しにくいと思っています。分からるのは、私一人かも知れませんが、意見として書かせてもらいました。失礼をお許しくださいませ。
246	私の声というより、建設的な市、市民の為に成る声をどんどん取り入れてくれる部署、システムがあれば、多くの声が届くと思います。公募のPRをして下さい。このアンケートは市長に届きますか？
247	私の地域では役員さんは活動されているとは思いますが。個人々は余り無感心のように個別には口に出しますが。それを吸い取るような方がおりません
248	私ばかりでなく、浜田市民がもっともっと自分のこととして市政の状況に興味関心を持つようになることが、市民の発言を促すことにつながると思います。が、その方策は？
249	事務方からの提案を待ち議論するのではなく、議員からの提案が欲しい。議員には多数の市民の意見を聞くよう日々活動して事務方に情報提供したらより良い市政になると思います。
250	時々こうやってアンケートを取るのもいいと思う

251	自分から議員にコンタクトをとっていくしかないとおもう。議員から接触しないからというのは言い訳にしかならない。
252	自分が市議会議員になること。
253	自分としては、反映したい意見をもっているというよりも現職市議会議員の意見を聞きたい。平日の市議会傍聴ができないので、日曜、祭日にでもテーマをきめて年2、3回の議員討論会の開催はできませんでしょうか。
254	自己の人気票集めのためだけの政治活動をしている議員が多い。今後、高齢化人口減少福祉医療について真摯に取り組む議員はいるのか。選挙前だけ市民に媚びるのではなく、日頃から足を使って、自分から情報を集めるのが本来の仕事ではないのか。
255	自分の声を市議会に届けるというよりは、市の職員が議員に対して「トップダウン」で絶対、反論できないというのは考えものです。市民のたにできること、できないことを議員も職員も考えてほしいです。
256	自由意見は強く思うところがないと書かないが、こういった形でアンケートをとってくれると意見が出しやすい。
257	質の高い4人の議員を選ぶこと！
258	質問7を早急に実現するには、市民の多くが考えていることは何かを判断する材料として、このようなアンケートは有効であり、議員一人一人の意識レベルをもっと上げることが重要。
259	若い世代も声を気軽に届けられるこのような仕組みをもっと活用するとよいと思います。
260	取り敢えず身近な議員さんにお話しする
261	集計が大変でしょうが、たまにはこんなアンケートの企画があればいいと思う。市議の人に親しい人からの意見ばかり取りあげられても困る。
262	住民と議員と行政の方との意見交換を多くして、議員一人一人の人間性を知ることが、できるようになれたら、私の意見ももっと言える（伝えることができる。）と思います。
263	住民と議会議員との話し合いが必要である。
264	住民の声を聞く気があるかが、そもそも疑問。市議会の方から住民の声を聞く動きをすべきだと思います。このアンケートについても周知されておらず、本気でする気があるのか聞きたい。
265	巡回して下さい。
266	少人数で定期的に話せる場があるといいと思います。今行っている井戸端会は話しくいです。
267	少数意見を大きな声であたかも多くの人が言っているようにしないこと。
268	少数意見を大きな声で言う議員に、もっと視野を広げて意見を採用すること
269	上から目線の議員ってなんなの？
270	上記のとおり。
271	上記の責任において、議員と有権者の意見や知恵を本気で考えていくこと。
272	上記の分野ごとに、また市民の声を聞きたいテーマで、積極的にワークショップを開催する。議会報告会は市民の声を聞く時間配分がやや少ない、大切なことは聞くだけでなく市民が意思決定のプロセスに参加できるように！それが協働のまちづくり。声の大きい人の声がとどきやすいことのないように。大刀洗町のような無作為で選ばれた住民が町の課題を話しあう「住民協議会」（自分ごとの会議）のかたちと市議さんの協働があつてもよいのでは。
273	常任委員会などで課題テーマを細かく具体化して意見を出し合うことで、また、その中に市民から意見をもらって、それを、意見を出し合う会議の場で提出し、一つ一つ解決していくことではないでしょうか。それには市民も議会も行政もとてもしんどいですが…。
274	信頼できる議員が一人いるので大いに助かります
275	人が住みつくと社会が生まれる……原点は家族…三軒両隣 町内会 自治会と広がる…地方自治の基である。自治組織の充実こそ今問われている一番大事なこと、そこから声が届くように。
276	数の原理で、本当に必要な意見や施策が市政に反映されない仕組みになっている。自治区がなくなる前、今年度中に旧那賀郡部の定数の確保をはかつておいてもらいたい。病児保育等、市民にとって悲しいですよね
277	成果報酬にして、仕事できたらもらえるとしたらもっと届くと思う。
278	政策に対する意見や日常生活での要望等を広報紙の配布に合わせて募り、FAXやメール等で直接寄せてもらう。
279	声がとどくしくみができない。

280	声を届けられる手段を身近に感じられるようにする。声を届けることが普通なんだという価値観を広める。
281	声を届けるのは自分次第、議員との懇談会
282	昔の議員さんのように、用事がなくとも地域をまわり、様々な意見を聞いていただきたいです。公民館等での開催では敷居が高いです。こういったアンケート方式も良い方法だと思います。市議会で、市長や職員を責めるばかりでなく、「地域をまとめるために動くので共に協力して市政を盛り上げよう」という姿勢で臨んでいただきたいです。
283	石見ケーブルテレビを見ていますがもっと中継をしてほしい。
284	積極的な議会の傾聴、議員はもっと市民の中へ！（市民の声を聞け）
285	積極的に議員との交流を図ることが大切。お互い（市民議員）歩み寄る姿勢が求められる
286	説明の場はとても努力されていると思います。声を出すにはどうしたらいいのか、それをわかりやすく、市民に伝えて頂ければいいように思います。
287	絶対届かないと思う。
288	自分にとって都合のいい者。票を入れてくれる者のことしか聞かない、聞こうとしないから。
289	選挙の時しか、街中に出でていないので、声を届ける機会がない。毎日、街頭に立って、市民の声を聴けばよい。
290	選挙の時だけ頭を下げて、後は何もしてくれない。もっと地区を普段から細目に回り市民の声をメモにでも取って歩く…そんな人今まで見た事ない。だったらやれば…歩いて回って欲しい。
291	選挙時に街頭演説で見識を発表すべき
292	選挙戦の時にしか、街中を歩いていないので、毎月、議員主催で市民討論会を行えばよい。
293	前問の答えにより、議会は必要ないから、議員諸氏に言うべき言葉はない。敢えて具申すれば、自己研鑽に励み、問題意識を持って活動していただきたい。だからといって、研修旅行をおすすめしている訳ではありません。
294	多くの議員の方々が、住民として地域に出向き肌で感じて欲しい。一住民の意見を全てと判断されたくないでの、より多くの住民と広い範囲の年代の方と肩を並べた情報収集をお願いしたい。
295	知り合いもいないので絶対届かないからあきらめている（支援している人もなし）
296	地域コミュニケーションの活用なり、ITを活用するなり方法はいろいろあると思う。要は、市長の思いや方針が市民に伝われば、皆が協力すると思う。お金はなくても策はあると思う。ニュースを見て、他の市長や知事が頑張っているのを見ると、浜田市は情けない。岩手県がやっている、市民にマスクの寄付など素晴らしいと思う。
297	地域での説明会の開催
298	地域のイベントへ出来るだけ出席し、現況報告お願いします。民生委員の定例会へ年2回以上出席し、意見交換、地域の実態を知って欲しいです。
299	地域へ声を拾いに来る議員が必要
300	地域行事に参加して（議員の方が）地域の声を聞いてほしい
301	地域行事に出てほしい。住民へ市議会に関心を持つように仕向ける
302	地区ごとの担当議員を決めてほしい。誰に相談するのかがわからない。
303	地区に議員が来て住民の意見を聞いてほしい
304	地元から選出されていても どの程度に改革がなされているか疑問である。まして自治区長はどれだけ地元に貢献したか。意見箱等は如何なものか。（各地区に設置）
305	地元の議員さんと話しが出来る様になれば良いと思いますが、なかなか機会がないのが現状です。議員さんの方から市民に何か困っている事ありませんか声を掛ける事も大事だと思います。日頃の活動が大切なのではありませんか？
306	地元出身の議員ともっと話す機会を増やしたらいいと思う。
307	町内会ごとの意見をもっと吸い上げる様にする。
308	町内会をはじめ、現場を歩き実情を知る、市長にも望みます。
309	町内会単位での意見の聴取を。

310	町内単位等で出た意見を昔は市長が聞いたりしていたが（各自治区とも）今は、行政連絡の看板で報告事項を持ち帰るというパターンです。市議会議員は選挙の時だけ動くが、戸別や町内行事等に参加して意見を聞く場をつくるべきだと思います。
311	市民・市民が聞きたい！逆に……！議員たちの意識改革しかない！ 誰の為の市議なのか？
312	聴く耳を持って欲しい
313	定期的なアンケート
314	定期的に夜間の市議会を開催して市民の傍聴をはかったり、ネット中継したり、各地域の行政連絡員を集合して議会議員と長時間議論の機会をこれも定期的にもたらすといいですよ。
315	定数を大巾に削減し、その分議員報酬をアップすることにより、真に地域や市民のためになる有能な議員に絞るべきである。
316	土日祝日に議会を開いて傍聴に行きやすくする。平日は仕事で行けない。
317	投書箱を数々置いて、氏名付で投書する。
318	給料のみ払うのが市議ではない。
319	答えとは別ですが、浜田の開業医、入院できる病院が少なくなり高齢のドクターに無理にお願いしているような気がします。行きつけの病院、産婦人科など特に心配しています。手遅れにならないよう相談できる病院が必要かと思います
320	特にありません。
321	特になし。
322	特に無し。
323	特権と厚遇に甘んじている現状では届かない
324	身を切る改革が必要である そもそも今回のアンケートの目的がどこにあるのかあいまいであります
325	届くとしたら、何かしてくれるのですか？このアンケートがまず届くかどうかだと思います。
326	届く環境整備を
327	日常生活の中で議員さんと気軽にお話しさせてもらえる機会が多くあるといいですが…そんな中から問題点はいくつも見えてくると思います。市民1人1人が私達の議員さんと思えるような議員さんが欲しいです。
328	年に何回か市政や個人が感じることや不思議に思う事をアンケートしてほしい。
329	年令の若い議員を増やし、勉強する機会を設け、人材（リーダーシップ）を育てることで、市民も、もっと協力的になると思う。
330	批判だけでなく、また、各議員がそれぞれの意見を言うのではなく、議会としての考え方を調整して示してほしい。
331	浜田市の将来の形をしっかりと示して、行政と市民、議会が連携して、進んでいくことが、住みやすい、豊かな浜田市になります。市民の笑顔が多く見れるような街を作り上げてほしいです。議会の皆様に期待しております。
332	浜田市の将来を真剣に考え地域の声を聞く耳を持って行動する議員を望む
333	浜田市の働く環境が年々悪くなっているように思います。私は資格を持っている仕事をしていますが、結局働く場所が限られていて、その場所で嫌々働くか、個人事業主になるかしかありません。社会の体制や組織の考え方方が古く、かなり仕事内容に制約があり、また上下関係がはつきりしすぎていて今の時代に合っていない。接遇などの教育を、市をあげてやって欲しい。
334	浜田市民の生の声を反映させるには、議員も少数精銳にしないと、本当の、本音の声は出てこないと思います。浜田の将来を危惧するあまりに、思い切った聖域ない改革をお願いします。チャンスは今です！
335	普段の生活では市の政策がどのように私たちの生活、お金にかかわっているかわかりにくいです。全国の中には身近なゴミ問題から取り組み、ゴミ処理場建設費数億円をうかせ教育費にまわせた自治体もあるようです。（ゴミ分別種類日本一の自治体）それには私たち一人ひとりの意識改革や努力も必要だと思います。はまだ議会だよりでは市政のたくさんの課題、それに取り組む市議会議員さんの姿が見え、良かったです。しかし実施されたこと→効果が感じられず、残念でした。効果には時間がかかる場合もあるとは思いますが、素早く対応くださること自体が価値があるとも思います。子供たちは日々成長していきます。『歴史文化保存展示施設』の重要性はわかりますが、お金をさく優先順位は低いと思います。10年後戻ってきていたい浜田市になっていけるよう現在の子供たちへの教育関連費（地域の産業体験、支援含む）へ最優先に使われてほしいです。

336	普通にふれ合う。問題を捕える。
337	本当に思うが、議員として存在してはいけない輩が浜田市には多すぎる、だから市民の生の声が消され、議員の自己利益、満足だけが優先されている、中にはそうでない議員も存在しているが。なので少数制にして議員の質をあげ、市民の提案が確実に届き変革する浜田市にでもらいたい、どうせこの意見も届かないだろが。
338	毎月、今回の様なアンケートをしてほしい。
339	毎月の自治会常会において、住民の意見、要望等を集約し連合自治会に提出できる仕組みを定例化する。（下芦谷自治会 → 芦谷連合自治会 → 井野連合自治会 → 議員）議員に伝えたい声を少なくとも毎月1回は連合自治会より届けられるシステムを構築する。
340	無駄が多く特に自治区長はいつまで（合併後10年以上）代わりは本庁の部長又は課長そして市議の方など多くいる。税金が少しでも安くなれば人口も多くなる。
341	無理な話ではあるが、自治区2名はほしい。
342	有権者に対して地域の訪問がない
343	利害関係者の声しか聞かないし、ヒアリング能力もない

令和6年4月12日

松江市議会  
議長 吉 金 隆 様

議員定数等調査特別委員会  
委員長 立 脇 通 也

## 議員定数等調査特別委員会の議員定数に関する最終決定報告書

議員定数等調査特別委員会は、議員定数に関し、下記のとおり最終決定をしましたので報告します。

記

### 1. 議員定数について

次期選挙（令和7年4月）より議員定数を31人とする。

### 2. 調査の経過

別紙のとおり

## ■調査研究の経過（これまでの特別委員会の内容）

### （1）令和5年12月20日（設置・第1回）

適正な議員定数等について調査及び研究を行うことを目的に、「議員定数等調査特別委員会」を設置した。同日、第1回特別委員会において、正副委員長の互選の後、今後の進め方について協議した。人口15万人から25万人の市、72市の議員定数等の状況について調査した。

### （2）令和6年1月12日（第2回）

人口15万人から25万人の市における議員1人当たりの人口や面積の比較を行った。山陰両県及び中国地方の市における議員定数の状況調査等を踏まえ、適正な議員定数について協議した。

### （3）令和6年1月19日（第3回）、1月26日（第4回）、2月2日（第5回）、 2月16日（第6回）

議員定数の具体的な人数等について協議した。委員会における協議の参考とするため、議員定数について公共的団体等から意見聴取することについて協議した。

### （4）令和6年3月1日（第7回）

議員定数について、削減と現状維持の2つの意見に分かれているため、採決の結果、定数を削減する方向で協議を進めることを決定した。また、具体的な人数として、「30人」、「31人」、「32人」の3つの意見が出され、協議の参考とするため、これまでの委員会の検討経過を示した上で、議員定数に関して、松江商工会議所、松江市町内会・自治会連合会、松江市公民館長会、松江市高齢者クラブ連合会、松江市PTA連合会等の14の公共的団体等へ書面により意見聴取することを決定した。

### （5）令和6年3月28日（第8回）

公共的団体等から提出された主な意見は下の表のとおり。これらの意見を持ち帰り、各会派において議員定数について改めて検討することとした。

議員定数	団体数	理由
30人	8団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少の観点から今後も減少が予想されることなどを勘案した。</li><li>・全国や他市の状況、平均値などをもとにした。</li><li>・現状31人で運営されており、31人以上では削減の印象につながらない。</li><li>・議長裁決を考慮し、議長を除き奇数が望ましい。</li></ul>
31人	2団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在31名での活動ということであれば、その定員で妥当。</li></ul>
32人から 33人程度	1団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・議員が減ると偏った意見（力のある議員の意見）や市長のチカラが強まるのも懸念する。</li></ul>
34人	1団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・議員定数の削減は弱者の声が届きにくくなるのではないか。</li></ul>
増員	1団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・議員定数を増やしたほうが、フォローが充実する。議員は市民の代弁者であり、減らす方向性については、他の自治体との比較というだけでは疑問が残る。</li></ul>
数字は 出せない	1団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・議員定数は何人まで言い切れないが、人口を考慮して対応するのが良いと思う。</li></ul>

#### (6) 令和6年4月3日（第9回）

公共的団体等の意見を参考にした上で協議を行った。

一委員より、現在31人であり、厳しい状況の中、各議員が本分を全うしている。幅広い分野、地域の市民の声を聴いていくためには31人は確保したいとの意見があつた。

また、一委員より、各団体の意見を聴き、30人との圧倒的数字が出ている。これを十分に考慮すべきと考えた。合併から20年近く経ち、議員活動においては、自分の地域だけのことではなく、各議員が全体のことを考えた上で発言されており、会派の中に賛否はあるが、もう少し多く減らしてもよいのではないかという意見もあったことを考慮した、などの意見があつた。

その後、挙手により諮った結果、「31人」とすべきとした委員が4人、「30人」とすべきとした委員が3人となり、この時点での委員会における決定として、次期選挙から議員定数を「31人」とすることについて、市民からパブリックコメント（意見募集）を行うことを決定した。

#### (7) 令和6年4月12日（第10回）

パブリックコメントの結果を踏まえ、最終決定のための採決を行った結果、賛成多数により、次期選挙からの議員定数を「31人」とすべきものと決定した。

### ■松江市議会における議員定数の経過

- ・ H17. 4～H21. 4 議員定数 48人（合併特例法による）
- ・ H21. 4～H23. 7 議員定数 34人（合併協議会で決定した人数）
- ・ H23. 8～H25. 4 議員定数 36人（合併特例法による）
- ・ H25. 4～ 議員定数 34人（平成24年6月松江市議会議員定数条例制定）

松江市議会議員定数についてのパブリックコメント（意見募集）結果（意見募集期間：令和6年4月4日～4月10日）

※受付順に原文のまま記載しています。

	住所	年齢 (任意回答)	性別 (任意回答)	職業 (任意回答)	(問1) 現在、特別委員会では次期選挙（令和7年4月）からの議員定数について、減らす方向で検討し、「31人」を中間決定しています。このことについて、ご意見をお聞かせください。	(問2) その他、議員定数全般に関することについて、ご意見がありましたらお聞かせください。
1	市内	—	—	—	<p>31人でも多いと思います。 まず、松江市議の方の名前も顔もわかりませんし、どんな仕事をしているのかも知りません。大阪府寝屋川市で人口23万人弱で議員24名ならそれ以下の人数で良いと思います。</p>	<p>選挙で公約とかいろいろ掲げていると思いますが、年度末にでもその公約を果たしたのか、果たすために何をしたのか総括して欲しいと思います。 松江市のために仕事をしていただいた方に議員報酬をたくさん支払って欲しいです。ここ数年、どんどん暮らしにくい世の中になってきていると思います。百貨店はなくなり、バス路線は廃止路線が多くなり、年老いてこの街で暮らしていくのが不安が募ります。市民の声をくみ取って仕事してくださる議員さんに、松江市議になっていたいと思います。</p>
2	市内	60代	男性	—	<p>現状維持で良いと思います。 人口や市域の広さを考えると、他市と比較してもバランスが取れていると思います。31人に削減すると民意をくい上げ、市政に反映する活動が難しくなります。 旧八束郡の人口減少と地域の衰退は深刻です。「市全体のことを考えて活動している」と言われても、実際にそこに住み、住民と日常生活を共にしているかどうかは民意の反映度に差があります。定数削減は、旧八束郡に住む市民が市議会議員となるチャンスをますます減じる結果につながるのではないかでしょうか。 今、定数を削減する積極的な理由はありませんし、市民の中での議論もされていません。議会制民主主義の根幹にも関わる議員定数の問題を拙速に取り扱ってはならないと思います。しっかりと市民レベルでの議論を行ってから結論を出してください。市議会として市民が誰でも参加できる意見交換の場を開催されたのでしょうか？意見を聞かれた団体で、商工関係団体等の会員は会社法人が殆どで、そもそも有権者ではありません。有権者一人一人の意見を聞く場を議会の責任で持つべきだと思います。</p>	<p>先に述べたように、議員定数は議会制民主主義の根幹に関わる問題です。 そのような大事な問題のパブリックコメント募集期間が、わずか1週間というのは信じられません。通常より短く設定されているように思います。市民の意見を聞く市政に欠けていると想います。 パブコメの前に、市民との意見交換の場を設けるべきでした。今からでも遅くないので、市民と、直接、パブコメを参考にしながらの意見交換を行ってください。</p>
3	市内	70代	男性	—	<p>当面は現在の定数（34人）を維持していただきたい。 【理由1】 松江市は、2018年4月に中核市となりました。その結果、民生行政・保健衛生行政（保健所の設置）・都市計画事務・環境保全行政・地方教育行政など広範な権限が委譲されています。現在の定数34人は2013年からであり、その5年後から中核市となり、従来の守備範囲を超えた様々な行政施策展開が求められています。 今、中核市として必要なのは、市民の中にある種々様々な意見や見解を最大限吸収していくことです。そのためには議員の役割は極めて大きく、その定数を減らす理由はありません。 【理由2】 旧八束郡の地域は、合併時に役場に代わり支所が設置されました。その後、体制も人員も役割も縮小の一途です。地域の生活や住民の声が市の行政へ届きにくくなっています。各種証明書の交付や届出以外のことは支所では困難です。 その中で議員の果たしている役割は非常に大きいものがあります。市民の声や意見、困りごとや各種提案等々を市政へ届ける役割を担っている議員の定数をこれ以上減らすことはあってはなりません。 行政のチェック機関である議会・議員が本来の役割を発揮し、市民の意見が行政へ反映されるためにも、議員数を増やすことはあっても減らすことは絶対反対です。</p>	回答なし

	住所	年齢 (任意回答)	性別 (任意回答)	職業 (任意回答)	(問1) 現在、特別委員会では次期選挙（令和7年4月）からの議員定数について、減らす方向で検討し、「31人」を中間決定としています。このことについて、ご意見をお聞かせください。	(問2) その他、議員定数全般に関することについて、ご意見がありましたらお聞かせください。
4	市内	70代	男性	—	特に国政などでは政治家に対する不信感も根強く地方では議会が何をしているかわからないという声もあり議員を減らせばよいという意見もありますが、地方自治体では行政（首長）の力が強く、市民の声をきちんと伝える議会の役割が重要視されなければならない。合併による地域間格差、駅前など中心部の再開発、人口減少対策、何よりも原発など課題も多い松江市で議員を減らす必要はない。	議員定数に関する課題は、市民の声をしっかりきき、時間をかけて取り組むべきである。また、議会の活動をしっかりとアピールし、議会の役割を市民にもっと理解してもらう必要がある。
5	市内	70代	女性	—	合併した地域の声を届けるためには議員の数を減らさないでいただきたい。多様な意見を反映させるためには議員削減はありえないと思います。	回答なし
6	市内	70代	女性	—	そうでなくとも合併により旧八束郡内に住む者としては、行政、市長、市議会が遠くなつたように思います。定数減で私たちの声を届ける人が減らされるということは、とても残念です。議員自ら進んで定数減を良しとすることは、「一般市民の声を聞かずともよい、任せておけ」ということになってしまふのではありませんか、不安です。定数減に反対します。	回答なし
7	市内	80歳以上	男性	無職	多くの人々の意見を十分聞き取るために、議員の人数を減してはならない。定数削減は絶対してはならない。	回答なし
8	市内	—	—	—	<p>定数は現状維持で良いと思います。 まず、減らすべき理由がわかりません。また、考える材料も時間も不十分です。議員を減らしたほうが良いという意見は、単純に費用面での意見が主たるものだと思いますが、市民から見て議員がどのような仕事をしているのか、いまいちわからないからではないでしょうか？市民の生活が本当に豊かになるための議論がなされていないことが原因ではないでしょうか？ 定数を減らせば良いと議員自身が考えているならば、それは議員の仕事を過小評価し軽視していることになると思います。 今でも多様な意見が市政に反映されているわけではないのに、現状で十分できていると思っておられるなら、市民の感覚とかけ離れていると思います。 議員は市役所以外での市政の広報・相談窓口としても機能しています。政策の説明は市報などでは十分でない点があるので、議論の過程から参加している議員からの説明は、市政を理解するうえで貴重な情報です。その窓口が減るということは、市民生活にとっても不便になります。</p>	<p>前回の市長・市議選の投票率は約6割でした。約4割の人＝約7万人の意見が表明されていないことになります。投票率の問題は投票所設置の問題にも原因があると思います。 定数削減の前に、市民の声を聴く、より多くの市民の政治参加（濃淡はあるが）にこそ重点を置いた市政運営をすべきと考えます。 人数を減らし速さを求めるなら、拙速で審議不十分な決定が増えることになり、事前の根回しによる議会では、議会を見ている側からすると予定調和の発表会を見ている気分になり、議論を交わしているように見えず退屈です。 あまり、形式主義にならない実務型の議会を求めます。そうなれば議員個人の交渉力・洞察力・知識・経験などがより発揮され活性化するのではないかでしょうか？ 公共的団体など、一部の意見を言う人の声ばかり反映させるならば、一部の意見で多数が従うことになり、民主主義に反することになります。定数削減にしても白黒半分に分けられる意見ばかりではないと思います。だからこそ、時間をかけ幅広く意見を掘り起こすことが必要です。 今回のパブリックコメントも時間が圧倒的に短い。まるでアリバイ作りのような手法だと思います。</p>

公共的団体等からの意見内容及び理由 一覧 「次期選挙（令和7年4月）からの松江市議会議員定数について」

**概要** (問2) を基に分類

①30人 8団体    ②31人 2団体    ③32人・33人程度 1団体    ④34人 1団体    ⑤増やしたほうがよい 1団体    ⑥その他（数字は出せない）1団体

	(問1) 議員定数の見直しについて、減らす方向で検討していますが、ご意見をお聞かせください。	(問2) 現在、特別委員会では次期選挙（令和7年4月）からの議員定数について、「30人」、「31人」、「32人」といった意見が出ています。これらの人数について、ご意見をお聞かせください。	(問3) その他、議員定数全般に関することについて、ご意見がありましたらお聞かせください。
1	定数削減が全国的な流れとなる中、当市の現在の定数から一定程度減らすべきと考えます。	30人が適正と考えます。	
2	適正な議員定数を検討されることは、市民にとって有意義なことと考えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「30人」が適切と考えます。 (理由)</li> <li>・議長を除いた数が、奇数になるのが望ましい。</li> <li>・現在、実数31人で運営されているので、それ以上では削減された印象につながらない。</li> </ul>	・市民へのていねいな説明をお願いします。
3	人口の減少に伴い、議員定数を減らすことは、妥当である。	(問1) のとおり今後も人口減少が予想されることから、3案では「30人」が妥当である。	なし
4	定数削減には賛成です。「議員定数等調査特別委員会」の意見並びに「他市の状況」資料からも削減は必須と考えます。	<p>30人とすべきと考えます。理由として以下の点があります。</p> <p>①現行定数34名（議員定数1人当たりの人口5818.9人）は、全国の他市の現状からも定数では平均値（27.99人）を約6人上回り、また1人当たりの人口では平均値（6714.64人）を894.74人と大幅に下回っていることから、平均値に近づける改正が必要。</p> <p>②そこで、定数削減に取り組んだ他市の事例を参考にすると、▲4人（八戸市。32人を28人に削減）が最大の削減であるため、協議の経過や会派の意見から考察しても4名の削減が妥当。</p> <p>③仮に30人を定数とした場合、数では平均値を約2人上回り、また1人当たりの人口では6594.7人（平均値との差異119.94人）となり、現行と比べると大幅に平均値に近づくこと。</p> <p>④削減により、市民自治と市民の意思反映が劣化することがないよう整理するうえで、市内には29の公民館が存置しており30人の定数は妥当。</p>	<p>議員定数については、参考資料①1に記載のとおり「議会において、地域の実情に照らした議員定数の決定が求められる」とあり、「地域の実情」とは、算出基礎となっている人口や集落、自治会、公民館等の地域を構成するコミュニティを踏まえ、議員の定数を決定すべきであると思料します。</p> <p>特に、3月14日付山陰中央新報一面で「島根限界集落増918戸」「人口減進行 全体の24.5%」「生活機能維持へ対策急務」と掲載されたことからも、松江市には184の集落があり、うち高齢化率50%以上の集落数が54（29.3%）、うち高齢化率50%以上で世帯数19戸以下の集落数（いわゆる「限界集落」）14（7.6%）、うち高齢化率70%以上で世帯数9戸以下の集落数2（1.1%）と「地域の実情」として、待ったなしの対策が急務であります。</p> <p>そこで、単なる削減に軸足を置いた人減らしではなく、今まで以上に「地域の実情」に精通し、生活機能維持に向けた政策を有す議員の数と能力が求められます。また、少数意見としての民意を反映する議会の力の維持も必要であり、定数の削減が弱者や少数切り捨てとならないよう役割発揮を期待します。</p>
5	他市の状況も考えると、減らす方向に賛成します。	30人	

6	基本的に少数精鋭が良いと思いますが、地域の課題を反映させる為には極端な減員は注意が必要でしょう。	現在、明政会で出されている見直し意見に賛同致します。鳥取や出雲との比較ではなく、72の市議会からの平均が 28.5 人は説得力があります。そして議長を除く議員が奇数であることも頷けます。常任委員会の数に合わせて8人ずつでなければならないという数字合わせは不要ではないでしょうか。	
7	現在の活動状況（議員提出案件 10 件、内条例 1 件）であれば、当然減らすべき。	本来 30 未満でもよいが、三案の中では「30 人」が適当。	常任委員会数が 4 だからとの理由もあるようだが、そのような理由をあげること自体、議員のレベルを疑わざるを得ない。4 で割れる数なら「28 人」でもよい。
8	・市政を進める大切な役割を持つ議員は、数の問題も大切ですが、若い市長と協力して、まちづくり・人口減少問題に全力を投入してほしい。 ・定数は現在の実数や市議会の開催状況を見れば、現在より極端に減らすべきではない。各会派所属議員数に大きな差異が出ないことが望ましいが、公選である以上これは難問である。現定数より 3~4 人程度減じて運営してみるのがベストと考える。	・全国平均を参考にして 30 人位で良いと思う。 ・中核市や類似団体等を参考にされたら良いと思う。 ・委員会や、特別委員会等への影響がなければ、30 人程度で良いと思う。 ・松江市議会は現在定員 34 名のところ 3 名欠員で運営されているようであるが、運営上大きな支障が出ているとは思われない。市内各地では外部地区からは把握できないような行政、司法関連の懸案事項もあり、身近な議員（相談しやすい）も必要となる。定数は議長採決を考慮して 30 名が適切と考える。	・現議員の出身（選出）地区については把握していないが、公民館区 29 で各区から 1 名ずつ選出だとすれば 29 名となる。公選であるので 0（ゼロ）の区もあると思われ、また複数人選出区もあると思われる。市議は身近な存在であるべきなのでゼロ区が皆無になるのが望ましい。
9	是非削減する方向で検討いただきたい。	31 人が適当。	今後も適正な定数の見直しを継続していただきたい。
10	全国の人口比率の定員を考えると、人口に対しての定員数は多いと思われ、見直す必要があると思われます。	現在 31 名での活動ということであれば、その定員で妥当かと思われますが、地区・地域代表という観点から重複して選出される必要はないかと思います。	各委員会において各地区との連携を取りながらの活動をしておられることと思いますが、多方面において意見交換をしていただくことも考えていただければと思います。
11	減らす方向で検討されているならそれでよいと思います。議員報酬総額の減額になる。ただ、議員数が減ると、少数意見が通りにくくなるので微減程度ならよいと思います。	前述のとおり、微減なら容認できます（32・33 程度）。議員が減ると偏った意見（力のある議員の意見）や市長のチカラが強まるのも懸念します。	議員定数についてではないですが、議会をテレビ等で拝見しますが、議会中寝ている映像を見るときがあります。議員の質の向上にも期待します。
12	松江市の人口は 20 万人を割り込み、減少傾向にあります。旧八束郡の一部や旧市内でも激減しています。人口減少対策、災害対策、医療や福祉、産業など、市民の中には多様な意見があります。行政への願い・要求も山積しています。市民と最も身近なパイプであるべき市議会議員の定数削減には反対です。	現行 34 名の維持	議会の役割は住民要求を反映し、地方自治体の意志決定を行うと同時に、執行部のチェック機関としての役割もあります。深刻な少子・高齢化を迎え安心して暮らしにくくなっています。議員定数の削減は弱者の声が届きにくくなるのではないかでしょうか。
13	参考資料を拝見すると、松江市議会議員 1 名あたりの人口が 5,818 名のことです。また、会派の意見としては「人口が同規模の自治体は削減しているから、同様の流れにしては」というような見解のようです。松江は松江、他の自治体は他の自治体だと思いますので、他の自治体と比較する理由がよく分かりませんので、減らす方向について違和感を憶えます。民主ネットワーク様の意見では市民の意見を十分に聞くことに関して言及されております。前述の議員 1 名あたり 5,818 名の市民をフォローしていると考えると、むしろ議員定数を増やされた方が、フォローが充実するのではと考えます。 議員は市民の代弁者だと認識しておりますので、代弁者を減らす方向性については他の自治体との比較というだけでは疑問が残ります。何の為に減らすのか、目的がよく分かりません。	問 1 の回答と似ておりますが、少ないと考えます。	問 1 で回答した通りです。
14	全国的に議員定数の削減がおこなわれていて、松江市議もながら見直していないので見直しが必要と考えます。 議員定数は何人とはまで言い切れませんが人口を考慮して対応するのが良いと思います。	左記内容記載	松江を代表として「豊かで住みよいまちづくり」を引き続きよろしくお願ひいたします。

# **議会改革に関する検討結果**

**第 6 回報告書**

**令和 6 年 6 月**

**議会改革推進特別委員会**

令和 6 年 6 月 27 日

浜田市議会議長 笹 田 卓 様

議会改革推進特別委員会  
委員長 牛 尾 昭

### 議会改革に関する検討結果について（第 6 回報告）

令和 6 年 1 月に当委員会が実施した行政視察を踏まえ追加した議会改革の検討項目のうち、検討が終了した事項について下記のとおり結果を報告します。

今後、検討結果に伴う事務処理をはじめ、必要に応じて全議員への周知または関係委員会への通知等、適切な対応をお願いいたします。

#### 【検討項目】一般質問における議員の資料発信について

一般質問において、発言を補完するために説明用パネルを使用できることとしているが、一般質問の内容をより分かりやすく可視化するとともにタブレット端末の活用を進める仕組みとして、議員が作成した資料をタブレット端末で発信する手法に変更することとする。

本会議出席の執行部及び傍聴者の資料閲覧方法については、紙資料の配付をやめ、タブレット端末及びモニター配置等による。

その他、期待される効果は以下のとおり。

- (1)大判パネルの作製が不要となることによる政務活動費の節約
- (2)配付資料の印刷が不要となることによるペーパーレス化の促進

なお、従前の「浜田市議会説明用パネル取扱要領」は廃止し、新たに別紙の「浜田市議会一般質問説明用補助資料取扱要領」を定めることとする。

# 浜田市議会一般質問説明用補助資料取扱要領

## 1 資料使用の範囲

発言を補完するために説明用補助資料（以下「資料」という。）を使用できるのは、本会議における一般質問とする。

## 2 資料使用の基準等

議会は言論の府であることに鑑み、資料の使用は、次の事項に基づいて行うものとする。

- (1) 資料の使用は、あくまでも説明の補助手段であることに留意する。
- (2) 資料の使用に関して、枚数制限は設けないが、説明の補助手段として適切な枚数を使用する議員が判断する。
- (3) 資料のデータ規格は、PDFに変換可能なもの（Word、Excel、PowerPoint等）とする。
- (4) 資料の使用は、貸与されているタブレット端末を介して資料を使用する議員が発信する。
- (5) 資料使用時のケーブルテレビの映像について、使用する議員は資料を映すタイミングを示し、事業者に一任する。
- (6) 資料を使用する場合の発言は、文字として会議録に残ることを意識し、使用した資料の内容が伝わるよう留意する。

## 3 資料使用の手続き

- (1) 資料を使用する議員は、一般質問初日の4日前（休日を除く）までに、議長に当該資料を提示して使用する旨を申し出て、議長の承認を受けるものとする。
- (2) 議長は、資料使用の申出が、次に掲げる事項のいずれかに該当すると認めるときは、その使用を承認しないものとする。
  - ア 資料の内容が著作権その他の知的財産権を侵害すると認められるとき
  - イ アのほか、資料の内容が個人又は団体の権利利害を侵害すると認められるとき
  - ウ 資料の内容が公序良俗に反すると認められるとき
  - エ 資料の内容が広告、宣伝、勧誘その他の営利又は宗教活動を目的とする内容を含むと認められるとき
  - オ 資料の使用が2に定める基準に照らして適当でないと認められるとき
- (3) 議長は、資料の使用を承認するに当たって必要があると認めるときは、

議会運営委員会の意見を聞くことができる。

- (4) 本会議出席者及び傍聴者は、タブレット端末、モニター等に表示された資料を閲覧するものとする。

4 承認の取消し

議長は、議事の運営上必要があると認めるときは、資料の使用の承認を取り消すことができる。

5 その他

この要領に定めるもののほか、資料に関し必要な事項は、議長が定める。

6 施行期日

この要領は、令和 6 年 7 月 2 日から施行する。